

現 場 説 明 事 項

工事名称 市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、市立鶴瀬西交流センターの外壁と防水等の改修工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 本工事は、当施設事務所内で施設管理者が常駐する執務並行改修工事とする。
- 2) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 3) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 4) 仮設については、施設関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については施設関係者と協議して設置し、全体定例会議を開催できるスペースを含むこと。
- 5) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 6) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 7) 交通誘導員は、外部仮設設置・解体時と重揚機械や高所作業車使用時に配置すること。
- 8) 市立鶴瀬西交流センターの周辺環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。
- 9) 現場施工期間は令和7年10月27日から令和8年2月28日とする。また、下記①～③の事項に留意し、工事を進めること。
 - ①施工にあたっての調査・準備は施設管理者、監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。
 - ②上記の各施工期間内に現場使用前検査（室内濃度測定含む）を受け、関連工事とともに引き渡すこと。
 - ③停電作業は、土曜日・日曜日及び祝日を基本とし、監督員・施設関係者と十分協議して工事を進めること。
- 10) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 11) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 12) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CADデータから作成すること。

- 1 3) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。
 - 1 4) 下記の更新工事にあたっては、下記業者と連絡調整を行い、工事を進めること。
- 14-1. 施設全停電を要する場合は、電気主任技術者立会いの上、行うこと。
- (電気主任技術者 日本環境クリアー株式会社 TEL048-658-0111)

設 計 仕 様 書

工事名称 市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

工事場所 富士見市大字鶴馬地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承ください。

工 事 名 称					
市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事					
請負工事費					
工 事 概 要					
屋上防水改修工事			他部分改修工事		
外壁改修工事			電気設備改修工事		
			機械設備改修工事		
総括表 名 称 摘 要 数 量 単位 金 額					上段 設計変更
					下段 原 設計
					備 考
建 築 工 事					
電 気 設 備 工 事					
機 械 設 備 工 事					
計					
共 通 仮 設 費					
純 工 事 費					
現 場 経 費					
工 事 原 価					
一 般 管 理 費					
工 事 価 格					
改 め					
消 費 税 相 当 額					
請 負 工 事 費					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	工事共通仮設費						
	準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
	仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、 作業員施設等の費用	1.0	式			
	工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式			
	環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
	動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
	屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の 整理清掃に要する費用	1.0	式			
	機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
	計						

(P.共通 - 2 -) ()
()

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費（積上げ）						
仮囲い	ガードフェンスH1.8	136.00	m			別紙明細1
仮門	キャスターゲート W=3.6×H=2.0	2.00	個所			別紙明細2
仮設材運搬費		1.00	式			別紙明細3
揚重機械	ラフテレンクレーン	1.00	式			別紙明細4
高所作業車	伸縮ブーム・バケット型	1.00	式			別紙明細5
交通誘導員		45.00	日			
室内環境測定	分析、報告書含む パッシブ式 施工前、施工後	2.00	個所			
主任技術者立会い		1.00	日			
計						

（ P. -積上-1）

（—————）

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	直接工事費						
I	建築工事		1.00	式			
II	電気設備工事		1.00	式			
III	機械設備工事		1.00	式			
IV	発生材処分		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
I	建築工事						
A	直接仮設工事		1.00	式			
B	外壁改修工事		1.00	式			
C	屋上防水改修工事		1.00	式			
D	建具改修工事		1.00	式			
E	内装改修工事		1.00	式			
F	外構改修工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	直接仮設工事						
	外部足場	手摺先行方式					
		くさび緊結式足場 建地幅900	1953.70	m ²			別紙明細6
	階段足場						
		外部 単管抱き足場	113.20	m ²			別紙明細7
	仕上足場						
		脚立 改修	265.60	m ²			
	簡易型移動式足場						
		7.4m未満	175.00	m ²			別紙明細8
		5.0m未満	45.00	m ²			別紙明細9
	ネット養生シート張り						
		防災Ⅱ類	1953.70	m ²			別紙明細10
	仮設材運搬費						
			1.00	式			別紙明細11

(P. -A-3)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	養生費						
		外壁改修	316.80	m ²			
		防水改修	394.40	m ²			
		内部複合改修	1626.40	m ²			
	清掃片付け						
		外壁改修	316.80	m ²			
		防水改修	394.40	m ²			
		内部複合改修	1626.40	m ²			
	サッシクリーニング						
		内外面 ガラス含む	299.40	m ²			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	外壁改修工事						
1	下地処理工事		1.00	式			
2	外装工事		1.00	式			
3	防水工事		1.00	式			
4	雑工事		1.00	式			
5	取壊し工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	下地処理工事						
	施工数量調査		1635.70	m ²			
	高圧水洗清掃	立上り 30Mpa	1451.20	m ²			
		見上げ 30Mpa	184.50	m ²			
	クラック処理	Uカット可とう性エポキシ樹脂充填	590.40	m			
	爆裂処理	100×100エポキシ樹脂モルタル充填	68.00	個所			
	爆裂処理	100×200エポキシ樹脂モルタル充填	8.00	個所			
	爆裂処理	100×700エポキシ樹脂モルタル充填	4.00	個所			
	浮き、欠損等	エポキシ樹脂モルタル充填	128.00	個所			
	樹脂モルタル薄塗		82.00	m ²			
	小計						

(P. -A-6)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	外装工事						
	コンクリート保護塗装	立上り					
		改修用 フッ素樹脂 ロール工法	1326.50	m ²			
	コンクリート保護塗装	見上げ					
		改修用 フッ素樹脂 ロール工法	184.50	m ²			
	珪藻土塗り	立上り 耐水トップコート ロール工法					
		改修用 アクリルシリコンエマルジョン	124.70	m ²			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	防水工事						
	打継目地コーキング	ポ リサルファイト 系 20×10	482.10	m			
	伸縮目地コーキング	ポ リサルファイト 系 20×10	323.10	m			
	建具目地コーキング	変成シリコン系 15×10	757.80	m			
	トップライト目地コーキング	変成シリコン系 20×10	11.00	m			
		変成シリコン系 10×10	10.60	m			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	雑工事						
	竖樋	カラー硬質ポリ塩化ビニル管Φ75	103.40	m			
	手摺	アルミ製 後付	37.80	m			別紙明細12
	モルタル埋め	手摺支柱跡	47.00	個所			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	取壊し工事						
	コンクリート研り	コンクリート爆裂部 人力	180.00	個所			
	コーキング撤去						
		打継目地	482.10	m			
		伸縮目地	323.10	m			
		建具目地	757.80	m			
		トップライト目地	21.60	m			
	縦樋撤去						
		塩ビ管Φ75	103.40	m			
	モルタル研り						
		支柱廻り	47.00	個所			
	手摺撤去						
			37.80	m			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C	屋上防水改修工事						
1	下地処理工事		1.00	式			
2	防水工事		1.00	式			
3	塗装工事		1.00	式			
4	雑工事		1.00	式			
5	取壊し工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	下地処理工事						
	高压水洗清掃	平場 30Mpa	517.20	m ²			
		立上り 30Mpa	104.50	m ²			
		鋼板屋根部 30Mpa	333.40	m ²			
	樹脂モルタル薄塗	平場	459.20	m ²			
		立上り	77.10	m ²			
		パラペット天端	25.40	m ²			
		パラペット下り	15.20	m ²			
		アコ`天端	11.80	m ²			
		アコ`下り	12.30	m ²			
		柱梁天端	21.00	m ²			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	仮防水塗布	立上り 水系アクリル系防水	41.20	m ²			
	仲介プライマー塗布	既存ウレタン防水部	134.60	m ²			
	バ ッカー・シール埋め	立上り極小部	1.00	式			
	伸縮目地キャップ	アルミ製目地キャップ	328.70	m			
	トレン廻り樹脂モルタル補修	横 保護層はつり含む	7.00	個所			
		縦 保護層はつり含む	1.00	個所			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	防水工事						
	高耐久アスファルト防水	平場 繊維ルーフィング仕上					
		常温塗膜複合法 Ⅰ-1	290.00	m ²			
		立上り 塗膜仕上					
		常温塗膜複合法 Ⅰ-1	41.20	m ²			
	保護塗料	アスファルト防水部					
		高耐久高反射	331.70	m ²			
	高靱性ウレタン塗膜防水	平場					
		密着工法 Ⅰ-2	168.60	m ²			
		立上り					
		密着工法 Ⅰ-2	36.00	m ²			
		柱梁天端					
		密着工法 Ⅰ-2	21.00	m ²			
		パラペット天端					
		密着工法 Ⅰ-2	25.40	m ²			
		パラペッ下り					
		密着工法 Ⅰ-2	15.20	m ²			
		アゴ天端					
		密着工法 Ⅰ-2	11.80	m ²			
		アゴ下り					
		密着工法 Ⅰ-2	12.30	m ²			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	保護塗料	塗膜防水部					
		シリコン製高耐久高反射	290.00	m ²			
	脱気筒						
		ステンレス製	6.00	個所			
	改修用ドレン						
		横引き用 ドレンキャップ 共	7.00	個所			
		縦型 ドレンキャップ 共	1.00	個所			
	防水保護シート						
			23.60	m ²			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	塗装工事						
	下地調整	鉄鋼面 RB種	333.40	m ²			
	錆止め塗装	平場					
		2液形エポキシ	318.90	m ²			
		破風、軒先水切り					
		2液形エポキシ	14.50	m ²			
	ポリウレタン塗装	平場					
		2液形トタンペイント	318.90	m ²			
		破風、軒先水切り					
		2液形トタンペイント	14.50	m ²			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	雑工事						
	化粧砂利		17.00	m ²			
	化粧砂利敷き込み		0.90	m ³			
	既存飛び石敷並べ	Φ ≒ 400	2.00	個			
		Φ ≒ 300	13.00	個			
	小計						

積 算 用 紙

下段 原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	取壊し工事						
	露出アスファルト防水撤去	立上り	41.20	m ²			
	防水端末金物撤去	シール共	219.70	m			
	緑化用保護シート撤去	平場	17.00	m ²			
	緑化用保護シート撤去	立上り	6.60	m ²			
	ドレンキャップ 撤去	横	7.00	個所			
		縦	1.00	個所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	伸縮目地撤去						
			328.70	m			
	化粧砂利撤去						
			1.20	m ³			
	植栽土撤去						
			3.40	m ³			
	縁石撤去						
			37.00	個			
	植栽撤去						
			5.00	本			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D	建具改修工事						
1	外部鋼製建具改修工事		1.00	式			
2	内部鋼製建具改修工事		1.00	式			
3	木製建具改修工事		1.00	式			
4	取壊し工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	外部鋼製建具改修工事						
	下部嵌め殺し引違い3連窓	カラーアルミ製 カバー工法 アルミ額縁	1.00	個所			
	同上運搬費		1.00	式			
	同上取付費		1.00	式			
	複層ガラス	T5+A6+T5	10.80	m ²			別紙明細13
	ガラスシーリング	シリコン系 両面	85.10	m			
	建具調整	AD-1	1.00	個所			
		AD-2	1.00	個所			
		AD-2 オペレーター調整	1.00	個所			
		AD-3	1.00	個所			
		AD-4	1.00	個所			

(P. -A-21)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	建具調整						
		AW-2	1.00	個所			
		AW-3	1.00	個所			
		AW-4	1.00	個所			
		AW-5 オペレーター調整	2.00	個所			
		AW-6	1.00	個所			
		AW-7	1.00	個所			
		AW-8	1.00	個所			
		AW-9	1.00	個所			
		AW-10	2.00	個所			
		AW-11	2.00	個所			
		AW-12	1.00	個所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
		AW-13	1.00	個所			
		AW-14	3.00	個所			
		AW-15	1.00	個所			
		AW-16	1.00	個所			
		AW-18	1.00	個所			
		AW-19	7.00	個所			
		AW-20	2.00	個所			
		AW-21	1.00	個所			
		AW-22	1.00	個所			
		AW-23	1.00	個所			
		AW-24	2.00	個所			

(P. -A-23)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	建具調整						
		AW-25	1.00	個所			
		AW-26	2.00	個所			
		AW-27	1.00	個所			
		AW-28	1.00	個所			
		AW-29	2.00	個所			
		AW-30	1.00	個所			
		AW-31	1.00	個所			
		AW-32	2.00	個所			
		AW-33	1.00	個所			
		AW-34	5.00	個所			
	建具調整・部品交換						
		AW-5 ハンドル交換	2.00	個所			

(P. -A-24)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	建具調整・部品交換						
		AW-17	9.00	個所			
		AW-19	1.00	個所			
	部品運搬費						
			1.00	式			
	部品取付費						
			1.00	式			
	網戸						
		AW-7	1.00	個所			
		AW-8	2.00	個所			
		AW-9	2.00	個所			
		AW-12	2.00	個所			
		AW-13	2.00	個所			
		AW-15	1.00	個所			
		AW-16	1.00	個所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
		AW-27	1.00	個所			
		AW-28	1.00	個所			
		AW-29	2.00	個所			
		AW-30	1.00	個所			
	網戸運搬費		1.00	式			
	網戸取付費		1.00	式			
	下地調整	改修 鉄鋼面 RB種	12.60	m ²			
	錆止め塗装	屋外 改修 鋼製建具 工程B種	12.60	m ²			
	合成樹脂調合ペイント	改修 鋼製建具 工程B種	12.60	m ²			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	自動ドア部品交換						
		STD-1 引分け自動閉鎖装置	1.00	台			
		STD-1 無目付型センサー	2.00	個			
		STD-1 補助光線センサーヘッド	1.00	組			
		AD-1 引分け自動閉鎖装置	1.00	台			
		AD-1 無目付型センサー	2.00	個			
		AD-1 補助光線センサーヘッド	1.00	組			
	自動ドア部品取付調整費						
			2.00	個所			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	内部鋼製建具改修工事						
	建具部品交換	SD-4 トアチェック交換	1.00	個所			
		SD-5 トアチェック交換	2.00	個所			
		SD-6 トアチェック交換	2.00	個所			
		SD-6 レバーハンドル錠交換	2.00	個所			
		SD-8 トアチェック交換	1.00	個所			
		SD-9 レバーハンドル錠交換	2.00	個所			
		SD-13 トアチェック交換	1.00	個所			
		SD-14 グレモンハンドル錠交換	2.00	個所			
		SD-14 順位調整器交換	1.00	個所			
		SD-15 順位調整器交換	1.00	個所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
			LSD-3 錠前交換	1.00		個所						
			LSD-3 エアダンパー交換	1.00		個所						
			LSD-7 錠前交換	2.00		個所						
			LSD-8 エアダンパー交換	1.00		個所						
			LSD-8 自閉装置交換	1.00		個所						
			LSD-9 エアダンパー交換	1.00		個所						
			SP-2 建具調整	1.00		個所						
	建具部品運搬費			1.00		式						別紙明細14
	建具部品取付費			1.00		式						別紙明細15
	建具塗装補修		LSD-2 枠塗装補修	1.00		個所						別紙明細16
	小計											

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	木製建具改修工事						
	引違い格子戸	WD-1 スプ [°] ルース 材工共	1.00	個所			
	両開きフラッシュ戸	WD-2 杉桎合板 材工共	1.00	個所			
	片開きフラッシュ戸	WD-3 杉桎合板 材工共	1.00	個所			
	引違い襖	F-1 材工共	1.00	個所			
	片引き襖	F-2 材工共	2.00	個所			
	引違い襖	F-3 材工共	1.00	個所			
	両開き襖	F-4 材工共	1.00	個所			
	引違い襖	F-5 材工共	1.00	個所			
	4枚引分け障子	P-1 材工共	1.00	個所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	透明強化ガラス						
		t=4	6.00	m ²			
	トイレブース取外し再取り付け						
			33.70	m ²			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	取壊し工事						
	鋼製建具撤去	アルミ製 4枚片引戸	1.00	個所			
	木製建具撤去	引違い格子戸	1.00	個所			
		両開きフラッシュ戸	1.00	個所			
		片開きフラッシュ戸	1.00	個所			
		引違い襖	1.00	個所			
		片引き襖	2.00	個所			
		引違い襖	1.00	個所			
		両開き襖	1.00	個所			
		引違い襖	1.00	個所			
		4枚引分け障子	1.00	個所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ガラス撤去						
		透明強化ガラス t=5	11.70	m ²			
		透明強化ガラス t=4	6.00	m ²			
	ガラス撤去						
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
E	内装改修工事						
1	内装工事		1.00	式			
2	金属工事		1.00	式			
3	雑工事		1.00	式			
4	取壊し工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	内装工事						
	銘木フローリング	直貼り用 t=15 床暖房用	37.90	m ²			別紙明細17
	乾式トイレ用塩ビシート	t~2.0	30.00	m ²			別紙明細18
	ビニールクロス	量産品 準不燃 壁	31.90	m ²			別紙明細19
	化粧石膏ボード	天井 t=9.5	11.20	m ²			
	ケイ酸カルシウム板	天井 t=6 目透し	10.00	m ²			
	廻り縁	塩ビ製	15.20	m			
	素地ごしらえ	ケイ酸カルシウム板面 工程B種	10.00	m ²			
	合成樹脂エマルジョン	見上げ ケイ酸カルシウム板面 工程B種	10.00	m ²			
	小計						

上段	變更設計
下段	原 設計

[illegible]

上段	變更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	雑工事						
	誘導用、注意喚起用床材		19.20	m ²			
	棚造作		1.00	個所			別紙明細20
	掲示板取外し再取り付け	1800×900	1.00	個所			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	取壊し工事						
	銘木フローリング撤去	t=15	37.90	m ²			
	ビニール床シート撤去		41.40	m ²			
	ビニールクロス撤去	壁	31.90	m ²			
	化粧石膏ボード撤去	天井 t=9.5	11.20	m ²			
	ケイ酸カルシウム板撤去	天井 t=6	10.00	m ²			
	廻り縁撤去		15.20	m			
	誘導用 注意喚起用床材撤去		8.00	m ²			
	棚撤去		1.00	個所			別紙明細21
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
F	外構改修工事						
1	外構工事		1.00	式			
2	植栽工事		1.00	式			
3	取壊し工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	外構工事						
	遣り方	簡易	11.10	m ²			
	墨出し	簡易	11.10	m ²			
	舗装直接仮設		12.60	m ²			
	養生費		11.10	m ²			
	清掃片付け		326.70	m ²			
	コンクリート	Fc=18	3.40	m ³			
	コンクリート打設手間	小規模 人力	3.40	m ³			
	異形棒鋼	D10	156.50	kg			
	鉄筋加工組立	小規模	156.50	kg			
	鉄筋運搬	4t車	156.50	kg			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	型枠	一般	4.10	m ²			
	型枠運搬費	4t車	4.10	m ²			
	碎石		1.90	m ³			
	コンクリート金鰻		11.10	m ²			
	あと施工アンカー	M10 接着系 下向き	8.00	本			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	区画線						
		白線 W=150	44.10	m			
	ゼブラライン						
		白線 W=150	44.40	m			
	駐車番号表示						
		白色	19.00	個所			
	文字表示						
		白色	1.00	式			
	マーク表示						
		白色	1.00	式			
	青色塗装						
			14.60	m ²			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	植栽工事						
	伐採	幹径 Φ250	1.00	本			
		幹径 Φ180	1.00	本			
		幹径 Φ160	1.00	本			
		幹径 Φ150	1.00	本			
		幹径 Φ140	1.00	本			
		幹径 Φ120	2.00	本			
		幹径 Φ80	1.00	本			
	樹木剪定	幹径 Φ150	2.00	本			
		幹径 Φ120	2.00	本			
		幹径 Φ100	8.00	本			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	つるせ西ゆうゆうの丘公園内 植栽土木機械運転						
			1	日			
	移植						
		樹高50～100cm未満	10	本			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	取壊し工事						
	車止め撤去		6.00	個			
	白線消し	駐車区画線等	82.90	m			
	つるせ西ゆうゆうの丘公園内 土工機械運転		1.00	日			
	根切り	施工区内処理	5.90	m ³			
	小計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細1			1 m 当たり	
仮囲い	ガードフェンス H=1.8			

1 m 当たり						
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額
掛払い手間						
		H=1.8m 柱脚固定金具共	1.00	m		
供用1日賃料 修理費含む						
		H=1.8m	90.00	m		
基本料						
		修理費含む	1.00	m		
計						

(P. -別紙明細-1)

() 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細2			1 個所当たり	
仮門	キャスターゲート W=3.6×H=2.0			

1 個所当たり							
		数 量	単位	単 価	金 額	備 考	
掛払い							
		1.00	個所				
月額賃料							
		3.00	月				
計							

(P. -別紙明細-2)

()

富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細3			1 式当たり	
仮設材運搬費				

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮囲い							
		カーポートフェンス H=1.8	136.00	m			
計							

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細4			1 式当たり	
揚重機械				

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ラフテレンクレーン							
		50t ホﾟ レータ付	3.00	日			
		16t ホﾟ レータ付	1.00	日			
計							

(P. -別紙明細-4)

(_____) 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細5			1 式当たり	
高所作業車	伸縮ブーム・バケット型			

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	高所作業車						
		伸縮ブーム・バケット型 8～10m	1.00	日			
		伸縮ブーム・バケット型 13～14m	2.00	日			
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細6			1 m ² 当たり	
外部足場	くさび緊結式足場 (手すり先行方式) 20m未満			

1 m ² 当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	掛払い手間						
		高さ20m未満 期間 3 か月	1. 00	m ²			
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細7			1 m ² 当たり	
階段足場	外部 単管抱き足場			

1 m ² 当たり						
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額
掛払い手間						
		10～15m未満	1.00	m ²		
共用1日賃料						
		修理費含む	90.00	日		
基本料金						
		修理費含む	1.00	m ²		
計						

(P. -別紙明細-7)

() 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細8			1 m ² 当たり	
移動式足場	7.4m未満			

1 m ² 当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	掛払い手間						
			1. 00	m ²			
	共用1日 賃料						
		修理費含む	10. 00	日			
	基本料金						
		修理費含む	1. 00	m ²			
	計						

(P. -別紙明細-8)

(_____) 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細9			1 m ² 当たり	
移動式足場	5.0m未満			

1 m ² 当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	掛払い手間						
			1. 00	m ²			
	共用1日 賃料						
		修理費含む	10. 00	日			
	基本料金						
		修理費含む	1. 00	m ²			
	計						

(P. -別紙明細-9)

(_____) 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細10			1 m ² 当たり	
メッシュ養生シート張り	防災Ⅱ類			

1 m ² 当たり						
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額
掛払い手間			1.00	m ²		
共用1日賃料		修理費含む	90.00	日		
基本料金		修理費含む	1.00	m ²		
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細11			1 m ² 当たり	
仮設材運搬費				

1 m ² 当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単管抱足場						
			113. 20	m ²			
	簡易型移動式足場						
		7. 4未満	175. 00	m ²			
		5. 0未満	45. 00	m ²			
	メッシュ養生シート						
			1953. 70	m ²			
	計						

(P. -別紙明細-11)

(_____) 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細12			1 m当たり	
手摺				

1 m当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	手摺						
		アルミ製	1.00	m			
	施工手間						
		特殊作業員	0.23	人工			
		普通作業員	0.09	人工			
		その他	1.00	式			
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細13			1 m ² 当たり	
複層ガラス	T5+A6+T5			

1 m ² 当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	複層ガラス						
		T5+A6+T5	1.00	m ²			
	施工手間						
		ガラス工	0.39	人工			
		その他	1.00	式			
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細14			1 式当たり	
建具部品運搬費（1）				

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
SD-4							
			1. 00	個所			
SD-5							
			2. 00	個所			
SD-6							
			2. 00	個所			
SD-8							
			1. 00	個所			
SD-9							
			2. 00	個所			
SD-13							
			1. 00	個所			
SD-14							
			1. 00	個所			
SD-14							
			1. 00	個所			
SD-15							
			1. 00	個所			
小計							

（ P. -別紙明細-14）

（ ） 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

			1 式当たり	
建具部品運搬費（2）				

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
LSD-3							
			1. 00	個所			
LSD-7							
			2. 00	個所			
LSD-8							
			1. 00	個所			
LSD-9							
			1. 00	個所			
小計							
計							

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細15			1 式当たり	
建具部品取付費（1）				

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
SD-4							
			1. 00	個所			
SD-5							
			2. 00	個所			
SD-6							
			2. 00	個所			
SD-8							
			1. 00	個所			
SD-9							
			2. 00	個所			
SD-13							
			1. 00	個所			
SD-14							
			1. 00	個所			
SD-14							
			1. 00	個所			
SD-15							
			1. 00	個所			
小計							

（ P. -別紙明細-16）

（ ） 富士見市 総務部 営繕課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

				1 式当たり			
建具部品取付費（2）							
1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	LSD-3						
			1. 00	個所			
	LSD-7						
			2. 00	個所			
	LSD-8						
			1. 00	個所			
	LSD-9						
			1. 00	個所			
	小計						
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細16			1 式当たり	
建具塗装補修	LSD-2 枠塗装補修			

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
下地調整							
		改修 鉄鋼面 RB種	1.30	m ²			
錆止め塗装							
		改修 鋼製建具面 工程B種	1.30	m ²			
合成樹脂調合ペイント							
		改修 鋼製建具面 工程B種	1.30	m ²			
計							

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細17			1 m ² 当たり	
銘木フローリング	直貼り用 t=15 床暖房用			

1 m ² 当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	銘木フローリング						
		直貼り用 t=15 床暖房用	1. 10	m ²			
	施工手間						
		大工	0. 13	人工			
		普通作業員	0. 01	人工			
		釘	0. 04	kg			
		その他	1. 00	式			
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細18			1 m ² 当たり	
乾式トイレ用塩ビシート	t=2.0			

1 m ² 当たり						
名 称		摘 要・規 格	数 量	単位	単 価	金 額
乾式トイレ用塩ビシート						
		T=2.0	1.05	m ²		
施工手間						
		内装工	0.04	人工		
		その他	1.00	式		
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細19			1 m ² 当たり	
ビニールクロス	量産品 準不燃 壁			

1 m ² 当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ビニールクロス						
		量産品 準不燃 壁	1.05	m ²			
	施工手間						
		下地処理共	1.00	m ²			
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細20			1 式当たり	
棚 (1)				

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
米母							
			0. 20	m³			
合板							
		t=12 ラワン合板 II 類	3. 50	m²			
金物							
		T型	2. 00	個			
		L型	4. 00	個			
		万能L型	3. 00	個			
		釘	0. 12	kg			
あと施工アンカー							
		金属拡張 M8 標準(ステンレス) 上向き	3. 00	本			
小計							

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

			1 式当たり	
棚 (2)				

1 式当たり							
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	施工手間						
		大工	0.73	人工			
		普通作業員	0.15	人工			
		その他	1.00	式			
	小計						
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細21			1 式当たり	
棚撤去				

1 式当たり						
名 称		摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額
棚板			3.20	m ²		
柱等			10.00	本		
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
II	電気設備工事						
A	幹線設備工事		1.00	式			
B	電灯コンセント設備工事		1.00	式			
C	弱電設備工事		1.00	式			
D	太陽光発電設備工事		1.00	式			
E	監視カメラ設備工事		1.00	式			
F	取壊し工事		1.00	式			
	計						

(P. - E - 1)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	幹線設備工事						
1	幹線引込工事		1.00	式			
2	動力設備工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	幹線引込工事						
	6KVトリプ レックス形 ホ リエチレン絶縁ケーブル	EM-CET (EE) 38mm ² 管内	30.00	m			
		EM-CET (EE) 38mm ² FEP内	5.00	m			
		EM-CET (EE) 38mm ² 隠蔽	2.00	m			
	端末処理	EM-CET38mm ² 屋外耐塩	1.00	個所			
		EM-CET38mm ² 屋内	1.00	個所			
	SOG制御ケーブル	管内	32.00	m			
	SOG制御ケーブル	FEP内	5.00	m			
	EM-IEケーブル	14mm ² 管内	2.00	m			
	EM-IEケーブル	5.5mm ² PF管内	2.00	m			

(P . - E - 3)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電線管							
		PF-D-22 (露出)	2.00	m			
電線管							
		PF-D-28 (露出)	1.00	m			
接地極		ELH種					
		銅覆鋼棒打込式 14φ×1.5m 3連	2.00	個所			
接地極埋設標識							
		金属製	1.00	枚			
高压気中負荷開閉器		柱上 7.2kV 300A SUS製					
		VT・LA内蔵 方向性SOG制御装置付き	1.00	個			
		(SUS BOX)					
柱上開閉器地上操作装置操作棒							
			1.00	本			
地上操作用ロープ フィッカー							
			1.00	個			
地上操作用開閉ロープ							
			1.00	組			

(P. - E - 4)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ロープカイト		6.00	個			
高圧ビン磚子	耐塩形	3.00	個			
分岐支持バンド	ゴムスペーサー共	1.00	個			
ブランクプレート	t 1.6 塗装(SOG 撤去部)	1.00	枚			
既存電線管架台脱着	コンクリート製	13.00	個所			
土工事	根切 人力	0.80	m ³			
土工事	埋戻し 人力	0.80	m ³			
小計						

(P. - E - 5)

()

富士見市 総務部 営繕課

上段	變更設計
下段	原 設計

(P. - E - 6)

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	電灯コンセント設備工事						
1	照明器具設備工事		1.00	式			
2	電灯コンセント設備工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	照明器具設備工事						
	LEDアッパ ーライト		4.00	台			
	同上取付費		4.00	台			
	LEDスポットライト	平凸 100V 取付固定金具共	4.00	台			
	同上取付費		4.00	台			
	LEDスポットライト	フレネルタイプ 100V 取付固定金具共	8.00	台			
	同上取付費		8.00	台			
	ダウンライト脱着		7.00	台			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	電灯コンセント設備工事						
	600Vボリエチレン絶縁ケーブル	EM-EEF1.6-2C 天井	57.00	m			
		EM-EEF1.6-2C MM内	3.00	m			
		EM-EEF2.0-2C 天井	46.00	m			
		EM-EEF2.0-2C MM内	3.00	m			
	耐熱ケーブル						
		EM-AE0.9-2C PF内	35.00	m			
		EM-AE0.9-2C MM内	3.00	m			
		EM-AE0.9-4C PF内	64.00	m			
		EM-AE0.9-4C MM内	3.00	m			
	合成樹脂可とう電線管						
		PF16 隠蔽	99.00	m			

(P. - E - 9)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1 種金属線ピ							
		A型	6.00	m			
1 種金属線ピ付属品							
		A型 コーナーボックス	6.00	個			
機械はつり							
		RC 200程度 Φ50	2.00	個所			
防火区画貫通処理							
			2.00	個所			
タンブラスイッチ		金属プレート					
		1P15A×1	7.00	個			
		金属プレート					
		1P15A×2	2.00	個			
		金属プレート					
		1P15A×1 PL×1	9.00	個			
		金属プレート					
		1P15A×2 PL×1	2.00	個			
		金属プレート					
		1P15A×3	1.00	個			
		金属プレート					
		1P15A×3 PL×1	1.00	個			

(P. - E - 10)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	1P15A×4 PL×1	1.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	1P15A×1 3W15A×1	2.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	1P15A×1 PL×1 3W15A×1	1.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	1P15A×3 PL×1 3W15A×1	1.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	3W15A×1	14.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	3W15A×3	3.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	3W15A×3 PL×1	1.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	3W15A×4	2.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	1PL15A×2	1.00	個			
	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
	4W15A×1	2.00	個			
	樹脂製					
	1P15A×1 WP	1.00	個			

(P. - E - 11)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
埋め込みコンセント		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P15A×2	67.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P15A×2 ET	61.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P15A×2 E	2.00	個			
		樹脂製					
		2P15A×2 ET WP	10.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P20A×1	6.00	個			
人感センサー							
		親機	6.00	台			
		親機（子機接続不可）	3.00	台			
		子機	3.00	台			
		子機（換気扇端子付き）	6.00	台			

（ P. - E - 12 ）

（ ）

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
フローコンセント	C型20A×2	4.00	個			
同上取付費		4.00	個			
リモコンリレー	100V 20A	30.00	個			
リモコントランス	100V	3.00	個			
リレー制御用T/U	100V 4回路	9.00	個			
リモコンリレー等取付費		9.00	個			
点滅装置	LED 100V	12.00	台			
同上取付費		12.00	台			
信号装置		1.00	台			
同上取付費		3.00	台			
小計						

(P. - E - 13)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C	弱電設備工事						
1	自動火災報知設備工事		1.00	式			
2	非常放送設備工事		1.00	式			
3	TV共聴設備工事		1.00	式			
4	電気時計設備工事		1.00	式			
5	非常呼出設備工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	自動火災報知設備工事						
	複合受信機	P型1級 20回線	1.00	面			
		G型 10回線					
	同上取付費		1.00	組			
	表示灯	普通	3.00	個			
	発信機	P型1級 埋込型	3.00	個			
	発信機用埋込プレート		3.00	個			
	光電式スポット型感知器	2 種 露出 非蓄積型	7.00	個			
		2 種 露出 非蓄積型 点検BOX	1.00	個			
		2 種・3 種 非蓄積型 露出	4.00	個			
	差動式スポット型感知器	2 種 露出	47.00	個			

(P. - E - 15)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	定温式ホット型感知器						
		1 種 露出	7.00	個			
		特種 露出	1.00	個			
	電磁リリース						
		防火戸用 ラッチ式	3.00	個			
	ガス漏れ警報器						
		引掛け式 DC24V 都市ガス用	1.00	個			
	電子ブザー						
		DC24V	1.00	個			
	消火栓起動リレー						
			1.00	台			
	消火栓起動リレー取付費						
			1.00	台			
	火災報知立会い検査						
			1.00	式			
	小計						

(P. - E - 16)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	非常放送設備工事						
	防災アンプ	壁掛型					
		非常通常放送装置 10回戦	1.00	組			
		ハリアンプユニット 音声警報ユニット					
		ニッケルカドミウム蓄電池					
	同上取付費						
		400W	1.00	組			
	ダブルカセットデッキ						
			1.00	台			
	天井埋込スピーカー						
		SC6Hi-1V0	16.00	個			
		SC6Hi-1V3	11.00	個			
	壁掛スピーカー						
		SW1Hi-1V3	7.00	個			
	アッテネータ						
		6W 合成樹脂製	15.00	個			
	小計						

(P. - E - 17)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	TV共聴設備工事						
	双方向増幅器	770MHz	2.00	台			
	同上取付費		1.00	台			
	共聴用 2 分岐器		1.00	個			
	6 分配器	SH-D6	2.00	個			
	4 分配器	SH-D4	1.00	個			
	2 分配器	SH-D2	2.00	個			
	直列ユニット	SH-7F-7SW	12.00	個			
	コンセントプラグ	F型	12.00	個			
	接栓	F型 5C ピン付	24.00	個			
	小計						

(P. - E - 18)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	電気時計設備工事						
	水晶式親時計	ラック型 8 回路	1.00	台			
	同上取付費		1.00	台			
	親モニタ増設ユニット		1.00	台			
	同上取付費		1.00	台			
	子時計	壁掛型 Φ310	9.00	個			
		壁掛型 310×310	2.00	個			
	小計						

(P. - E - 19)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	非常呼出設備工事						
	トイレ呼出表示器	3 窓	1.00	台			
	廊下灯	角型	3.00	台			
	復旧ボタン		3.00	台			
	呼出ボタン	引きひも付き	3.00	台			
	小計						

(P. - E - 20)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D	太陽光発電設備工事						
	パ ワーコンデ`ションナ`	5.5kW 屋内壁掛型	1.00	台			
	同上取付費		1.00	式			
	同上試運転調整費		1.00	式			
	既存電線管架台脱着	コンクリート製	25.00	個所			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
E	監視カメラ設備工事						
	カメラ取付金物	仮移設用					
			1.00	組			
	南京錠	仮移設用					
			1.00	個			
	腕金	仮移設用					
		LAC-100	1.00	組			
	自在バント	仮移設用					
		3BD-HD	1.00	式			
	電源ボックス	仮移設用					
		WB-DM	1.00	個			
	安全ブレーカー	仮移設用					
		DB31H20A	1.00	個			
	ビニルキャブタイヤ丸形コード	仮移設用					
		VCTF0.75-3C 管内	5.00	m			
	合成樹脂製可とう電線管	仮移設用					
		PF-D 22	5.00	m			
	カメラ取付金物	復旧用					
			1.00	組			
	ビニルキャブタイヤ丸形コード	復旧用					
		VCTF0.75-3C 管内	20.00	m			

(P. - E - 22)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂製可とう電線管		復旧用					
		PF-D 22	15.00	m			
既存防犯カメラ		仮設置					
			1.00	台			
既存カメラ取付金物		仮設置					
			1.00	組			
ビニルキャブタイヤ丸形コード撤去		仮移設用					
		VCTF0.75-3C	18.00	m			
合成樹脂製電線管撤去		仮移設用					
		PF-D 22	15.00	m			
ビニルキャブタイヤ丸形コード撤去		復旧					
		VCTF0.75-3C	5.00	m			
合成樹脂製電線管撤去		復旧					
		PF-D 22	5.00	m			
表示看板							
			1.00	個所			
画角調整							
		仮移設用	1.00	式			
既存防犯カメラ		取外し本復旧					
			1.00	台			
既存カメラ取付金物		取外し本復旧					
			1.00	組			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ビニルキャブタイヤ丸形コード撤去		仮移設					
		VCTF0.75-3C	18.00	m			
合成樹脂製電線管撤去		仮移設					
		PF-D 22	15.00	m			
ビニルキャブタイヤ丸形コード		本復旧用					
		VCTF0.75-3C 管内	20.00	m			
合成樹脂製可とう電線管		本復旧用					
		PF-D 22	20.00	m			
画角調整							
		本復旧用	1.00	式			
計							

(P. - E - 24)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
F	取壊し工事						
	6KVトリプ レックス形 ホ リエチレン絶縁ケーブル撤去	CVT38mm ² 3心 管内	30.00	m			
		CVT38mm ² 3心 FEP内	5.00	m			
		CVT38mm ² 3心 隠蔽	2.00	m			
	端末処理撤去	CVT38mm ² 屋外耐塩	1.00	個所			
		CVT38mm ² 屋内	1.00	個所			
	SOG操作ケーブル	管内	32.00	m			
	SOG操作ケーブル	FEP内	5.00	m			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	波付硬質合成樹脂管撤去						
		FEP(40)	4.00	m			
	接地極埋設標識撤去						
			1.00	枚			
	高圧気中負荷開閉器撤去						
		柱上 7.2kV 300A SUS製 SOG共	1.00	個			
	避雷器						
			1.00	台			
	分岐支持バンド						
			1.00	個			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
タンブラスイッチ撤去		金属フ°レト					
		1P15A×1	7.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×2	2.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×1 PL×1	9.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×2 PL×1	2.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×3	1.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×3 PL×1	1.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×4 PL×1	1.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×1 3W15A×1	2.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×1 PL×1 3W15A×1	1.00	個			
		金属フ°レト					
		1P15A×3 PL×1 3W15A×1	1.00	個			
		金属フ°レト					
		3W15A×1	14.00	個			

(P. - E - 27)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	タンブラスイッチ撤去	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		3W15A×3	3.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		3W15A×3 PL×1	1.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		3W15A×4	2.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		PL15A×2	1.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		4W15A×1	2.00	個			
		樹脂製					
		1P15A×1 WP	1.00	個			
	埋め込みコンセント撤去	金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P15A×2	67.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P15A×2 ET	61.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P15A×2 E	2.00	個			
		樹脂製					
		2P15A×2 ET WP	10.00	個			
		金属ﾌﾟﾚｰﾄ					
		2P20A×1	6.00	個			

(P. - E - 28)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
フローコンセント撤去						
	C型20A×2	4.00	個			
アップ・ホリゾントライト撤去						
	85Wミニハロゲン×12	4.00	台			
スポットライト撤去						
	平凸	4.00	台			
	フレネルタイプ	8.00	台			
人感センサー撤去						
	親機	9.00	台			
	子機	3.00	台			
	子機（換気扇端子付き）	6.00	台			
リモコンリレー撤去						
		30.00	個			
リモコンランス撤去						
		3.00	個			
リレー制御用T/U撤去						
		9.00	個			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
複合受信機撤去						
	P型1級 20回線	1.00	面			
ガス漏れ受信機撤去						
	G型 10回線	1.00	面			
表示灯撤去						
	普通	3.00	個			
発信機撤去						
	P型1級 埋込型	3.00	個			
光電式ホツト型感知器撤去						
	2種 露出	7.00	個			
	2種 露出 点検BOX	1.00	個			
	2種・3種 非蓄積型 露出	4.00	個			
差動式ホツト型感知器撤去						
	2種 露出	47.00	個			
定温式ホツト型感知器撤去						
	1種 露出	7.00	個			
	特種 露出	1.00	個			
電磁リリース撤去						
	防火戸用 ラッチ式	3.00	個			

(P. - E - 30)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガス漏れ警報器撤去						
	引掛け式 DC24V 都市ガス用	1.00	個			
電子ブザー撤去						
	DC24V	1.00	個			
消火栓起動リレー撤去						
		1.00	台			
防災アンプ 撤去						
	非常通常放送装置 10回線	1.00	面			
ダブルカセットデッキ撤去						
		1.00	台			
天井埋込スピーカー撤去						
	アッテネータ付	11.00	個			
	アッテネータ無し	16.00	個			
壁掛スピーカー撤去						
	アッテネータ付	7.00	個			
アッテネータ撤去						
		15.00	個			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	双方向増幅器撤去		2.00	台			
	共聴 2 分岐		1.00	個			
	6 分配器撤去		1.00	個			
	4 分配器撤去		1.00	個			
	2 分配器撤去		2.00	個			
	直列ユニット撤去		12.00	個			
	テレビ 端子撤去		12.00	個			
	水晶式親時計撤去		1.00	台			
	親モニタ増設ユニット撤去		1.00	台			
	子時計撤去	壁掛型 Φ310	9.00	個			
		壁掛型 310×310	2.00	個			

(P. - E - 32)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	トイレ呼出表示器撤去						
		3 窓用	1.00	台			
	廊下灯撤去						
			3.00	台			
	復旧ボタン撤去						
			3.00	台			
	呼出ボタン撤去						
			3.00	台			
	パ ワーコンデショナー撤去						
			1.00	台			
	計						

(P. - E - 33)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ	機械設備工事						
A	給排水衛生設備工事		1.00	式			
B	屋内消火栓設備工事		1.00	式			
C	給湯設備工事		1.00	式			
D	空調設備工事		1.00	式			
E	換気設備工事		1.00	式			
F	取壊し工事		1.00	式			
	計						

(P. - M - 1)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	給排水衛生設備工事						
1	衛生器具設備工事		1.00	式			
2	給排水設備工事		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備工事						
	洗浄暖房便座		18.00	台			
	同上取付費		18.00	台			
	棚付二連紙巻器	ステンレス製	21.00	個			
	同上取付費		21.00	個			
	折りたたみ水栓	泡末式	8.00	個			
	同上取付費		8.00	個			
	既存腰掛便器脱着		6.00	台			
	既存掃除用流し脱着		3.00	台			
	小計						

(P. - M - 3)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	給排水設備工事						
	硬質塩ビライニング鋼管	給水					
		SGP-VB20A 架空	2.00	m			
		給水					
		SGP-VB20A 機械室	1.00	m			
		給水					
		SGP-VB25A 機械室	1.00	m			
	配管用炭素鋼鋼管	消火					
		SGP40A 機械室	4.00	m			
		消火					
		SGP50A 機械室	1.00	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	排水					
		VP50 機械室	1.00	m			
		排水					
		VP25 架空	10.00	m			
	仕切弁						
		JIS10K 40A	1.00	個			
	逆止弁						
		JIS10K 40A	1.00	個			
	フレキシブルジョイント						
		40A	1.00	個			

(P. - M - 4)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	保温工事	ロックウール ステンレス					
		給水 20A 屋外	2.00	m			
		ロックウール アルミガラスクロス					
		給水 20A 機械室	1.00	m			
		ロックウール アルミガラスクロス					
		給水 25A 機械室	1.00	m			
	塗装工事						
		40A	4.00	m			
		50A	1.00	m			
	小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	屋内消火栓設備工事						
	消火栓ポンプユニット	起動装置含む	1.00	基			
	消火栓ポンプ据付費		1.00	式			
	保温改修工事	ロックワール					
		給水 屋外 ステンレス 20A	6.00	m			
		ロックワール					
		消火栓 屋外 ステンレス 40A	5.00	m			
	既存配管架台脱着						
		門型	4.00	個所			
	搬入費						
		250kg以下	0.15	t			
	計						

(P. - M - 6)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C	給湯設備工事						
	ガス給湯器	屋外壁掛型 32号 瞬間式	1.00	台			
	配管カバー		1.00	個			
	給湯器取付費		1.00	台			
	同上リモコン		1.00	個			
	リモコン取付費		1.00	個			
	小型電気温水器	角形 20L 飲料可	3.00	台			
	フローキャッチャー	密閉式	3.00	台			
	逃し鋼管セット		3.00	組			
	電気温水器取付費	角形	3.00	台			

(P. - M - 7)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	小型電気温水器	丸形 20L	2.00	台			
	フローキャッチャー	密閉式	2.00	台			
	逃しホースセット		2.00	組			
	電気温水器取付費	丸形	2.00	台			
	給湯用被覆銅管	20A 架空	2.00	m			
	カラーガス管	32A 架空	2.00	m			
	保温工事	給湯 屋外 ステンレス 20A	2.00	m			
	既存配管架台脱着	コンクリート	3.00	個所			
	計						

(P. - M - 8)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D	空調設備工事						
	保温改修工事						
		屋外 ガルバリウム 125A	39.00	m			
	既存配管架台脱着						
		門型	21.00	個所			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
E	換気設備工事						
	深型フード	ステンレス製 Φ100 防虫網	5.00	個			
	同上取付費		5.00	個			
	深型フード	ステンレス製 Φ100 ギャラリ	7.00	個			
	同上取付費		7.00	個			
	深型フード	ステンレス製 Φ100FD付 防虫網	3.00	個			
	同上取付費		3.00	個			
	深型フード	ステンレス製 Φ150 防虫網	5.00	個			
	同上取付費		5.00	個			
	深型フード	ステンレス製 Φ150 ギャラリ	9.00	個			
	同上取付費		9.00	個			

(P. - M - 10)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	深型フート	ステンレス製 Φ150FD付 防虫網	6.00	個			
	同上取付費		6.00	個			
	深型フート	ステンレス製 Φ200 防虫網	4.00	個			
	同上取付費		4.00	個			
	深型フート	ステンレス製 Φ200 キヤリ	6.00	個			
	同上取付費		6.00	個			
	深型フート	ステンレス製 Φ200FD付 防虫網	8.00	個			
	同上取付費		8.00	個			
	ベントキャップ	丸形防風板付 Φ300 網付	2.00	個			
	同上取付費		2.00	個			

(P. - M - 11)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	既存天井扇脱着						
		F-1 φ 150	6.00	台			
		F-2 φ 100	3.00	台			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
F	取壊し工事						
	暖房便座撤去		15.00	個			
	洗浄暖房便座撤去		3.00	個			
	紙巻器撤去		21.00	個			
	折りたたみ水栓撤去		8.00	個			
	消火栓ポンプ撤去		1.00	基			
	ガス給湯器撤去	屋外壁掛型 32号 瞬間式	1.00	台			
	同上リモコン撤去		1.00	個			
	小型電気温水器撤去	角形 20L	3.00	台			
	小型電気温水器撤去	丸形 20L	2.00	台			
	搬出費	250kg以下	0.15	t			

(P. - M - 13)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	配管用炭素鋼鋼管撤去						
		消火管 SGP-VB50 機械室	1.00	m			
		消火管 SGP-VB40 機械室	4.00	m			
	塩ビライニング鋼管撤去						
		給水 SGP-VB25 機械室	1.00	m			
		給水 SGP-VB20 機械室	1.00	m			
		給水 SGP-VB20 架空	2.00	m			
	給湯用被覆銅管撤去						
		20A 架空	2.00	m			
	カラーガス管撤去						
		32A 架空	2.00	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管						
		消火栓用 トレン VP50	1.00	m			
		空調用 トレン管 VP25	10.00	m			

(P. - M - 14)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仕切弁撤去						
	JIS10K GV40A	1.00	個			
逆止弁撤去						
	JIS10K CV40A	1.00	個			
フレキシブルジョイント撤去						
	FJ40A	1.00	個			
保温撤去						
	給水 機械室 アルミガラスクロス 25A	1.00	m			
	給水 機械室 アルミガラスクロス 20A	1.00	m			
	給水 屋外 ステンレス 20A	2.00	m			
	消火栓 屋外 ステンレス 40A	5.00	m			
	給水 屋外 ステンレス 20A	6.00	m			
	給湯 屋外 ステンレス 20A	2.00	m			
	空調 屋外 ステンレス 外装 125A	39.00	m			

(P. - M - 15)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	深型フット撤去						
		ステンレス製 Φ100 防虫網	12.00	個			
		ステンレス製 Φ100FD付 防虫網	3.00	個			
		ステンレス製 Φ150 防虫網	14.00	個			
		ステンレス製 Φ150FD付 防虫網	6.00	個			
		ステンレス製 Φ200 防虫網	10.00	個			
		ステンレス製 Φ200FD付 防虫網	8.00	個			
	ベントキャップ撤去						
		ギャラリ Φ300	2.00	個			
	計						

(P. - M - 16)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
IV	発生材処分						
1	発生材運搬		1.00	式			
2	発生材処分		1.00	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	発生材運搬						
	発生材運搬	2t 人力 4km					
		コンクリート類	0.10	m ³			
		2t					
		アスファルト	1.00	台			
		2t 人力 4km					
		木材類	1.70	m ³			
		混合廃棄物 建築	22.70	m ³			
		混合廃棄物 電気	1.10	m ³			
		混合廃棄物 機械	2.80	m ³			
	小計						

(P. - 発生材処分 - 2)

()

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

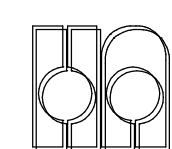
名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	発生材処分						
	発生材処分	コンクリート類	0.10	m ³			
		アスファルト	0.70	m ³			
		木材類	1.70	m ³			
		混合廃棄物 建築	22.70	m ³			
		混合廃棄物 電気	1.10	m ³			
		混合廃棄物 機械	2.80	m ³			
	小計						

(P. - 発生材処分 - 3)

()

富士見市 総務部 営繕課

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事



ハナガタ建築設計事務所

図 面 リ ス ト											
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
	建 築 工 事			建 築 工 事			電気設備工事			機械設備工事	
A- 1	改修工事特記仕様書（１）		A-20	１・２階天井伏図	S=1/100	E- 1	電気設備工事特記仕様書（１）		M- 1	機械設備工事特記仕様書（１）	
A- 2	改修工事特記仕様書（２）		A-21	３・Ｒ階天井伏図	S=1/100	E- 2	電気設備工事特記仕様書（２）		M- 2	機械設備工事特記仕様書（２）	
A- 3	改修工事特記仕様書（３）		A-22	ブレイルーム・１階倉庫詳細図	S=1/50, S=1/20	E- 3	幹線設備配置図	S=1/200	M- 3	機械設備工事特記仕様書（３）	
A- 4	改修工事特記仕様書（４）		A-23	便所平面詳細図	S=1/50	E- 4	照明器具姿図・壁図		M- 4	器具・機器表	
A- 5	改修工事特記仕様書（５）		A-24	詳 細 図	S=1/30	E- 5	１階・２階幹線動力設備平面図	S=1/100	M- 5	１・２階給排水衛生設備平面図	S=1/100
A- 6	改修工事特記仕様書（６）		A-25	１・２階建具キープラン	S=1/100	E- 6	３階・Ｒ階幹線動力設備平面図	S=1/100	M- 6	３・Ｒ階給排水衛生設備平面図	S=1/100
A- 7	改修工事特記仕様書（７）		A-26	３・Ｒ階建具キープラン	S=1/100	E- 7	１階・２階電灯コンセント設備平面図	S=1/100	M- 7	衛生設備詳細図	S=1/50
A- 8	改修工事特記仕様書（８）		A-27	建 具 表（１）	S=1/50	E- 8	３階・Ｒ階電灯コンセント設備平面図	S=1/100	M- 8	１・２階空調換気設備平面図	S=1/100
A- 9	配置図・案内図	S=1/200	A-28	建 具 表（２）	S=1/50	E- 9	電灯コンセント設備詳細図	S=1/50	M- 9	３・Ｒ階空調換気設備平面図	S=1/100
A-10	仕 上 表		A-29	建 具 表（３）	S=1/50	E-10	自動火災報知設備系統図		M-10	換気設備詳細図	S=1/50
A-11	１・２階平面図（改修）	S=1/100	A-30	建 具 表（４）	S=1/50	E-11	自動火災報知設備１・２階平面図	S=1/100			
A-12	１・２階平面図（既存）	S=1/100	A-31	外 構 図（改修）	S=1/100, S=1/30	E-12	自動火災報知設備３・Ｒ階平面図	S=1/100			
A-13	３・Ｒ階平面図（改修）	S=1/100	A-32	外 構 図（既存）	S=1/100	E-13	弱電設備系統図				
A-14	３・Ｒ階平面図（既存）	S=1/100	A-33	１・２階仮設計画図	S=1/100	E-14	弱電設備機器姿図				
A-15	立 面 図	S=1/100	A-34	３・Ｒ階仮設計画図	S=1/100	E-15	弱電設備１・２階平面図	S=1/100			
A-16	矩 計 図（１）	S=1/30	A-35	外壁調査結果図		E-16	弱電設備３・Ｒ階平面図	S=1/100			
A-17	矩 計 図（２）	S=1/30									
A-18	矩 計 図（３）	S=1/30									
A-19	階段詳細図	S=1/50									

工 事 名		市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修 工事	
I 工事概要			
1. 工事場所	富士見市大字鶴馬地内		
2. 敷地面積			
3. 工事種目 (建物概要)	鉄筋コンクリート造 3階建て 床面積：1,649.01㎡		
4. 工事内容	外壁改修工事 外壁の経年劣化に伴いコンクリート打放部分は下地処理の上フッ素樹脂を塗布する。 珪藻土塗り部分は下地処理の上改修用トップコートを塗布する。 屋上防水改修工事		
建具改修工事	外部内部鋼製建具は建具調整を行い、一部部品の交換及び1階ブレイルームの建具をカーバ工法で改修する。又、外部建具の一部に網戸を新たに設置する。 3階和室の木製建具はすべて交換する。 内装改修工事 各階の誘導用標識タイルを換替えし、多目的便所延長して設置する。 1階倉庫の既存木製棚を撤去して、新たに木製棚を設置する。 外構改修工事 防災倉庫を移動し、駐車場の区画線及び文字表示、障害者マークを塗替える。 既存樹木の一部を伐採伐根し、その他については樹木剪定を行う。		
5. 工 期	契約工期	契 約 日	から令和8年3月13日まで 共通仮設費率の算定に用いる工期 令和7年10月13日から令和8年3月13日まで 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場施工期間 令和7年10月27日から令和8年2月28日まで ただし、仮設工事等は施設との協議による
6. 工事範囲	※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。		
工事種目			
2 仮設工事			
3 防水改修工事			
4 外壁改修工事			
-1 コンクリート打放し 仕上げ外壁			
-2 モルタル塗り仕上げ外壁			
-3 タイル張り仕上げ外壁			
-4 塗り仕上げ外壁			
-5 外壁用塗膜防水塗り			
5 建具改修工事			
6 内装改修工事			
7 塗装改修工事			
8 耐震改修工事			
9 環境配慮改修工事			
10 鉄筋工事			
11 コンクリート工事			
II 建築改修工事仕様			
(1) 質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）による。 なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。 (2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。 (3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。○印と※の場合は、○のみを適用する。 (4) 特記事項に記載の「（ ）」内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 (5) 特記事項に記載の「（ ）」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 (6) 製造所名は、五十音順として「株式会社」等の記載は省略する。また、「（ ）」内は製品名を示す。 (7) 本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（最新版）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。 なお、[印]は設計図面で定めのある品目を示す。 (8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。			

章	項 目	特 記 事 項															
1 一般共通事項	① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備監修 令和4年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。															
	② 条件明示事項	保険の種類 [1.1.3] ※法定外の労災保険（工事に従事する者（全ての下請員を含む）の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間															
	③ 工事实績情報の登録	※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録） ・行わない [1.1.4][1.1.8]															
	④ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（Vo= m/s） 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表（ ） ・大地震時の非構造部材の変形追随性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200 ・1/150 ・1/120 ・ 図示（ ） 確認箇所（ ）															
	5 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 [1.1.7] ・監督員指定の別契約工事を行う全体調整に全面的に協力する。															
	6 施工に注意を要する区域等	本工事場所では以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12、13] 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物															
	7 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1.2.4][1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（OD-R又はDVD-Rで1部提出） ・適用しない															
	⑧ 電気保安技術者	適用する [1.3.3][1.3.1]															
	9 施工条件	施工時間 [1.3.5] ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉所日数の割合が28.5%（28日/28日）以上であること。 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間指定期間（ ） ・公告に別に添付する「埼玉県営繕工事における「週休2日制モデル工事」特記仕様書」も参照のこと 施工時間以外の施工条件 ・図示による															
	⑩ 施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理職務者）とする。 [1.3.7]															
⑪ 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]																
⑫ 発生材の処理等	引渡しを要するもの [1.3.12][1.1.13] ・無し（全て構外搬出適正処理） ・有り（※図示 ・ ） 注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を添えて監督員に報告する。 b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。																
⑬ 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。																
⑭ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、衣類台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。																
⑮ 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に使い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのイテラシ」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。																
⑯ 石綿含有建材の調査	調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料（あり） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロンドライト、トモライト																
分析方法		<table><tr><th></th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr><tr><td>材料名</td><td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示		定性分析方法	定量分析方法	材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所
	定性分析方法	定量分析方法															
材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4															
・	・ 箇所	・ 箇所															
・	・ 箇所	・ 箇所															
・	・ 箇所	・ 箇所															

17 技能士		[1.6.2][1.3.3]	
工事種別	適 用 技 能 士		
仮設工事	・とび作業	・くわづゝム系塗膜防水工事作業 ・合板・ム系防水工事作業 ・FRP防水工事作業	
防水改修工事	・77		

5 建具 改修工事	① 改修工法	建具の種類 ○アルミ製建具 ・樹脂製建具 ○鋼製建具 ○鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ○木製建具 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 新規建具周囲の補修工法及び範囲 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。 適用箇所 ※建具表による 防火戸の防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・行う（※建具表による） ・行わない 建具見本の製作 建具見本作りの目的等：（ 特殊な建具の取組 ・行う（建具符号： 適用箇所（・建具表による） 性能値等 耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 気密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 水密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 外部に面する建具の種類 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ○B種 S-5 ・C種 S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 断熱ドア、断熱サッシ〔G〕 断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 着色 ○標準色 屋内の建具 種別 ・BC-1種 着色 ・標準色 結露水の処理方法 工法 水切り板、ざん板等 ※図示 [5. 1. 3] [5. 1. 4] [5. 1. 5] [5. 1. 7] [5. 2. 2~5] [表5. 2. 1、2] [5. 2. 3] [5. 3. 3]	10 ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（※建具表による） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 断熱ドア、断熱サッシ〔G〕 断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ） （適用する建具 ※建具表による） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a) による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板〔G〕 表面の樹種 ○70 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1 類 ・2 類） ○天然木化粧合板〔G〕 樹種名（杉・ ） 接着の程度（・1 類 ・2 類） ・特殊加工化粧合板〔G〕 化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度（・1 類 ・2 類） ・MDF〔G〕 表面板の厚さ ※〔表5.7.6〕による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ○かまち戸 かまちは樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ○建具表による ○ふすま 張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 縁仕上げ ・塗り縁 ○生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ○建具表による ・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ○紙張り障子（ﾌﾗｯｼｬｸ） 見込み寸法 ※30mm ○建具表による 枠及びくつずりの材料 ・建具表による 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※〔表5.8.1〕及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※〔表5.8.2〕による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※〔表5.8.3〕による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※〔表5.8.4〕による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※〔表5.8.5〕による ・建具表による 握り玉、レバー・ハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示 錠前類 シリンダ錠錠及びシリンダ錠組み錠 クローザ錠 マスターキー ・製作する（・新規 ・既存マスター合わせ） ○製作しない その他の錠 ※各室3本1組（盗名札付き） ・有 錠箱 ・無 戸の開閉方式 ○建具表による ○引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・種類・開閉方式（ ） ・耐電圧（ ） ・温度上昇（ ） ・耐久性（サイクル）（ ） ・防錆（ ） ・電源（ ） ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・耐電圧（ ） ・温度上昇（ ） ・耐久性（サイクル）（ ） ・防錆（ ） ・電源（ ） ○引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆 ・適用する ・適用しない） ・耐電圧（ ） ・防錆（ ） ・防滴（ ） ・電源（ ） 引き戸用検出装置の種類及び必要性性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない 性能 ※〔表5.10.1〕による シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・建具表による） 電動式シャッターの障害物感知装置 （設置箇所 ・建具表による） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 （設置箇所 ・建具表による） [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5] [5. 7. 2~4] [5. 8. 1~3] [5. 8. 4] [5. 9. 2、3] [5. 10. 3] [5. 11. 2、3]	17 軽量シャッター	開閉形式の種類 ・電動式（手動併用） ・手動式 耐風圧強度（ ）Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による） スラットの材質の種類 ・JIS G 3302（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※Z12又はF12 ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量（※AZ90） スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバerrラッピング形 [5. 12. 2~4]	18 オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質 ※スチールタイプ ・125 ・アルミニウムタイプ ・100 ・ファイバーグラストタイプ ・75 ・50 ※バランス式 ・スタンダード形 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・電動式 ・ハイリフト形 ・バーチカル形 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による） 適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板ガラス 網又は線の状態、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ○Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1 種 ・2 種 ○複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ○T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・窒気 ○アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合） ・A種 ・B種 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ・図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能 ・160×160 ・95 ・200×200 ・95 壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 ※施工箇所は建具表による	19 ガラス	適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板ガラス 網又は線の状態、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ○Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1 種 ・2 種 ○複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ○T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・窒気 ○アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合） ・A種 ・B種 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ・図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能 ・160×160 ・95 ・200×200 ・95 壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 ※施工箇所は建具表による	6 内部 改修工事	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ [6. 5. 2]	① 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より底側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6. 1. 3]	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※〔4.3.10〕によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示） ・図示 [6. 3. 2]	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による ・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]	5 製材〔G〕	施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・
-----------------	--------	---	-------------	--	------------	--	--------------	--	--------	---	-----------------	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	--	--------	---	----------------	--	----------------	--	--------	---	---------	---

⑧ 合板等	・「合板の日本農林規格」による普通用合板 [G] [6. 5. 2]						
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	棚板	※5. 5 ○12		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]								
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]						
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用	
			・特類・1類	・適用する ・適用しない	・	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]						
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用		
				・1類・2類	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]						
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用	
		・1類・2類			・適用する ・適用しない	

・パーティクルボード [G]						
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	
		※13タイプ	※P又はM		※15	

・JAS Q360 に基づく構造用パネル						
施工箇所	寸法 (mm)					
		</				

35

階段滑り止め

材種

・ステンレス製

・黄銅製押出型材

・アルミニウム製押出型材

形状

※タイヤ型（タイヤの材質：フッ素樹脂）

・タイヤレス型

端部の形状

・フラットエンド

・あり

・なし

寸法(幅)

・35mm程度

・40mm程度

・50mm程度

取付け工法

※接合工法

・埋め込み工法

(20. 2. 7)

36

黒板及びホワイトボード^[6]

・黒板

区分

※焼き付け

種類

・ほうろう

・鋼製

色

・※緑

・ホワイトボード（）

(20. 2. 9)

37

表示

衝突防止表示

・設置場所 ※図示による

形状・寸法（・30φ

材質（・ステンレス製・塩ビシート）

・設置しない

誘導標識、非常用出入口等の表示

※消防法に適合する市販品

形状名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS 2 8210による)

※図示による

(20. 2. 11)

38

タラップ

材質及び仕上げ

・SUS304（スリップ止め加工 ※あり

・なし）

・鋼製 表面処理 滑溜亜鉛めっき

（※標準仕様書表 14. 2. 2による種別（※C種

・

種）

(20. 2. 12)

39

ブラインド

形式

操作

方法

操作

方法の種類

スラットの材種

スラット幅(mm)

ボックス・レールの材種

幅・高さ

取付箇所

・横形

・手動

※ギヤ式

・コード式

・操作棒式

※アルミニウム合金製^[6]

※25

・

※鋼製

・

・図示

・

・電動

—

—

—

—

—

—

—

—

・縦形

・手動

※2本棒コード式

・1本棒棒コード式

※7&12スラット

・80

※7&12スラット

・100

※7&12スラット

・

※図示

・

・電動

—

—

—

—

—

—

—

—

(20. 2. 14)

40

ロールスクリーン

縦型ブラインドのスラットの材質

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ

クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合^[6]とする

操作

方法

幅・高さ

取付箇所

材種

品質等

その他の材料

・スプリング式

・コード式

・電動式

・図示

・

・ガラス繊維製

・合成・天然繊維製

・図示

・

※ロールスクリーンの製造所の仕様による

スクリーンの仕様

消防法で定める防炎性能の表示があるもの

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は^[6]とする

(20. 2. 15)

41

カーテン

形式

開閉操作

ひだの種類

生地の種類、品質、特殊加工等

取付け箇所

備考

・シングル

・片引き

・手引き

・つまみひだ

・図示

・

・ダブル

・引分け

・ひも引き

・箱ひだ

・片ひだ

・図示

・

・

・

・

・

・

・

(20. 2. 16)

42

カーテンレール

材料による区分

※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材

・ステンレス製

強さによる区分

※10・90

※アルマイト

仕上げ

※角形

・

形状

・

(20. 2. 16)

43

ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ(mm)

・90×150

・120×80

・120×150

・150×80

・図示

材種

・集成材（仕上げ：）

・アルミニウム製 押出し型材（市販品）

種類（標準仕様書表14. 2. 1）

・BC-1種

・BC-2種

色合い

・標準色（

・特注色（

・鋼製（仕上げ：）

44

天井点検口

材種	寸法	形式	外枠	内枠
※アルミニウム製	○450×450 ・600×600	○一般形	・屋内外用	○隠蔽タイプ
			・屋内用	・目地タイプ
		・気密形		

45

床点検口

材種	寸法	形式	備考
・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・鍵付き
・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用
・鋼製			

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

46

くつつきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス製(SUS304)	
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金	
・ステンレス鋼(SUS304)製		

47

流し台ユニット

材種	寸法(mm)			備考
	W	D	H	
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式

品質・性能

外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材料」の4. 1による。

構成材料は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。

形状

※図示

48

鋼製書架及び品物棚

種 類	規 格 等	JIS による種別
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種
・鋼製品物棚		・2種
		・3種
		・4種
		・5種
		・6種

49

屋内掲示板

枠の材質

※アルミニウム製

表面の材質

※塩ビ発泡シート張り

・

50

洗面カウンター

材種

・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）

・人工大理石

実行径(mm)

・約450

・約600

51

防煙垂れ壁

・固定式

材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考
※網入り腐板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き
・網入り腐板ガラス	・	・	・

・可動式

種 類	材 質	高さ(mm)	備 考
・垂直降下式（巻取り型）	※不能布（不燃認定品）	※500・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構

煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

52

収納家具

材質、形状、寸法

※図示

・

材料のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・

7

塗装改修工事

① 材料

② 下地調整

③ 素地ごしらえ

④ 錆止め塗料塗り

⑤ 塗装^[6]

8

耐震改修工事

・高日射反射塗料塗り^[6]
下地調整 [7. 2. 2] ・RA種 ※RB種 ・RC種

工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量(kg/m ²)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	1種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用

・適用しない

・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)

ウレタン樹脂フニス塗り工程1の着色の適用

・適用する

・適用しない

オイルステン塗り工程等

・製造所の仕様による

9

環境配慮改修工事

1

石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 1]

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (処理作業室ごと)
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定1	処理作業前	処理作業室内	・各2又は3点 ・（ ）点
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点 ・（ ）点
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定3	処理作業室内	処理作業室内	・各2点 ・（ ）点
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定4	仕上り・出入口	仕上り・出入口	・各1点 ・（ ）点
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定5	処理作業中	風じん・排気装置の設置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・各1点 ・（ ）点
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・（ ）点
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定7	処理作業後(隔離ケツ撤去前)	処理作業室内	・各2点(い ^い ば ^い ば3は各1点) ・（ ）点
※ い ば い ば 2 い ば 3	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・ い ば い ば 2 い ば 3	測定9	処理作業後(9ヶ時間)	処理作業室内	・（ ）点
・ い ば い ば 2 い ば 3	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	施工区画周辺又は敷地境界	・（ ）点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法

・自動測定器による測定

測定4. 5 ※バティック、粉じん相対湿度計（デジタル粉じん計）、繊維状粒子自動計測器（リタリタリ）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

JIS K 3850-1に基づいた測定

	測定4. 5	測定	測定
ノズル径の直径(mm)	25	47	47
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10
試料の吸引時間(min)	30	120	240

2

石綿含有吹付け材の除去（レベル1）

除去対象範囲

・図示

・

除去工法

※[9. 1. 3] (2) (7)による

・

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※密封処理

※湿潤化

・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

3

石綿含有保温材等の除去（レベル2）

除去工法

※[9. 1. 4] (2)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）

・

除去対象範囲

・図示

・

[9. 1. 3] (2)による（損傷、劣化等で石綿粉塵を飛散するおそれがある場合）

・

除去対象範囲

・図示

・

除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置

※密封処理

※湿潤化

・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

4

石綿含有成形板の除去（レベル3）

除去対象範囲

・図示

・

石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生（負担不要）方法

・ビニールシート等による養生を行う

・

除去した石綿含有成形板の処分

・石綿含有せつこうボード

※埋立処分（管理型最終処分場）

・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板

・埋立処分（安定型最終処分場）

・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

・埋立処分（安定型最終処分場）

・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

5

石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル3）

除去対象範囲

・図示

・

着工前の試験施工

・行う

・行わない

除去工法

・

・

除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止措置

※密封処理

※湿潤化

・固形化

除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分

・埋立処分（安定型最終処分場）

・埋立処分（管理型最終処分場）

・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

6

PCB含有シーリング材処分

種 類

採取する部位・箇所数

備 考

・PCB含有シーリング

部 位

・図示

・

分析調査（第一次判定）

箇所数

・箇所

・

・PCB含有シーリング

部 位

・図示

・

分析調査（第二次判定）

箇所数

・箇所

・

詳細は監督員との協議による

7

外断熱改修工事^[6]

断熱材

種類（）厚さ（mm）施工箇所（・図示 ・）

ホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・

外装材

鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。

鉄骨 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支木による。

既存外壁の処置

既存外壁仕上げ材の撤去

・行う

・行わない

下地の清掃

・行う

・行わない

外装部の改修工法

改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による

・

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1. 15 ・1. 3）倍の風圧力に対応した工法

不陸等の下地調整

断熱材の施工

・断熱材の製造所の仕様による

・

外装材の施工

・外装材製造所の仕様による

・

通気層の有無

・あり

（mm）

・なし

外装材の外壁への取付け

・図示

・

支木の施工

・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支木による

8

断熱・防露改修工事^[6]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9. 3. 2~4]

※F☆☆☆☆

・

断熱材の仕様

※A種I

・A種IH

施工箇所

・図示

・

断熱材後張り工法

断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材

種類

厚さ(mm)

・

断熱材の仕様

・

・

断熱材の張り付け工法

・

・

断熱材へのボードの張付け工法

・

・

9

屋上緑化改修工事^[6]

植栽盛土及び材料

屋上緑化軽量システム

・適用する

・適用しない

芝及び地被類の樹種並びに種類等

※図示

・

見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等

※図示

・

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1. 15 ・1. 3）倍の風圧力に対応した工法

かん水装置

・設置する（種類）

既存保水層の撤去

・行う

・行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間

※引き渡しの日から1年

・

10

透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：駐車場 [9. 5. 2~5、9]

既存舗装の撤去及び再利用

※図示

・

路床の材料

種 別	材 料	厚さ(mm)
・盛土	A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示
	・建設汚泥から再生した処理土 ^[6]	・
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ^[6] ・クラッシュラン	・図示
	・切込み砂利	・
	・砂（改修標準仕様書表9. 5. 1による）	・

○フィルター層

・改修標準仕様書9. 5. 3 (2) (イ)による

・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）

・行う

・行わない

・路床安定処理

・適用する

・適用しない

安定処理の方法

・置き換え工法（

・安定処理工法

路床安定処理用添加材料

種類

・普通ポルトランドセメント

・高炉セメントB種^[6]

・フライアッシュセメントB種

・生石灰（・特号 ・1号）

・消石灰（・特号 ・1号）

添加量

（ ）kg/m³（目標CBR

※3以上

・

目標CBRを満足する添加量の確認方法

・安定処理土のCBR試験

・

・ジオテキスタイル

単位面積質量

・60g/m²以上

・

厚さ(mm)

・0. 5~1. 0

・

引張強度

・98N/5cm (10kgf/5cm)

以上

・

透水係数

・1. 5×10⁻⁴ cm/sec以上

・

試験

路床土の支持力比（CBR）試験

・行う

・行わない

現場CBR試験

・行う

・行わない

路床締め固めの試験

・行う

・行わない

六価クロム溶出試験

・行う

・行わない

路盤

路盤の構成及び厚さ

・図示

・

路盤材料（改修標準仕様書表9. 7. 3による種別）

・クラッシュラン

・粒度調整砕石

・再生クラッシュラン^[6]

・再生粒度調整砕石^[6]

・クラッシュラ 改修スラグ^[6]

・粒度調整鉄鋼スラグ^[6]

・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ^[6]

舗装の構成

・図示

・

舗装の平坦性

※著しく不陸がないもの

・

開張アスファルト混合物等の抽出試験

・行う

・行わない

11

舗装版切断時に発生する濁水の処理（舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書）

濁水の処理

1）受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

種別及び処理量

・図示による

・

処理方法

・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）

・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む）

2）受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。

共通事項

1）受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2）受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3）受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4）受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「 manifests ト」という。）により管理するものとする。

提出書類等

1）受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付するものとする。

2）受注者は、工事完成後速やかに manifests の写しを監督員に提出しなければならないものとする。

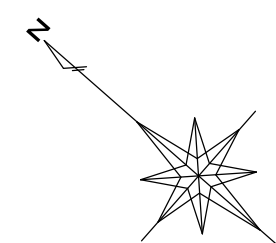
その他

1）濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2）受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

3）疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

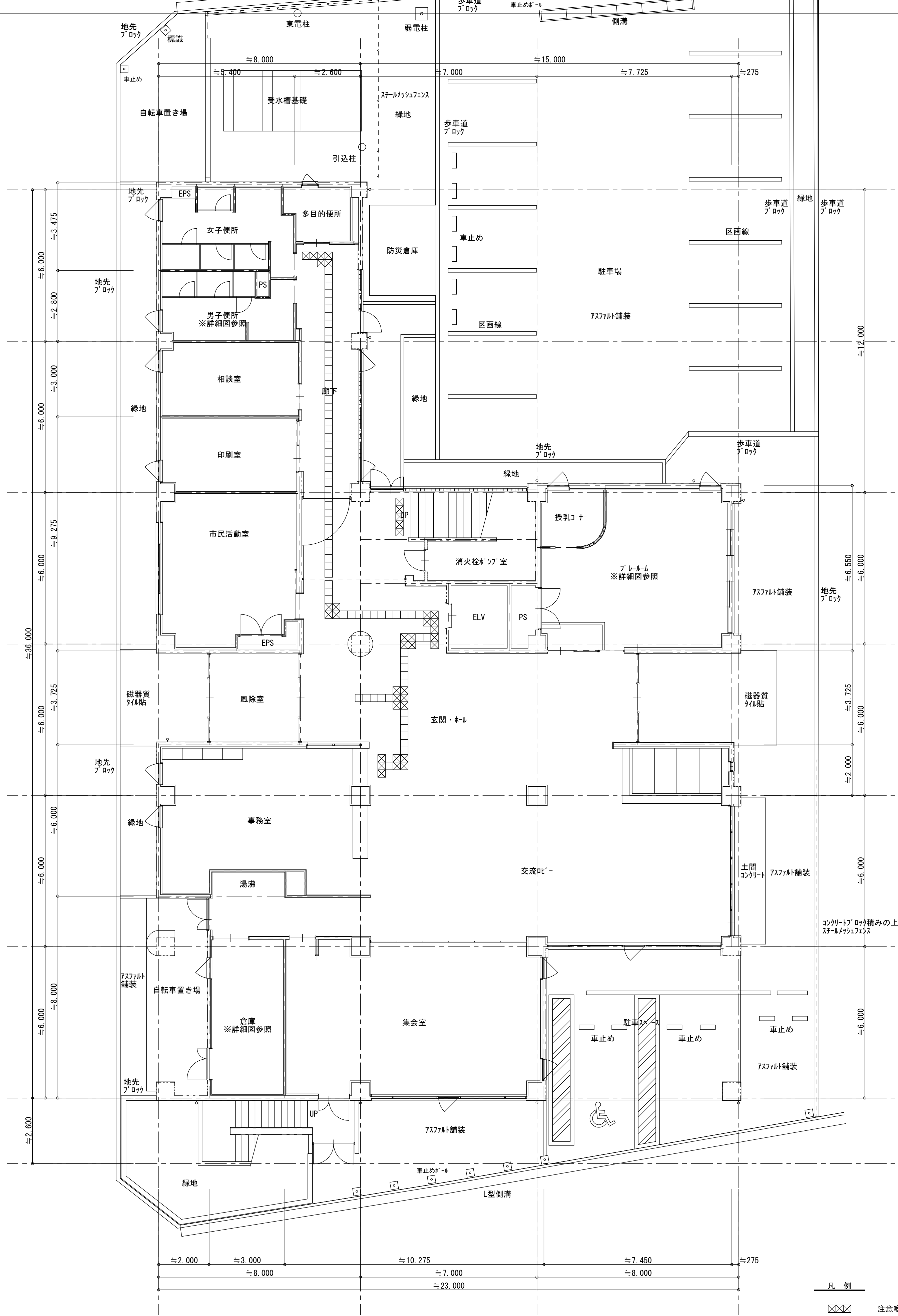
摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認担当製園工事名称			市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号	
		変更年月日		N. S	T. S	T. S	図面名称		縮尺	A-5
							改修工事特記仕様書（５）			

[illegible]

配置図 S=1/200

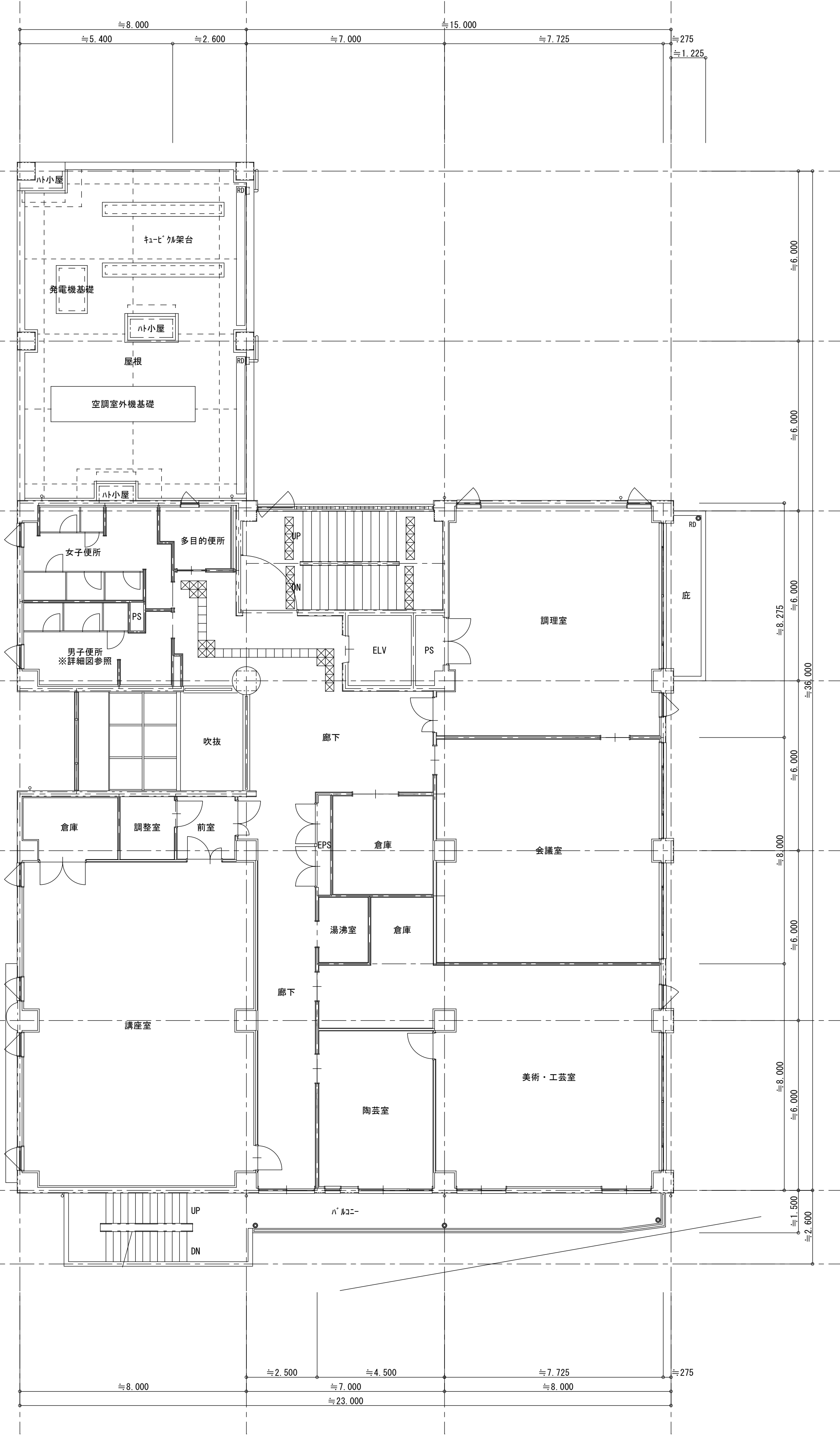
外 部 仕 上 表（上段：既存 下段：改修）																	
外 壁		2階屋根		3階屋根		3階庭園		屋 上		屋 根		庇・ハト小屋屋根・機器基礎		建 具		備 考	
コンクリート打放し保護材吹付 コンクリート打放し珪藻土塗りt=5 巾木：コンクリート打放し保護材吹付 軒天：コンクリート打放し保護材吹付 打継目地：コーキング撤去 化粧目地：コーキング撤去		アスファルト防水断熱工法 押えコンクリートt=80 立上り：アスファルト防水撤去 伸縮目地：エラストイト撤去 ルーフドレン模型φ75撤去		アスファルト防水断熱工法 押えコンクリートt=80 化粧砂利撤去 立上り：アスファルト防水撤去 伸縮目地：エラストイト撤去 ルーフドレン整型φ75撤去		アスファルト防水断熱工法 緑化用保護シート撤去 植栽5本・植栽土撤去 縁石37本撤去 立上り：アスファルト防水撤去 ルーフドレン模型φ75撤去 飛び石φ400 2個・φ300 13個 再利用		アスファルト防水断熱工法 押えコンクリートt=80 立上り：アスファルト防水撤去 伸縮目地：エラストイト撤去 ルーフドレン模型φ75撤去		カラーアルミt=0.5嵌合式縦葺き（一部） カラーアルミt=0.5嵌合式横葺き ケラバ水切り：カラーアルミ 軒先水切り：カラーアルミ		コンクリート金鏝 ウレタン塗膜防水 ルーフドレン整型φ75		ステンレス製建具 カラーアルミ製建具 スチール製建具 建具目地：コーキング撤去		縦樋：硬質ポリ塩化ビニル管φ75 撤去	
保護材吹付部分 高圧洗浄下地処理後フッ素樹脂系保護材ローラー仕上 巾木：高圧洗浄下地処理後フッ素樹脂系保護材ローラー仕上 軒天：高圧洗浄下地処理後フッ素樹脂系保護材ローラー仕上 参考：エスケー化研 セラミRQ-FR工法 珪藻土塗り部分 高圧洗浄下地処理後リフォーム用着色コートローラー仕上 参考：四国化成建材 エコ美ウォールHG耐水タイプ 打継目地：ポリサルファイド系コーキング 化粧目地：ポリサルファイド系コーキング		高圧洗浄 樹脂モルタル薄塗（平場） 水性アクリル系仮防水塗布（立上り） 高粘性ウレタン塗膜防水 保護塗料：シリコン性高耐久高反射塗料 立上り：同上 伸縮目地：アルミ製目地キャップ 改修用ドレイン模型φ75		高圧洗浄 樹脂モルタル薄塗（平場） 水性アクリル系仮防水塗布（立上り） 高耐久アスファルト防水 常温塗膜複合防水 保護塗料：高耐久高反射塗料 立上り：同上 伸縮目地：アルミ製目地キャップ 改修用ドレイン整型φ75		高圧洗浄 樹脂モルタル薄塗（平場） 水性アクリル系仮防水塗布（立上り） 高耐久アスファルト防水 常温塗膜複合防水 保護塗料：高耐久高反射塗料 立上り：同上 伸縮目地：アルミ製目地キャップ 改修用ドレイン模型φ75 飛び石敷並べ φ400 2個・φ300 13個 化粧砂利敷		高圧洗浄 樹脂モルタル薄塗（平場） 水性アクリル系仮防水塗布（立上り） 高耐久アスファルト防水 常温塗膜複合防水 保護塗料：高耐久高反射塗料 立上り：同上 伸縮目地：アルミ製目地キャップ 改修用ドレイン模型φ75		高圧洗浄 下地調整の上錆止め塗装 2液形ポリウレタントタンペイント塗 ケラバ水切り：同上 軒先水切り：同上		高圧洗浄 仲介ブラーマー塗布 高粘性ウレタン塗膜防水 保護塗料：シリコン性高耐久高反射塗料 ルーフドレン整型φ75（既存）		建具調整 一部部品交換 網戸新設 サッシクリーニング ガラスクリーニング 建具目地：変成シリコン系コーキング		縦樋：硬質ポリ塩化ビニル管φ75	

内 部 仕 上 表（上段：既存 下段：改修）																							
階	室 名	床		巾 木		壁		天 井		天井高	廻り縁	その他塗装	備 考										
1	玄関ホール	長尺塩ビシート t=2.8一部撤去				コンクリート打放し保護材吹付、一部珪藻土塗り		岩綿吸音板t=9貼		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製											
	廊 下	長尺塩ビシート t=2.8一部撤去		塩ビ製 H≒100		コンクリート打放し EP、石膏ボード二重貼 EP		化粧石膏ボード t=9.5貼		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製	誘導用及び注意喚起床材撤去										
													誘導用及び注意喚起床材貼										
	ブレールーム	銘木フローリング t=15撤去		腰：木製 H≒860 OSCL		ビニールクロス撤去		化粧石膏ボード t=9.5貼		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製											
		銘木フローリング t=15貼 塗装品 床暖房用				ビニールクロス貼							既存掲示板取外し再取り付け										
	市民活動室	長尺塩ビシート t=2.8貼		腰：木製 H≒100 OSCL		ビニールクロス貼		化粧石膏ボード t=9.5一部撤去		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製一部撤去											
								化粧石膏ボード t=9.5一部貼替え				塩ビ製											
	印 刷 室	長尺塩ビシート t=2.8貼		腰：木製 H≒100 OSCL		ビニールクロス貼		化粧石膏ボード t=9.5一部撤去		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製一部撤去											
								化粧石膏ボード t=9.5一部貼替え				塩ビ製											
	倉 庫	長尺塩ビシート t=2.0貼		塩ビ製 H≒100		モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5一部撤去		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製一部撤去	木製棚撤去										
								化粧石膏ボード t=9.5一部貼替え				塩ビ製	木製棚										
	男子便所	長尺塩ビシート t=2.5撤去		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
		乾式トイレ用長尺塩ビシート t=2.0貼						ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え					トイレブース取外し再取り付け										
	女子便所	長尺塩ビシート t=2.5貼		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
								ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え															
多目的便所	長尺塩ビシート t=2.5貼		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製												
							ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え																
2	廊 下	長尺塩ビシートt=2.8一部撤去		木製 H≒100 OSCL		コンクリート打放し珪藻土塗り、石膏ボード二重貼 EP		化粧石膏ボード t=9.5一部撤去		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製	注意喚起床材撤去										
								化粧石膏ボード t=9.5一部貼替え					誘導用及び注意喚起床材貼、天井点検口増設										
	男子便所	長尺塩ビシート t=2.5撤去		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
		乾式トイレ用長尺塩ビシート t=2.0貼						ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え					トイレブース取外し再取り付け										
	女子便所	長尺塩ビシート t=2.5貼		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
								ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え															
	多目的便所	長尺塩ビシート t=2.5貼		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
								ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え															
3	廊 下	長尺塩ビシートt=2.8一部撤去		木製 H≒100 OSCL		コンクリート打放し珪藻土塗り、石膏ボード二重貼 EP		化粧石膏ボード t=9.5一部撤去		鋼製天井下地	≒2.700	塩ビ製	注意喚起床材撤去										
								化粧石膏ボード t=9.5一部貼替え					誘導用及び注意喚起床材貼、天井点検口増設										
	男子便所	長尺塩ビシート t=2.5撤去		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
		乾式トイレ用長尺塩ビシート t=2.0貼						ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え					トイレブース取外し再取り付け										
	女子便所	長尺塩ビシート t=2.5貼		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
								ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え															
	多目的便所	長尺塩ビシート t=2.5貼		塩ビ製 H≒100		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6貼		ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部撤去		鋼製天井下地	≒2.500	塩ビ製											
								ケイ酸カルシウム板 t=6目透し貼 EP一部貼替え															
摘 要																							
						 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆		設計年月日		2025/03/14		承認		担当		製図		工 事 名 称		市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号	
								変更年月日		N.S		T.S		T.S		図 面 名 称		仕 上 表		縮尺		A-10	



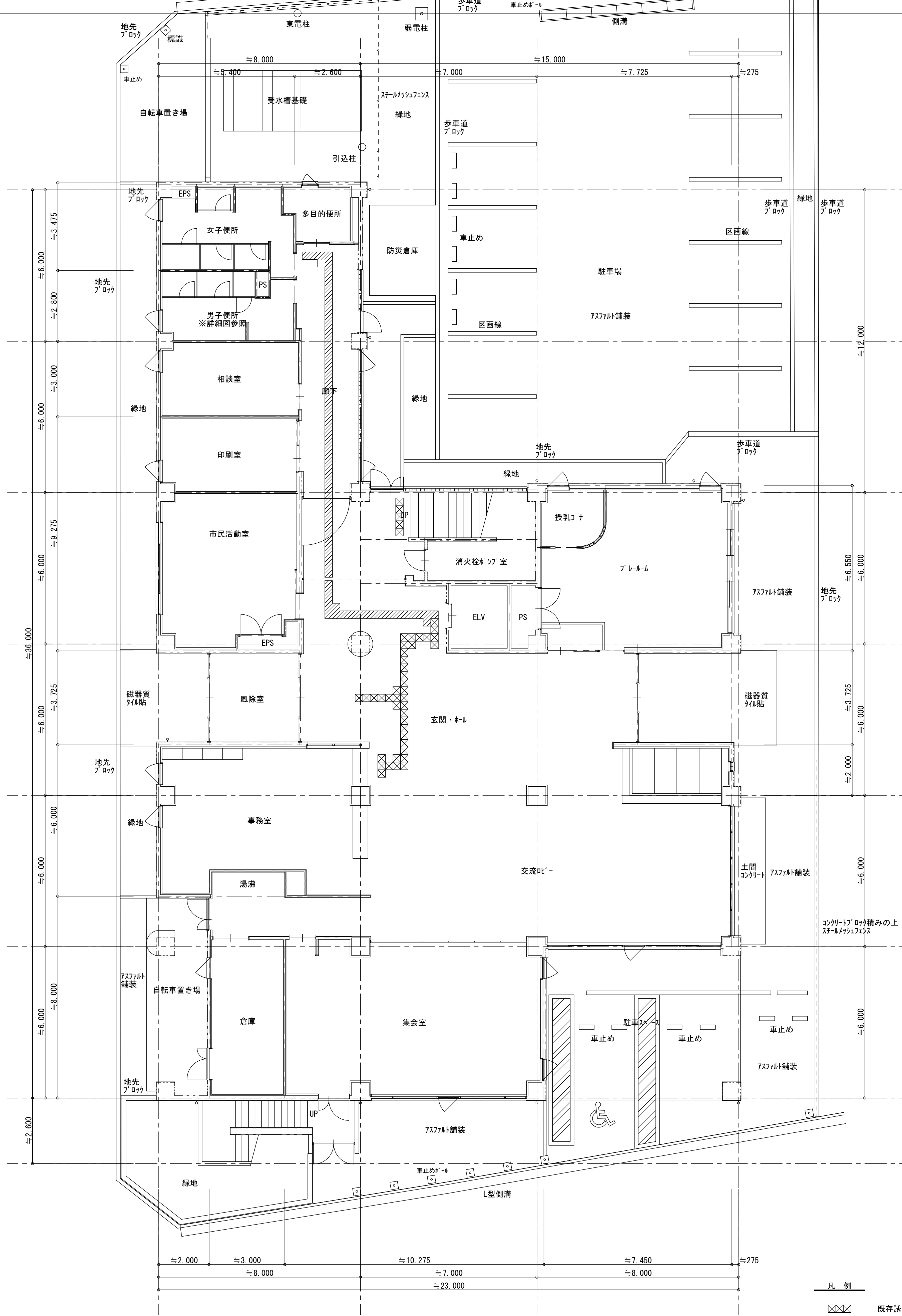
1 階平面図 S=1/100

- 凡 例
- 注意喚起用床材貼（塩化ビニル製）
 - 既存誘導用床材貼（塩化ビニル製）



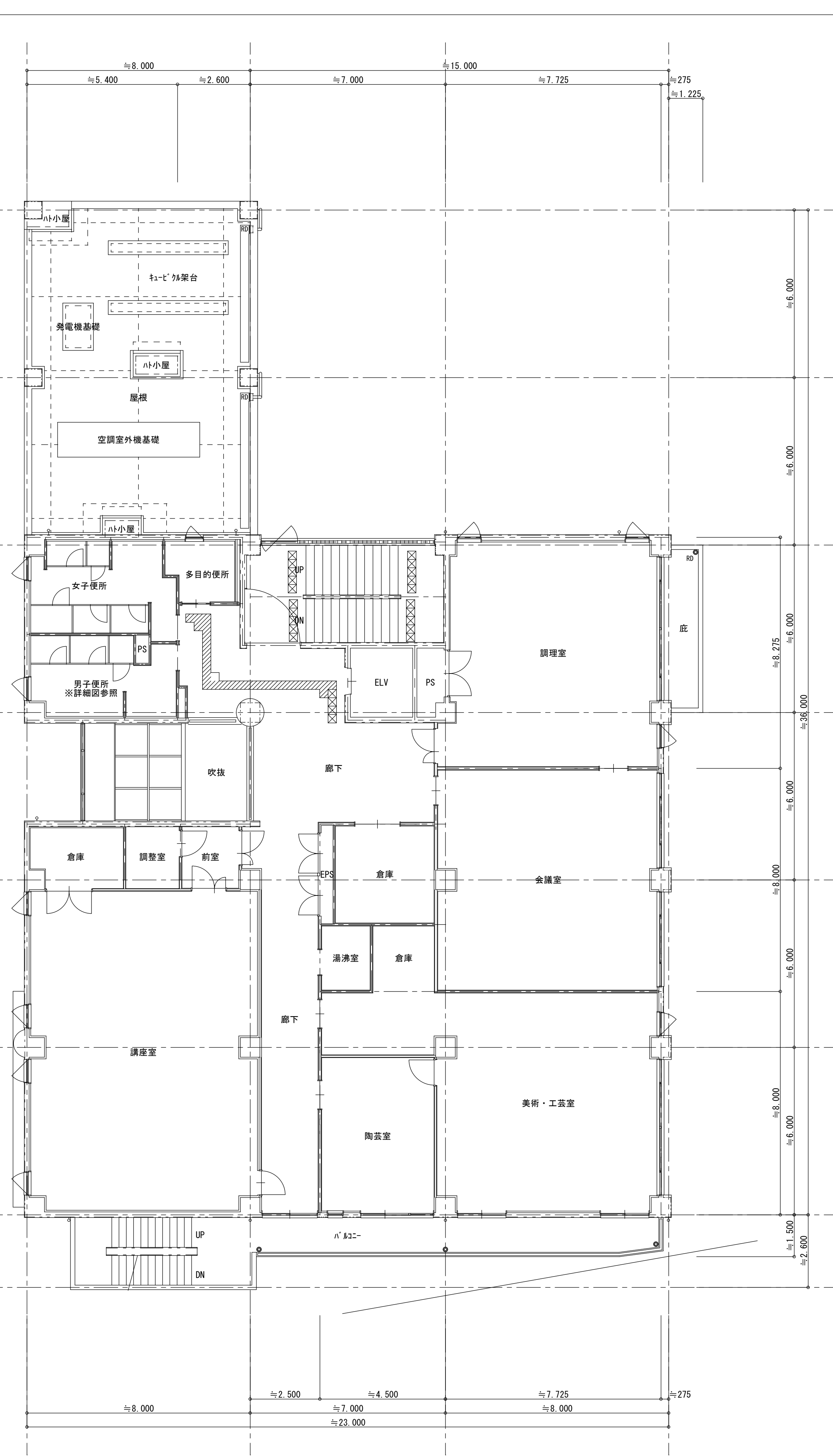
2 階平面図 S=1/100

摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所	設計年月日 2025/03/14	承認 N.S.	担当 T.S.	製図 T.S.	工 事 名 称 市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事	図面番号 A-11
		変更年月日				図 面 名 称 1・2 階 平 面 図（改修）	縮尺 S=1/100

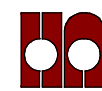


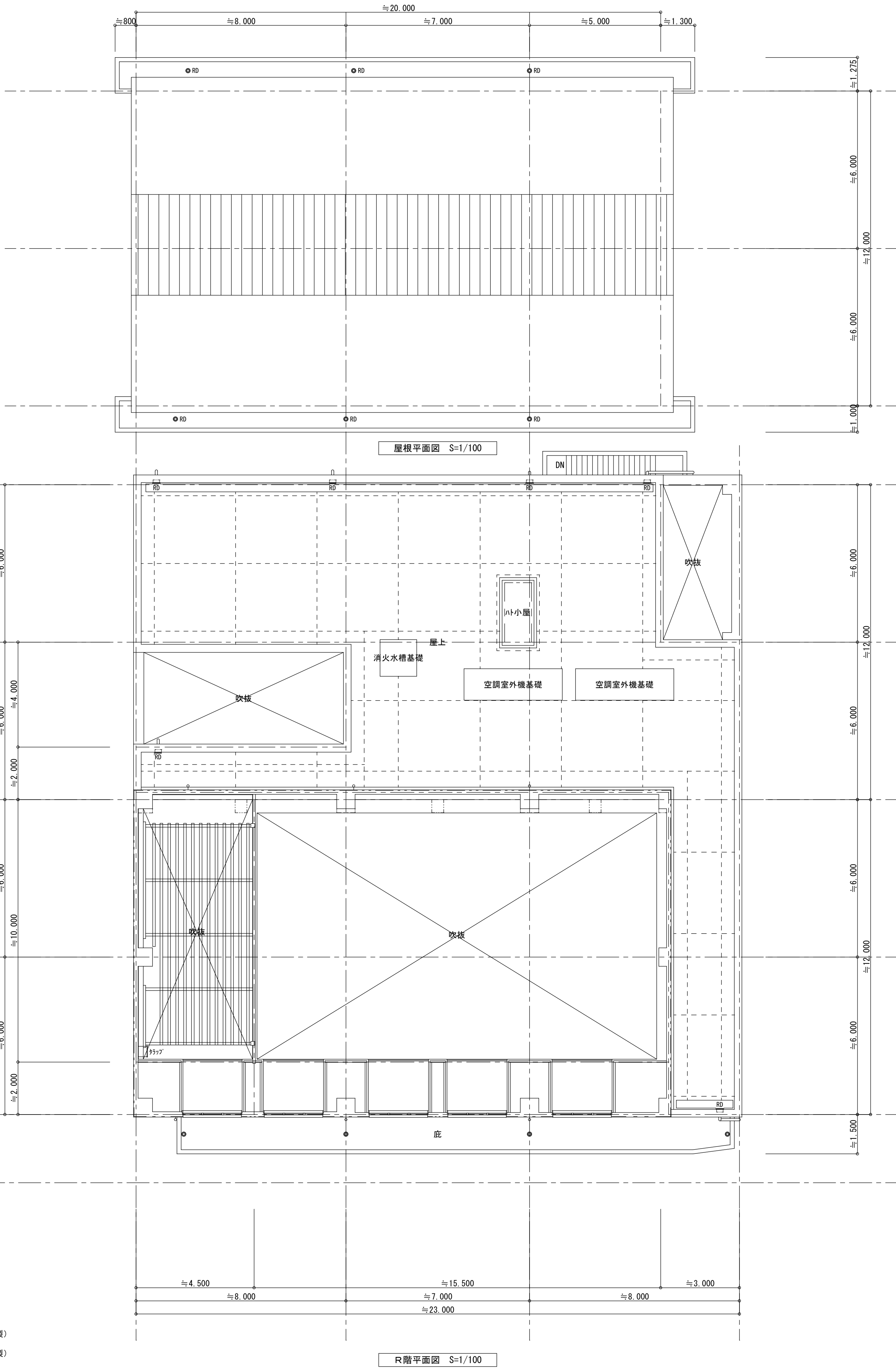
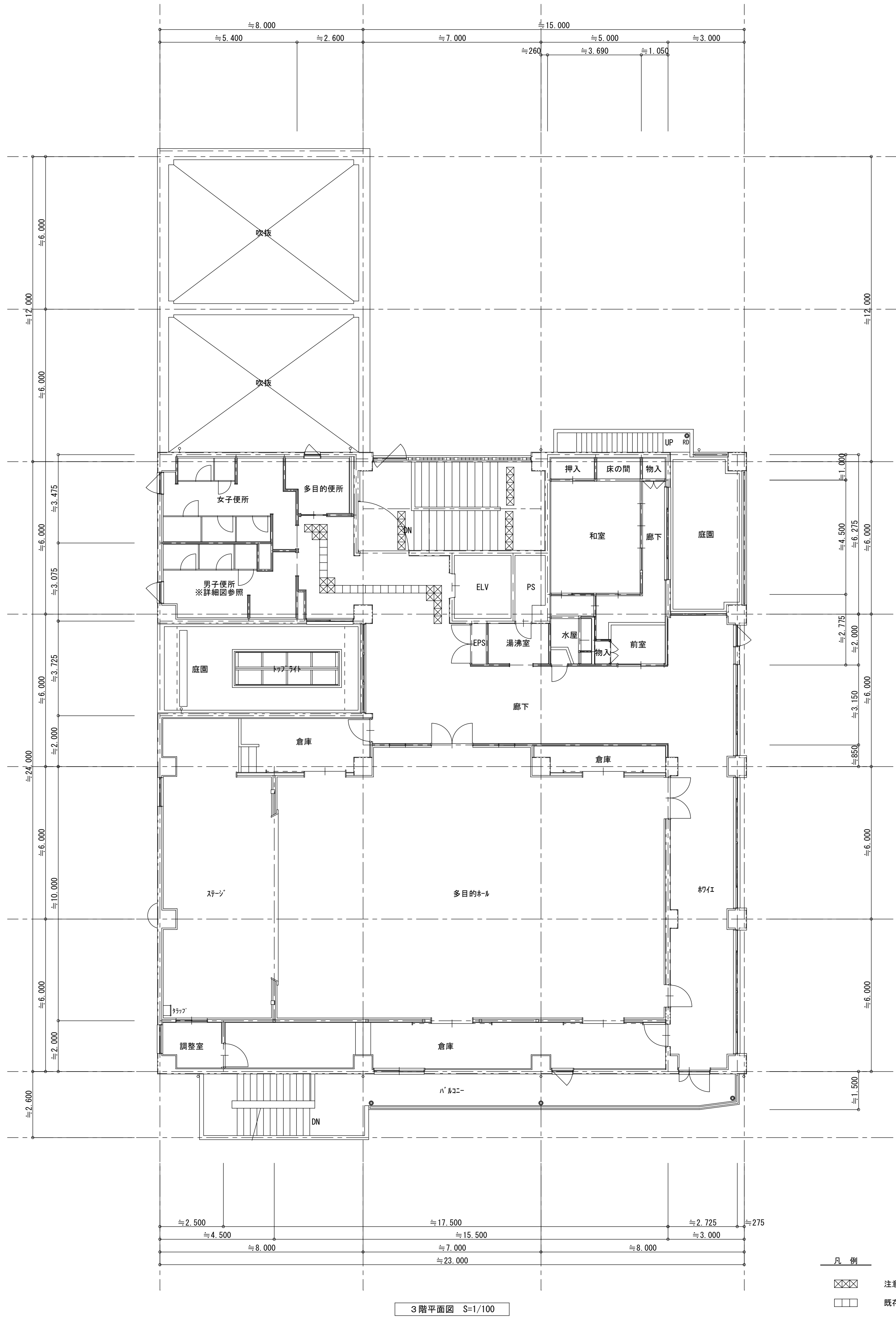
1 階平面図 S=1/100

- 凡 例
- 既存誘導用及び注意喚起用床材撤去（塩化ビニル製）
 - 既存長尺塩ビシート撤去

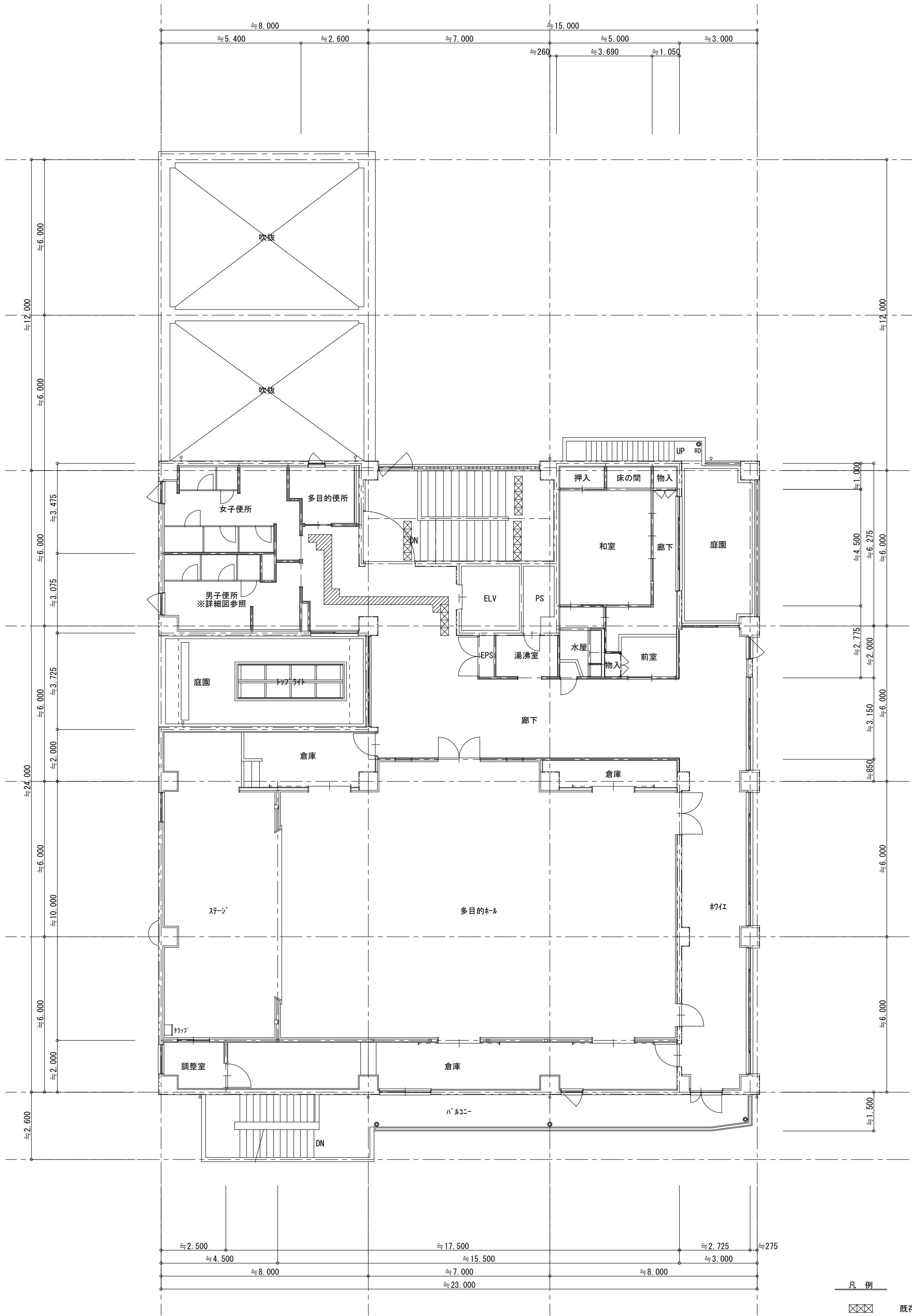


2 階平面図 S=1/100

摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所	設計年月日 2025/03/14	承認 N.S.	担当 T.S.	製図 T.S.	工 事 名 称 市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事	図面番号 A-12
		変更年月日				図 面 名 称 1・2 階 平 面 図（既存）	縮尺 S=1/100

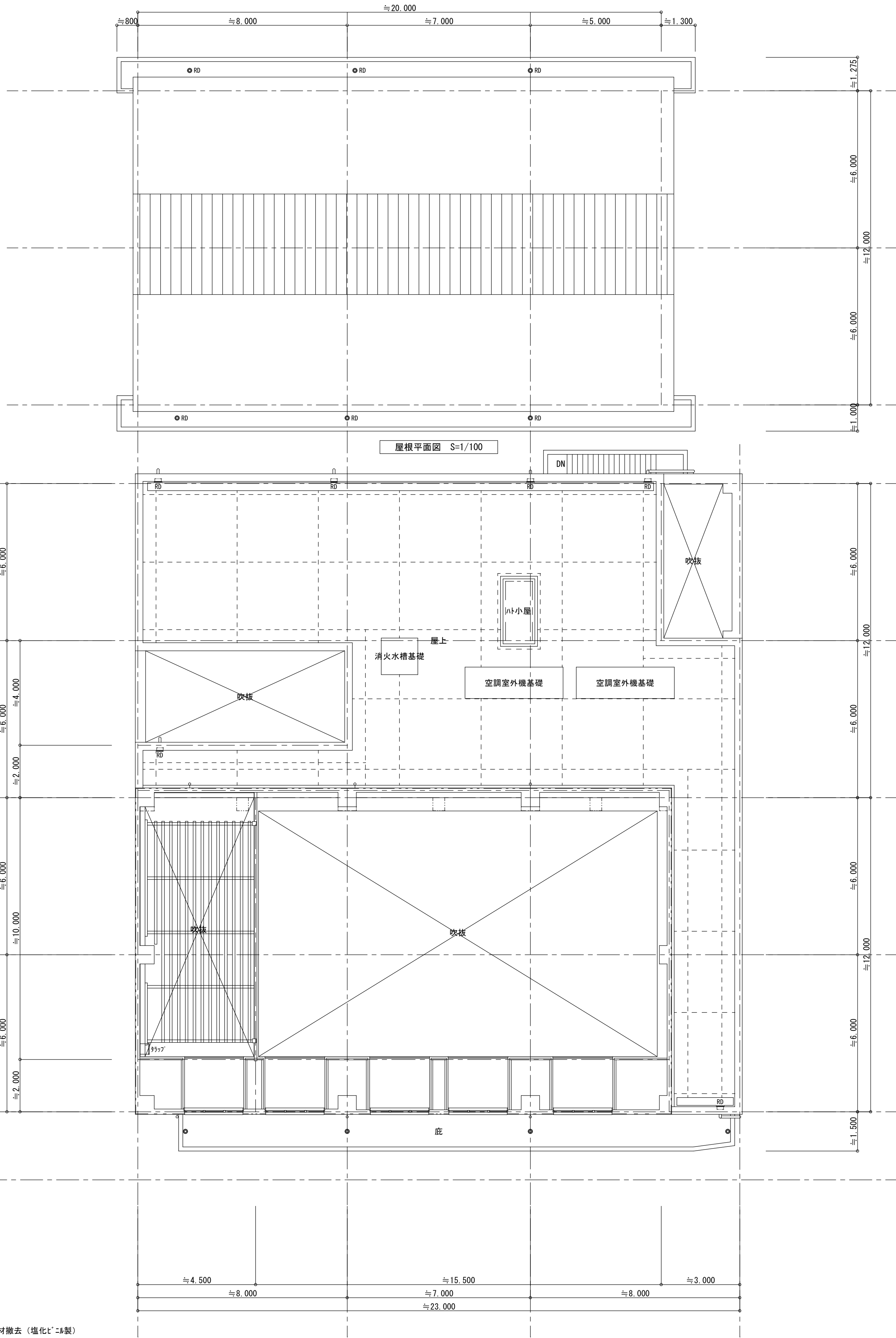


- 凡 例
- 注意喚起用床材貼 (塩化ビニル製)
 - 既存誘導用床材貼 (塩化ビニル製)



3階平面図 S=1/100

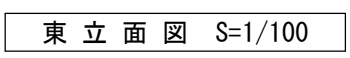
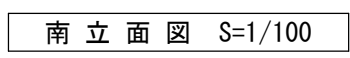
- 凡例
- 既存誘導用及び注意喚起用床材撤去（塩化ビニル製）
 - 既存長尺塩ビシート撤去



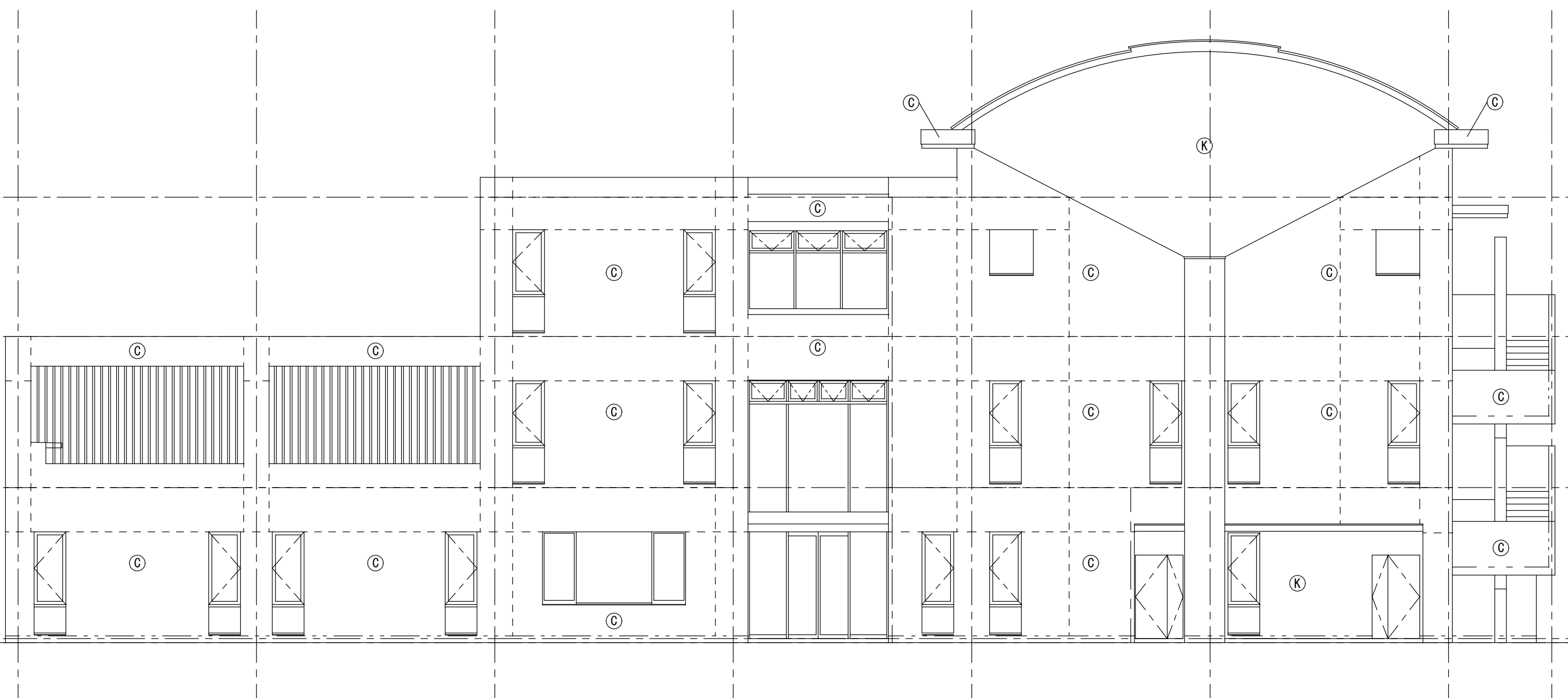
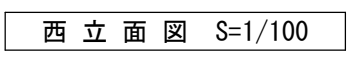
屋根平面図 S=1/100

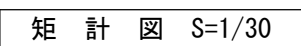
R階平面図 S=1/100

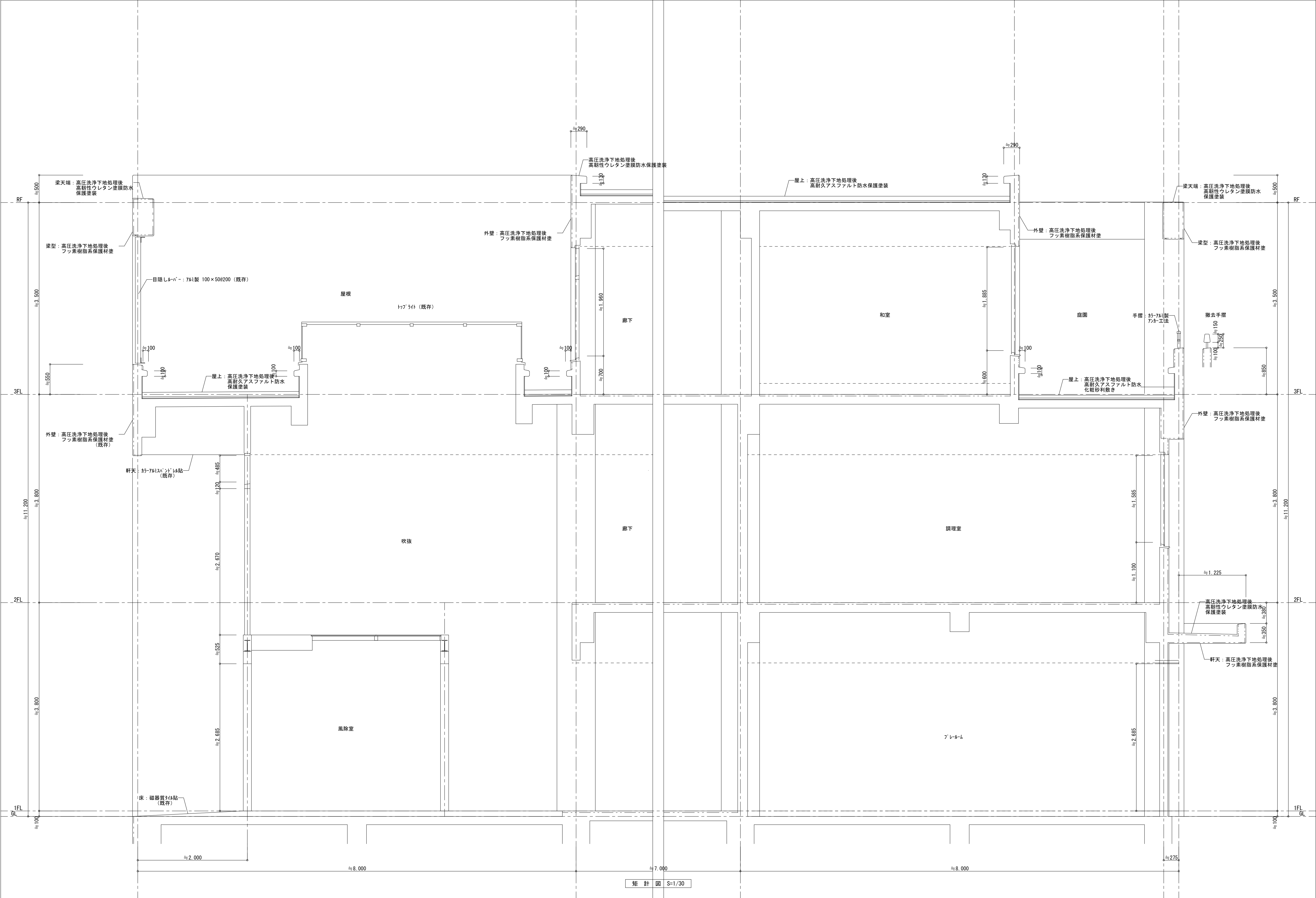
摘要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆				設計年月日 2025/03/14	承認担当製図 N.S. T.S. T.S.	工事名称 市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号 A-14
							図面名称 3・R階平面図（既存）	縮尺 S=1/100	



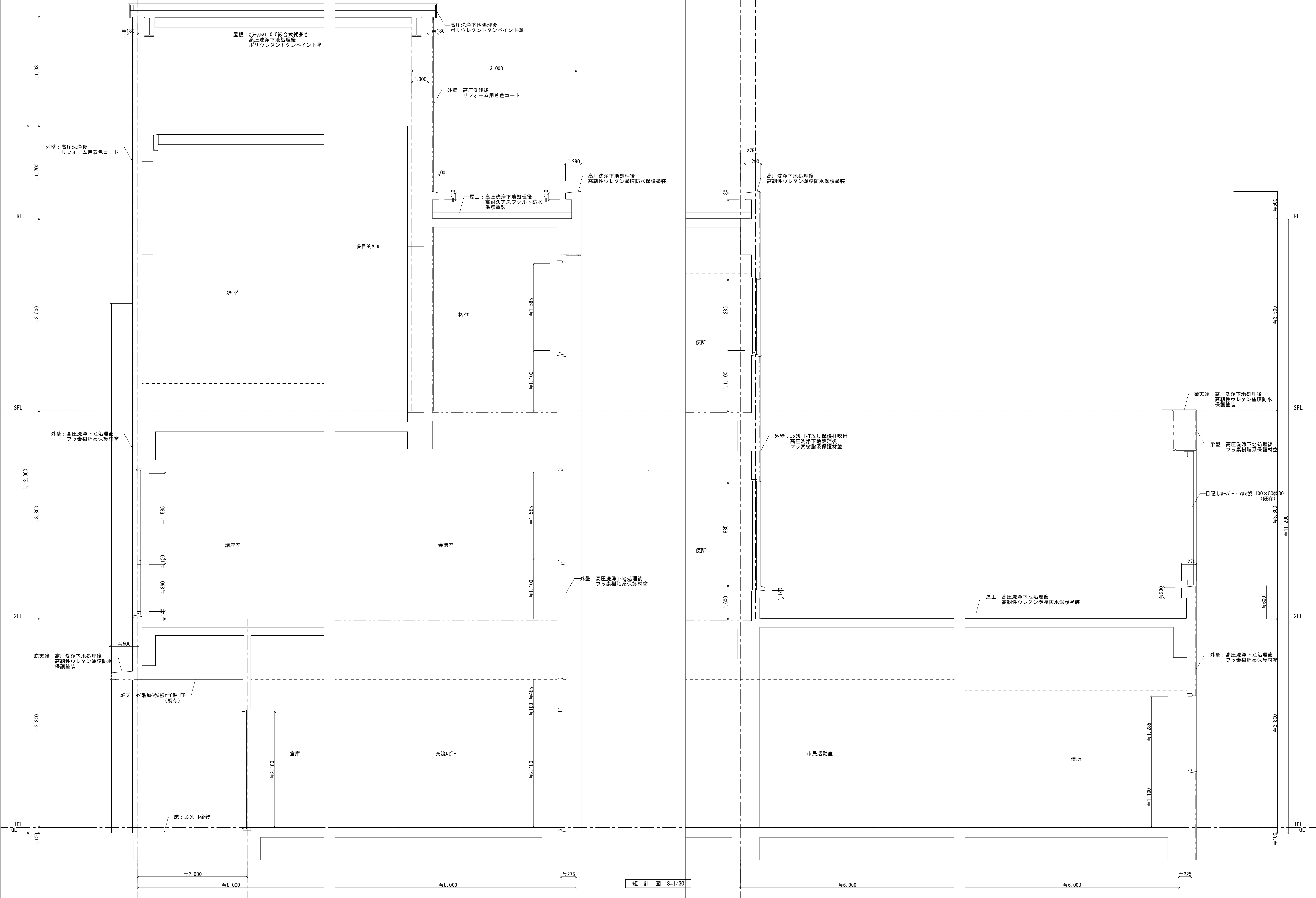
北立面图 S=1/100



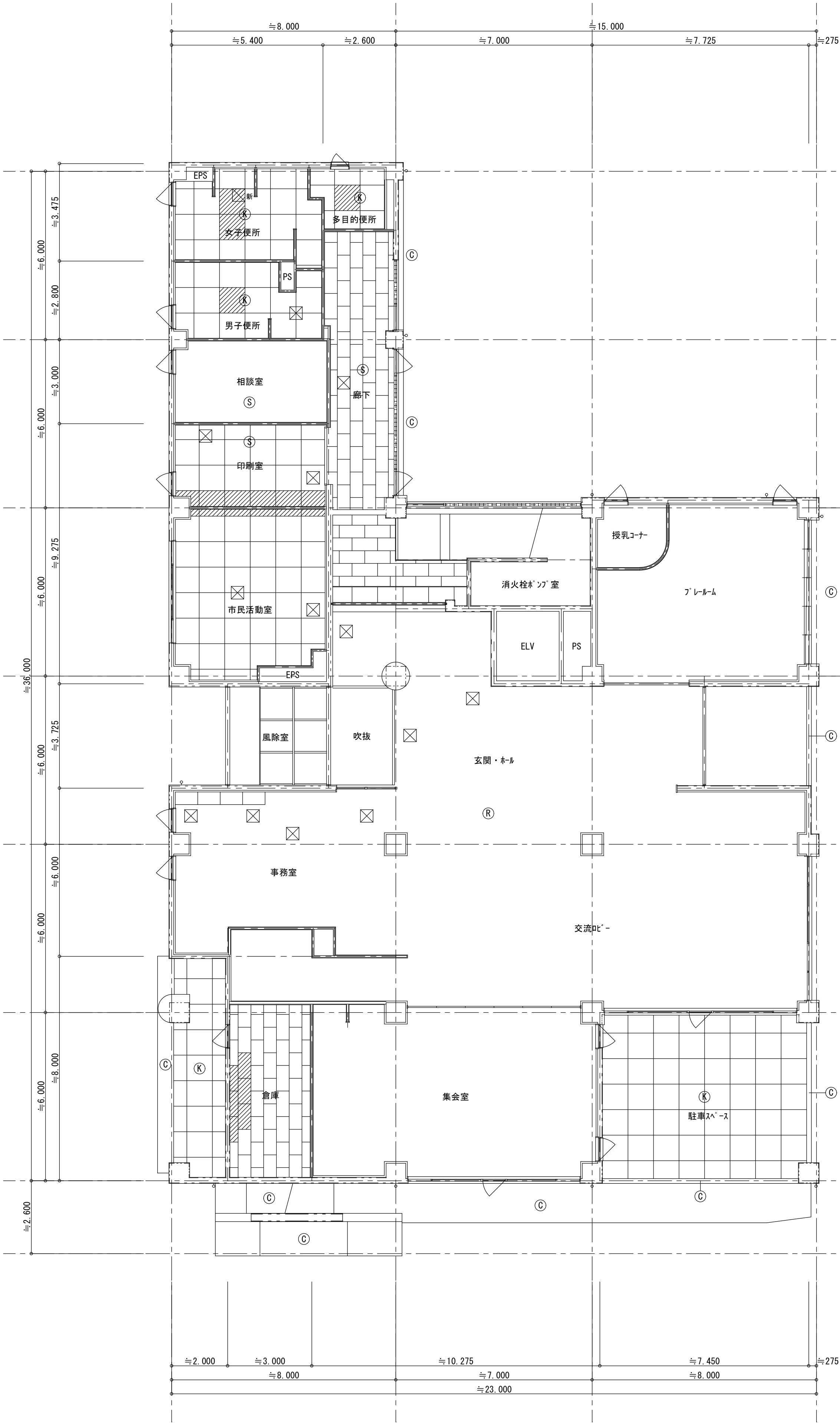
A-16



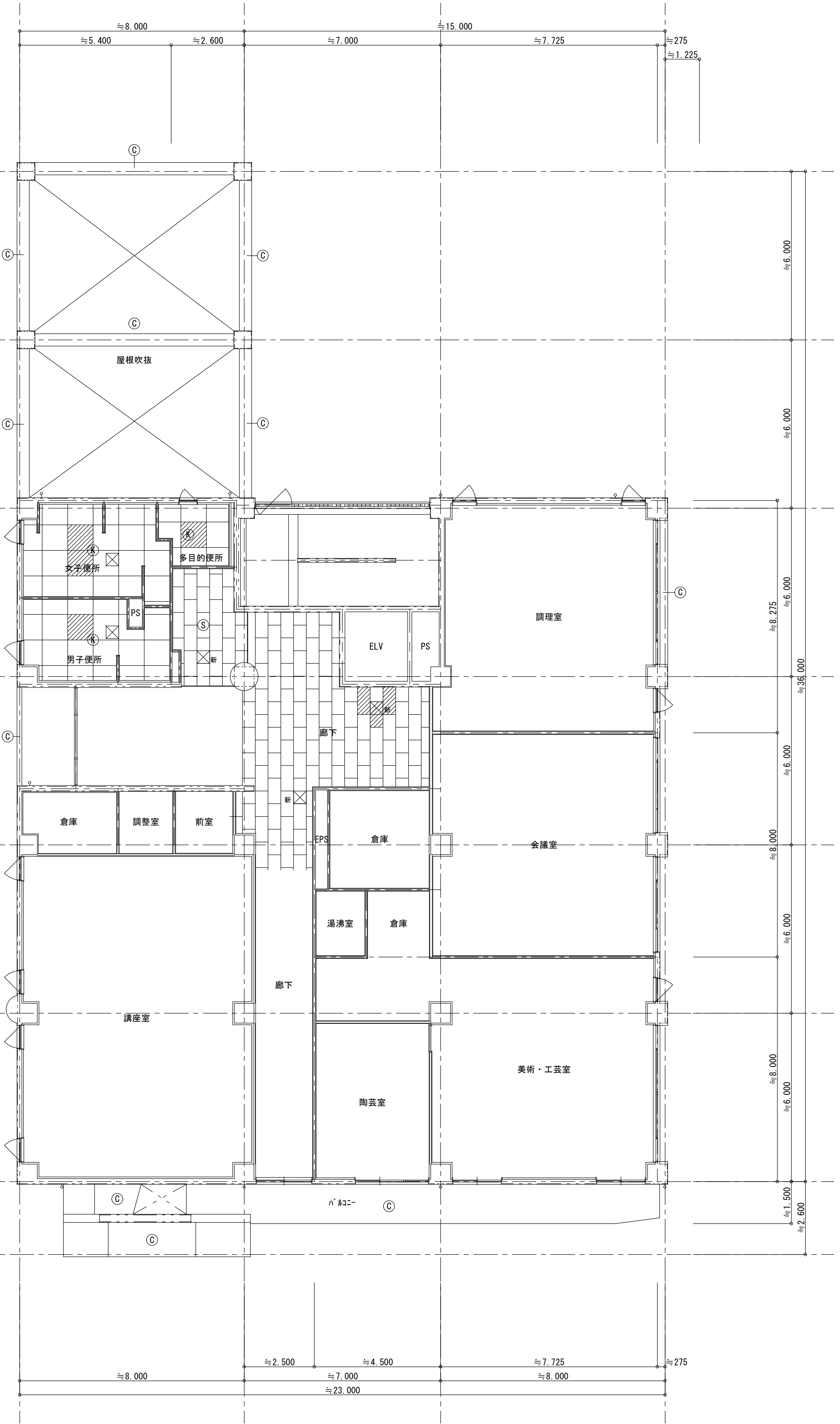
摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認 担当 製図			工 事 名 称		市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号
		変更年月日		N. S	T. S	T. S	図 面 名 称		縮尺		A-17
							矩 計 図 (2)		S=1/30		



摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士 NO.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認担当製図工事名称			市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称	縮尺	A-19
						階段詳細図	S=1/50		



凡 例		
符号	名 称	備 考
①	コンクリート打放し保護材吹付	
Ⓚ	ハイドロシールド板t=6目透し貼 EP	
③	化粧石膏ボードt=9.5貼	
Ⓡ	岩綿吸音板t=9貼	
▨	貼替え部分を示す	
⊠	天井点検口 700製 450角	既存、新は新設を示す。



摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認

担当

製図

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

図面名称

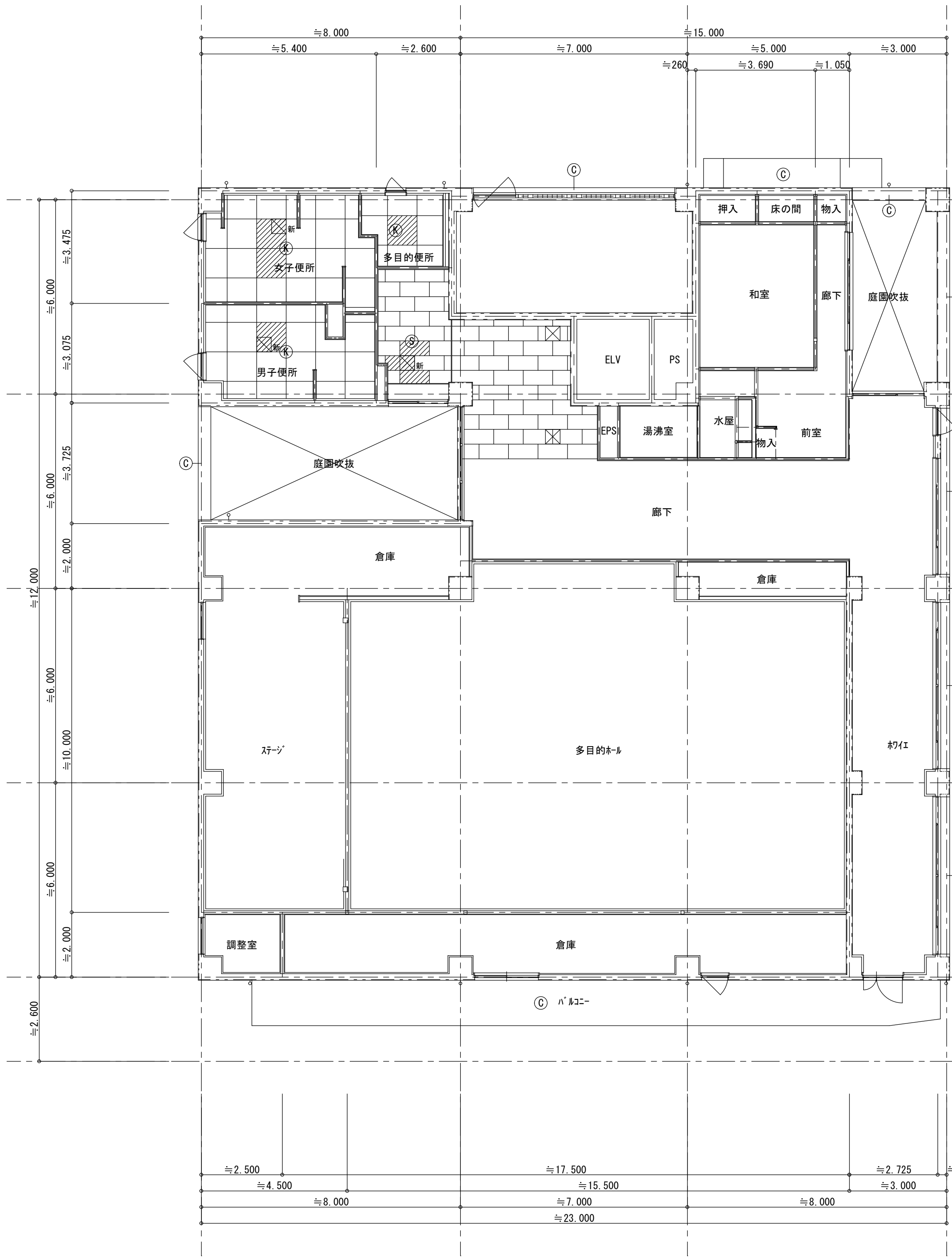
1・2階天井図

縮尺

S=1/100

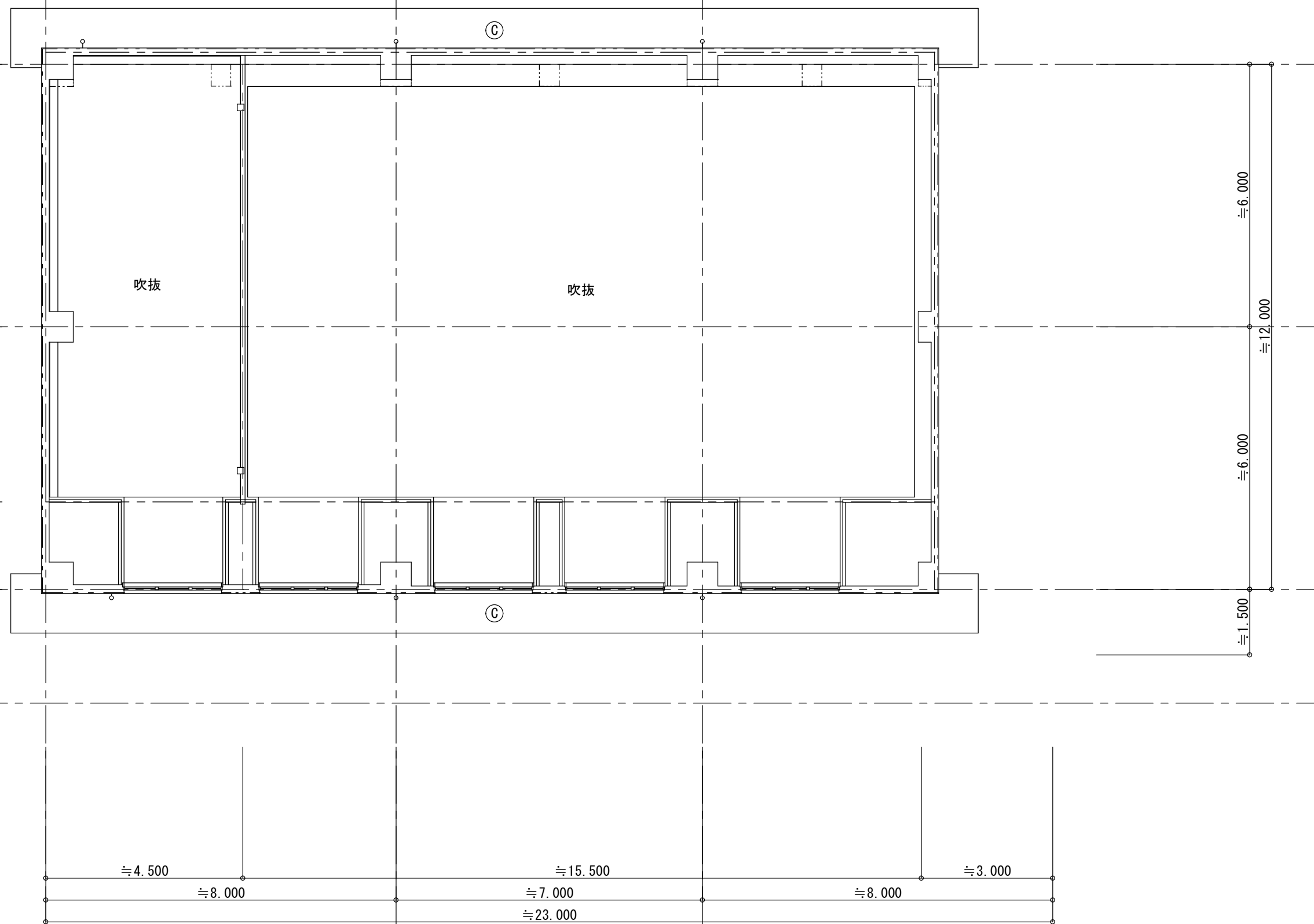
図面番号

A-20



3階天井伏図 S=1/100

凡 例		
符号	名 称	備 考
①	コンクリート打放し保護材吹付	
Ⓚ	サ/酸/アル板t=6目透し貼 EP	
⑤	化粧石膏板t=9.5貼	
Ⓡ	岩綿吸音板t=9貼	
▨	貼替え部分を示す	
⊠	天井点検口 700製 450角	既存、新は新設を示す。



3階天井伏図 S=1/100

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183508号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

承 認

担 当

製 図

工 事 名 称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

図面番号

変更年月日

N.S.

T.S.

T.S.

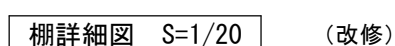
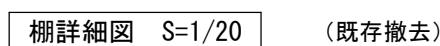
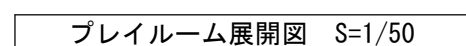
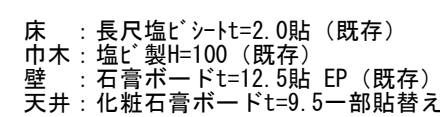
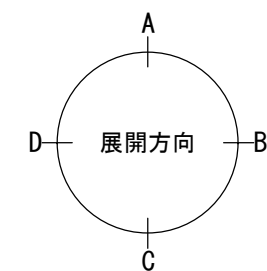
図 面 名 称

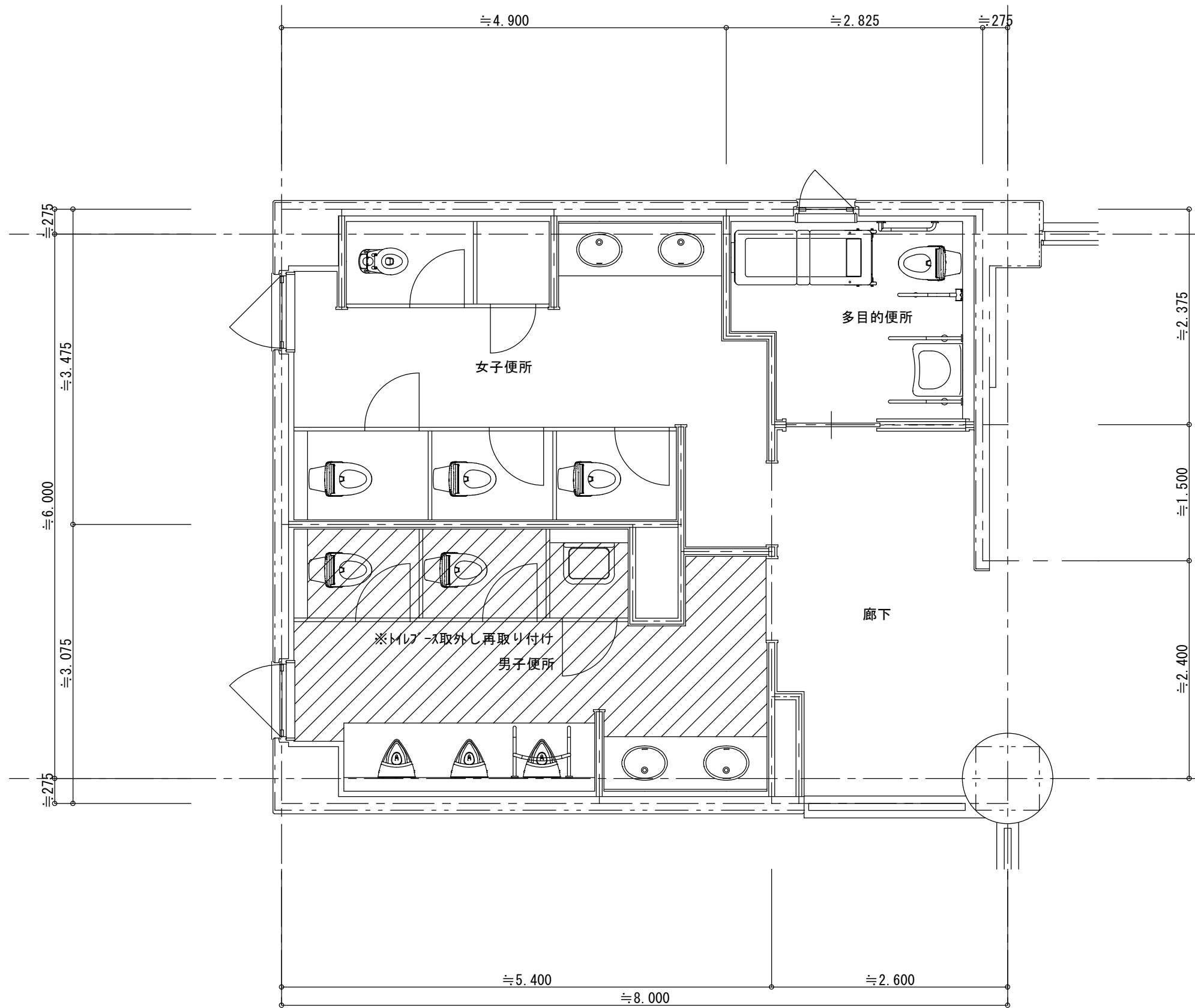
3・R 階 天 井 伏 図

縮尺

S=1/100

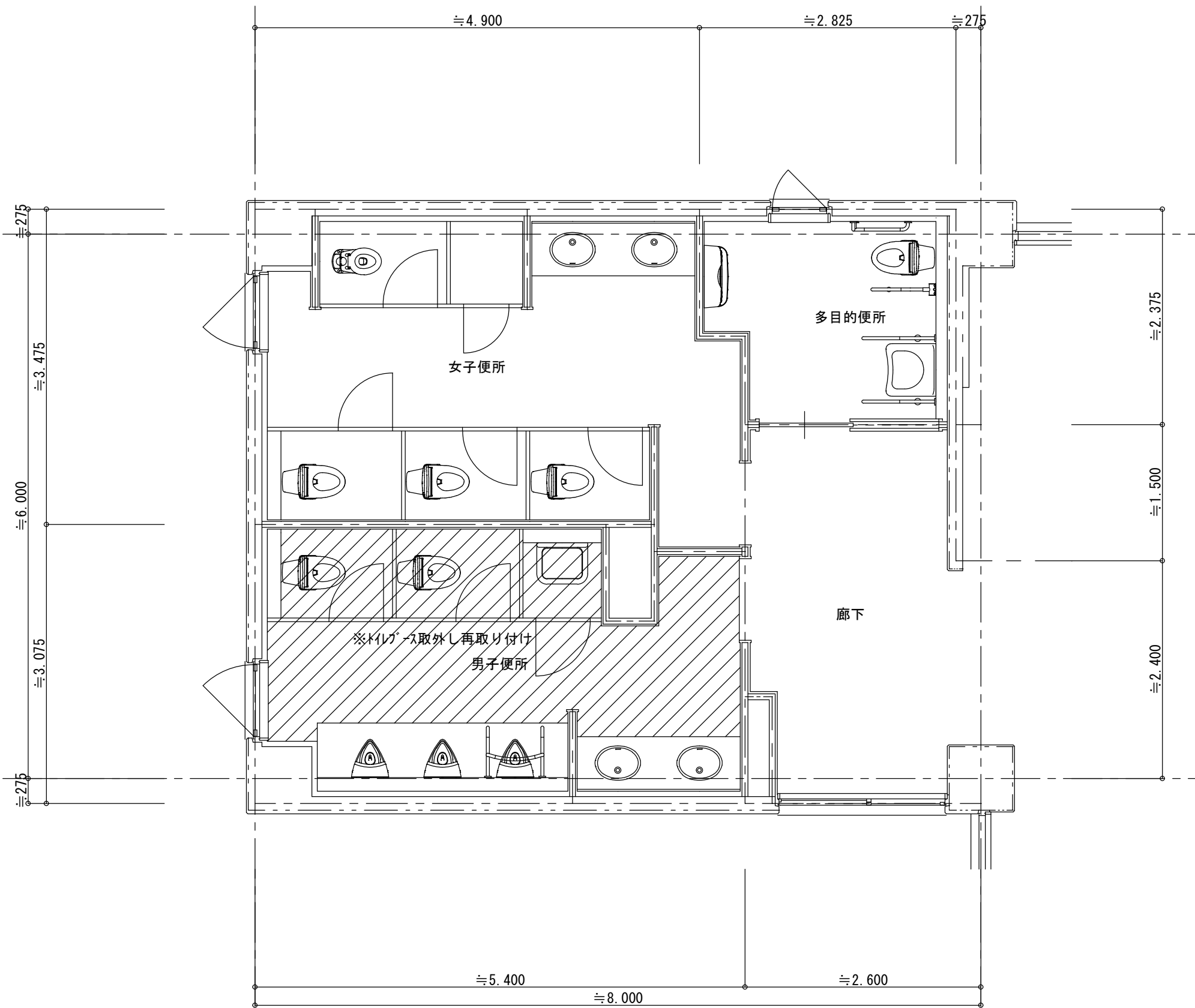
A-21



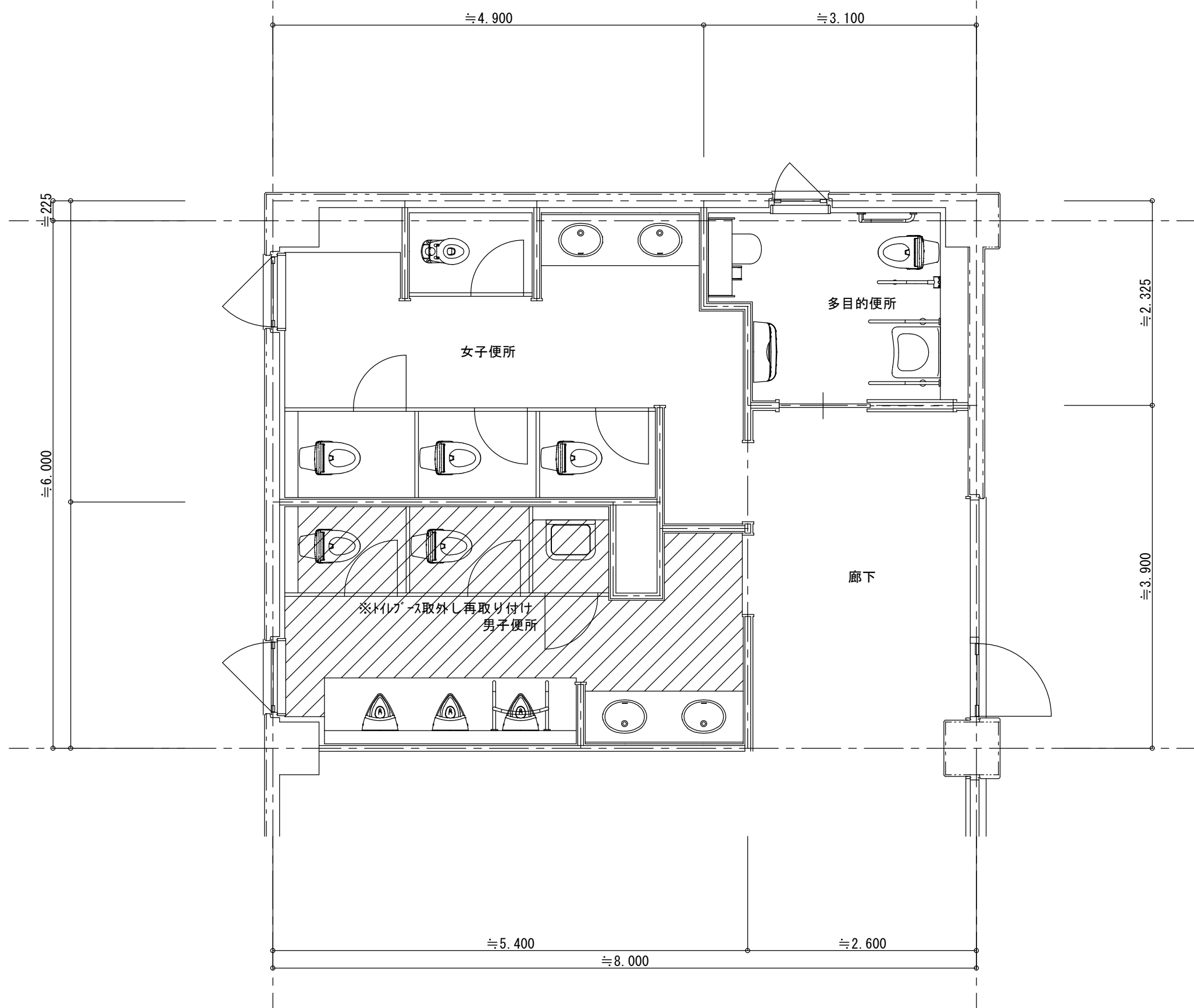


2 階便所平面詳細図 S=1/50

※斜線部分（男子便所）
床：既存長尺塩ビシート t=2.5撤去後
乾式M117用長尺塩ビシート t=2.0貼

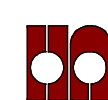


3 階便所平面詳細図 S=1/50



1 階便所平面詳細図 S=1/50

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

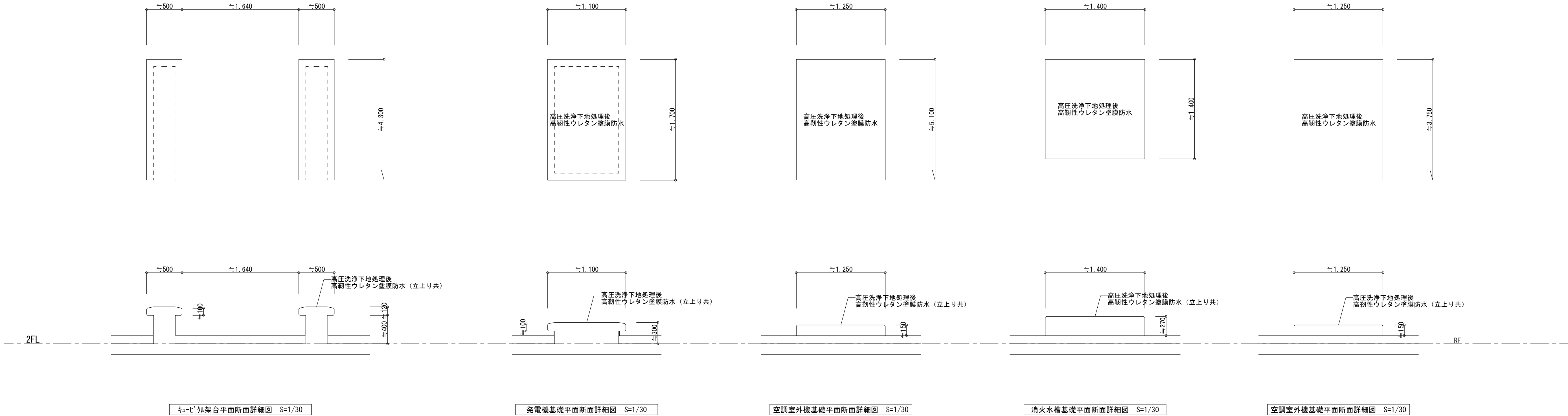
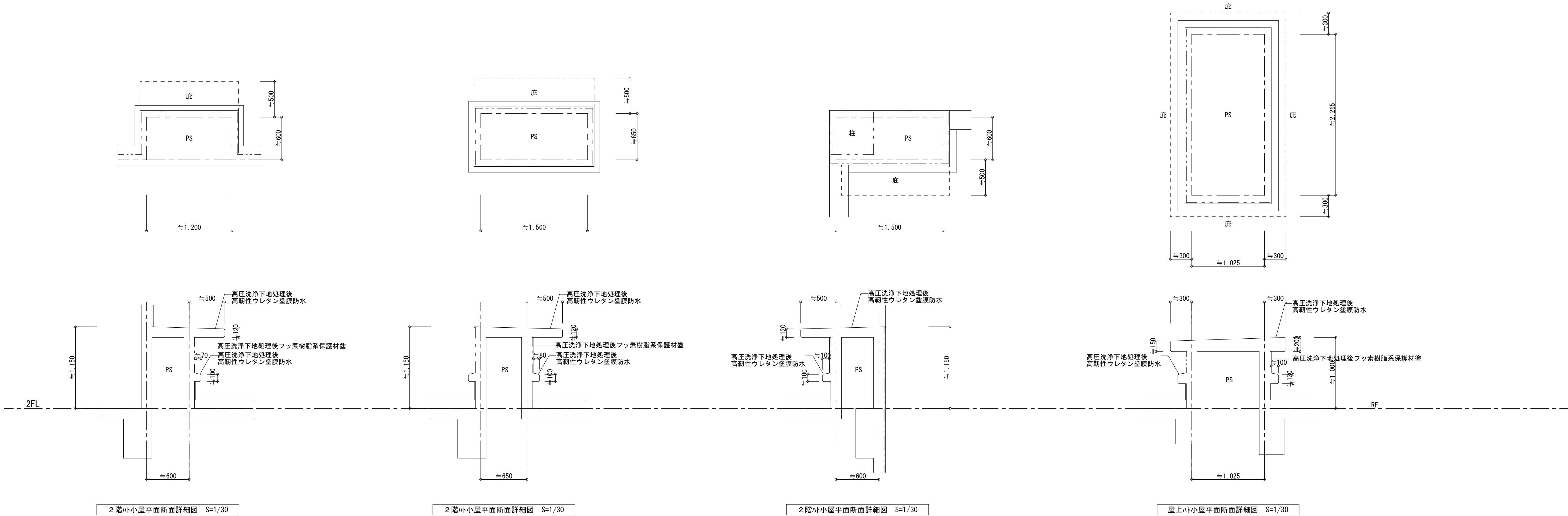
一級建築士事務所

一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2024/00/00	承認	担当	製図	工事名称	市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事
変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称	便所平面詳細図
					縮尺	S=1/50

図面番号

A-23



※天端の防水は設備機器据付部分を除く。

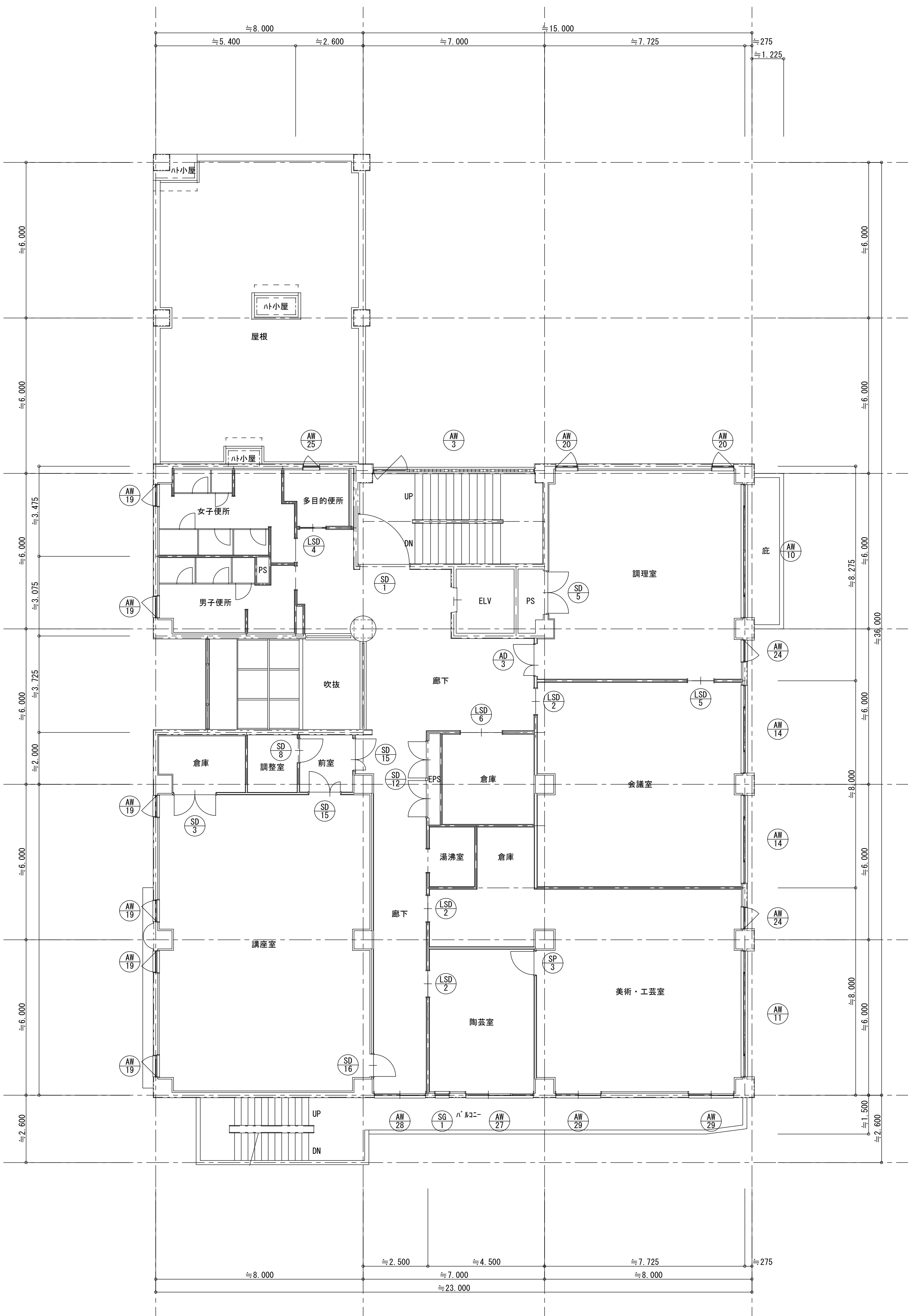
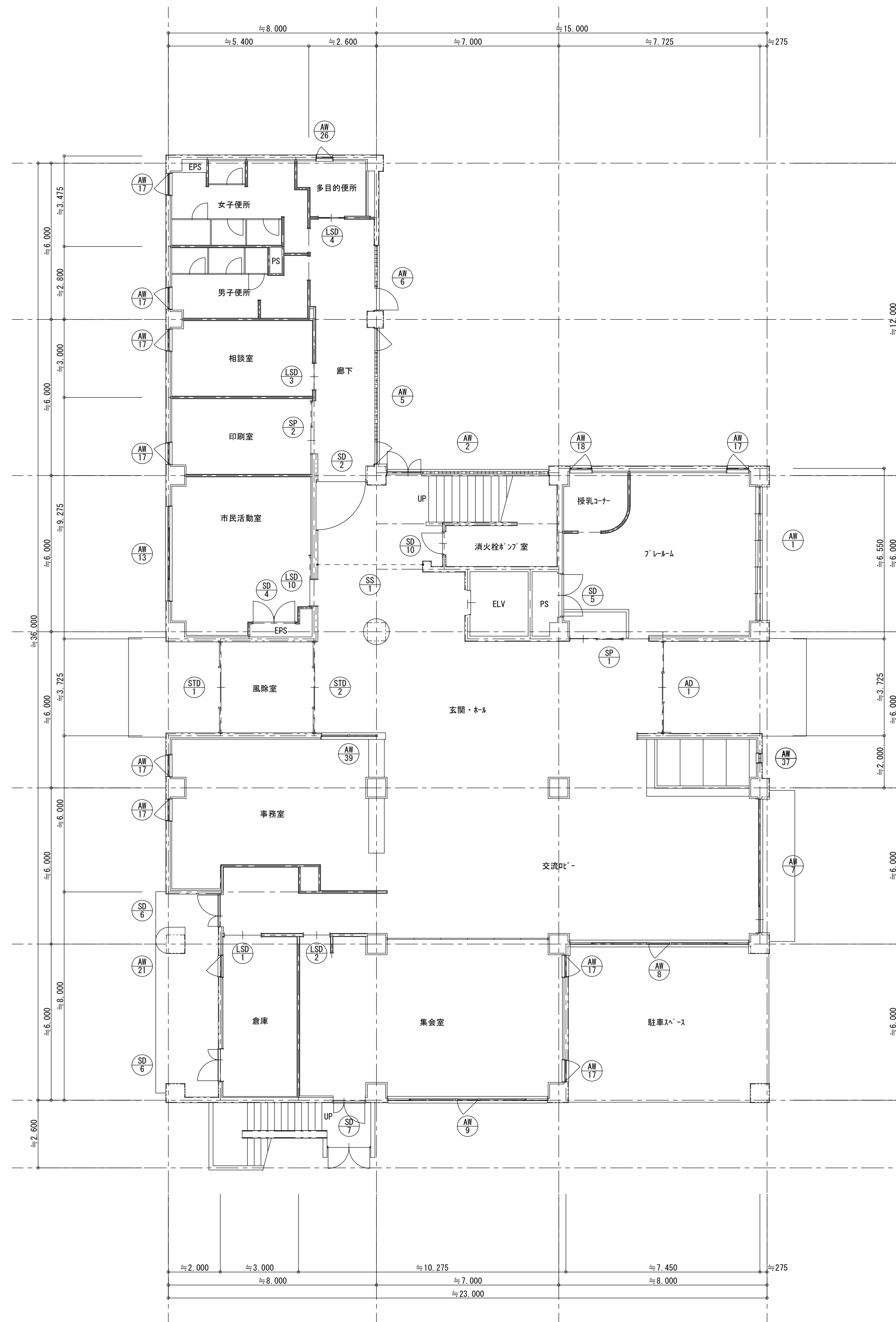
※天端の防水は設備機器据付部分を除く。

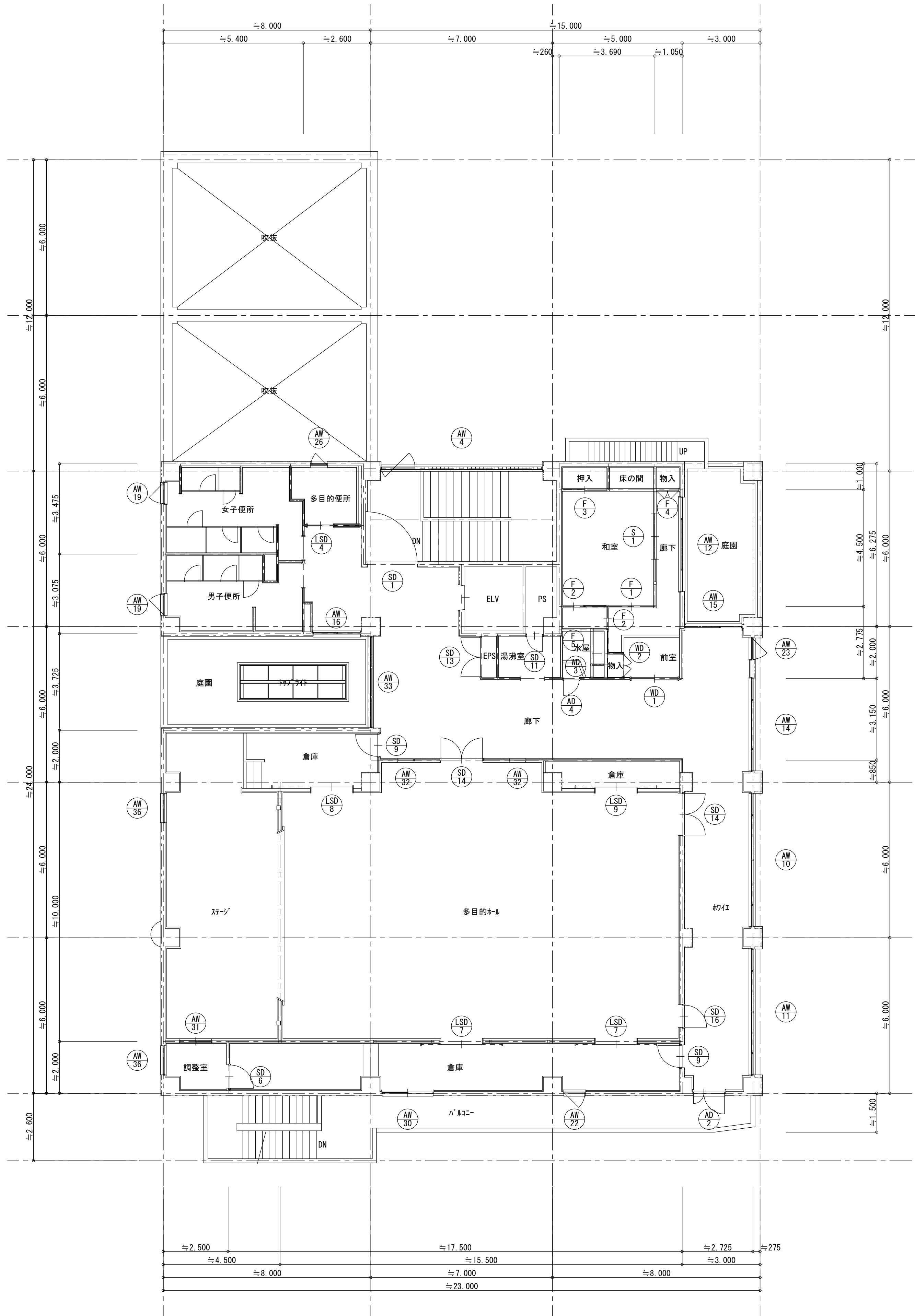
※天端の防水は設備機器据付部分を除く。

※天端の防水は設備機器据付部分を除く。

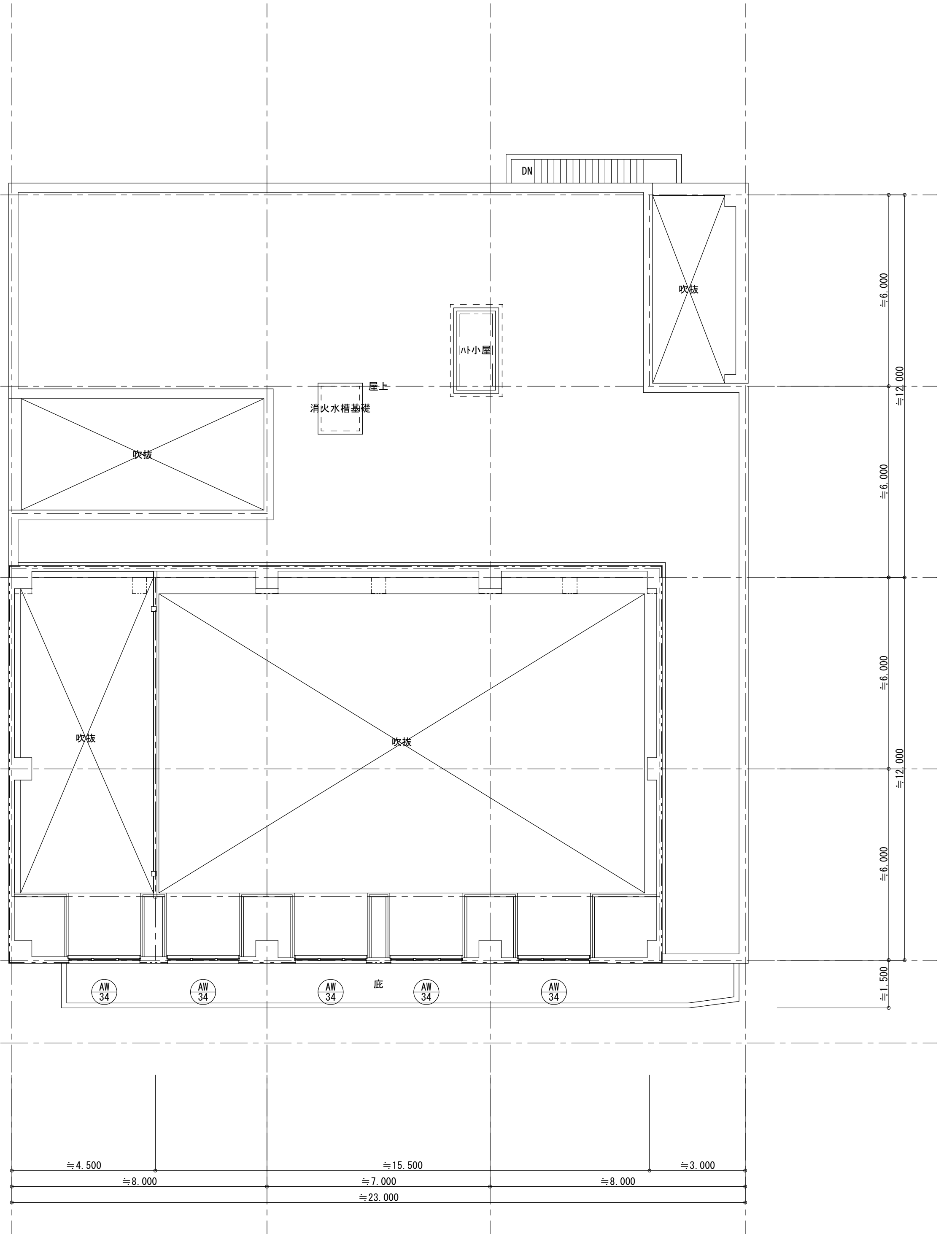
※天端の防水は設備機器据付部分を除く。

摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認 担 当 製 図			工 事 名 称		市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号 A-24
		変更年月日		N. S	T. S	T. S	図 面 名 称		縮 尺		
							詳 細 図			S=1/30	





3階建具キープラン S=1/100



4階建具キープラン S=1/100

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認

担当

製図

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

図面名称

3・R階 建具キープラン

縮尺

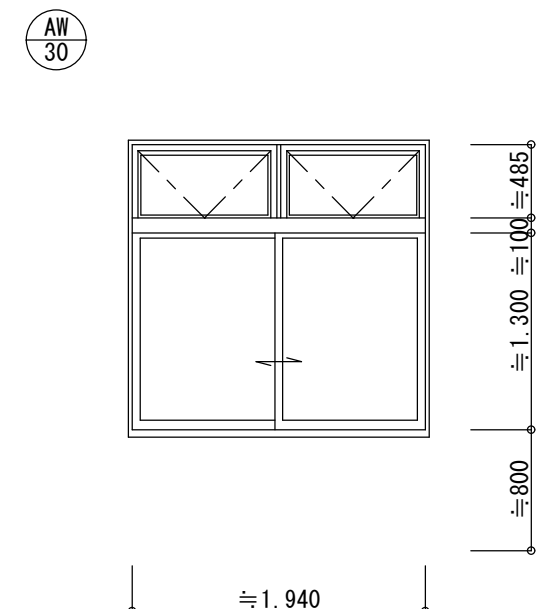
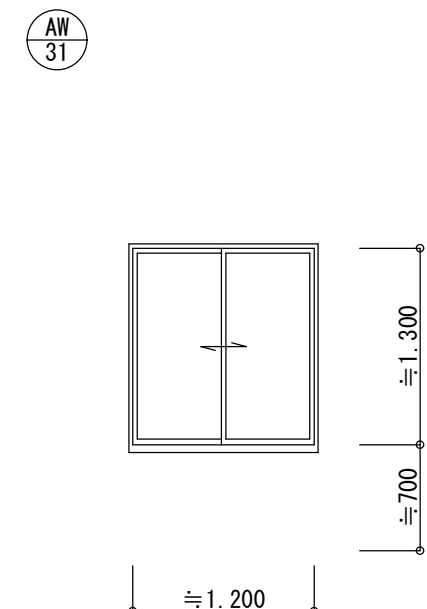
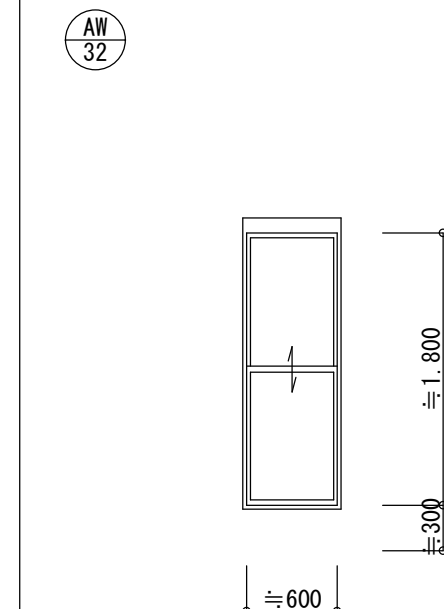
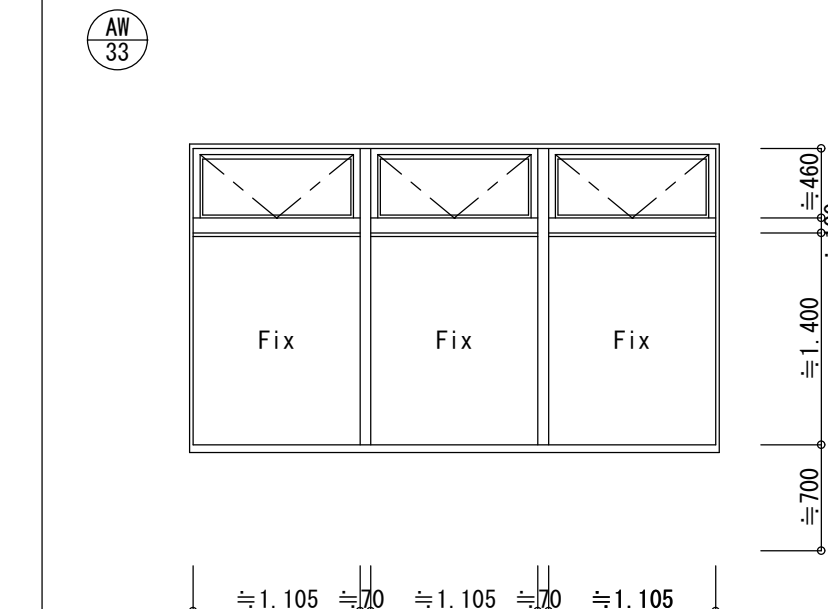
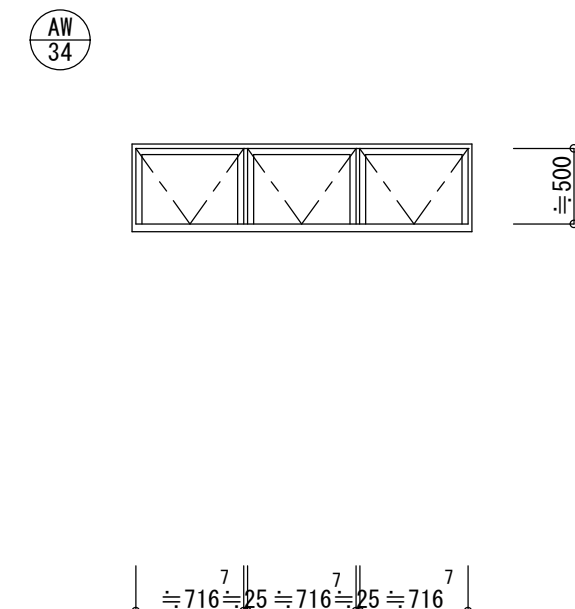
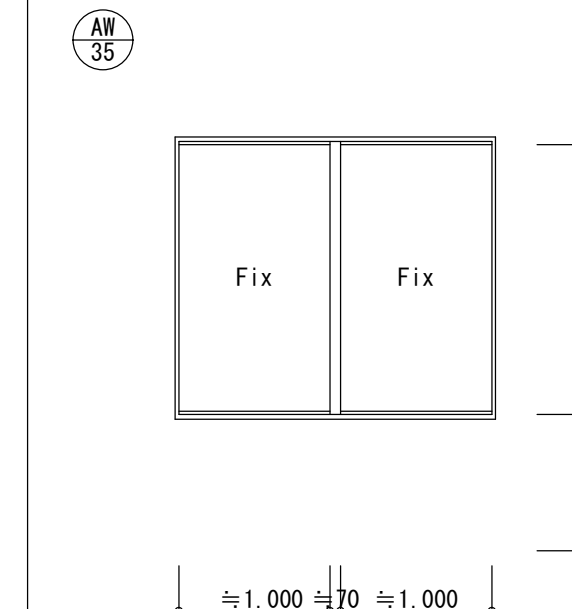
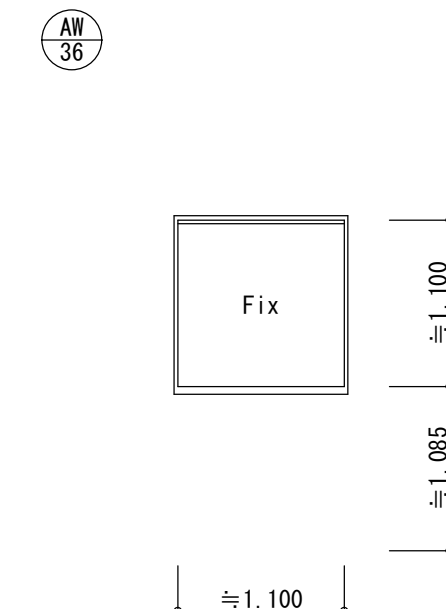
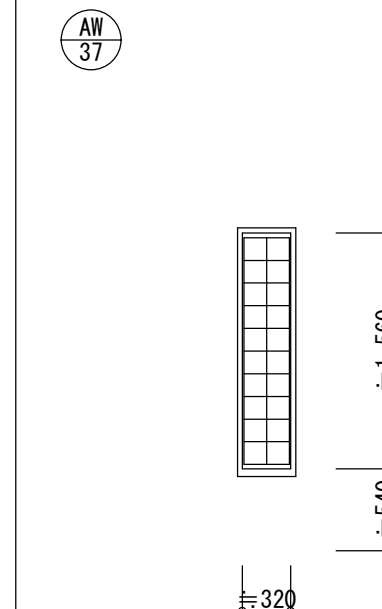
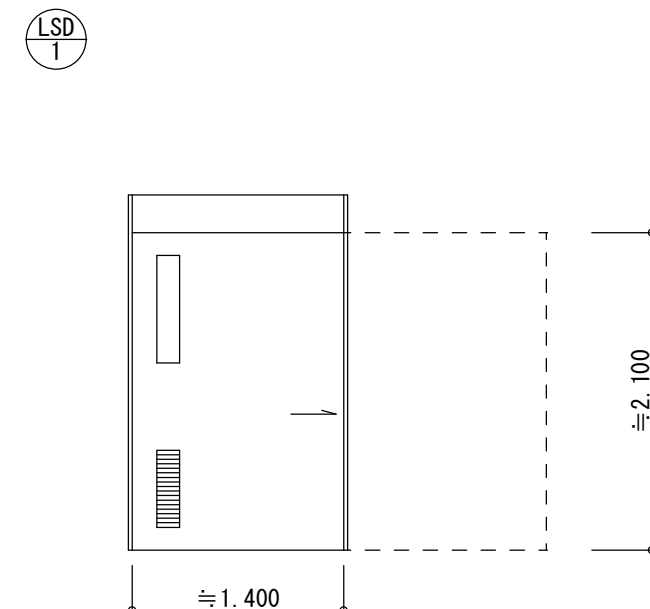
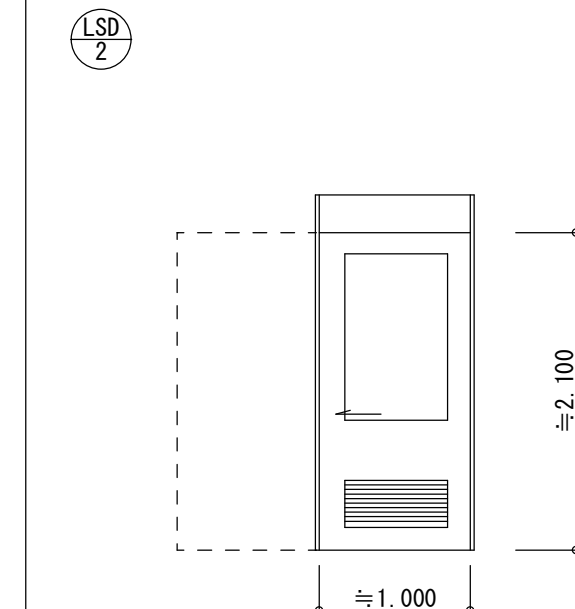
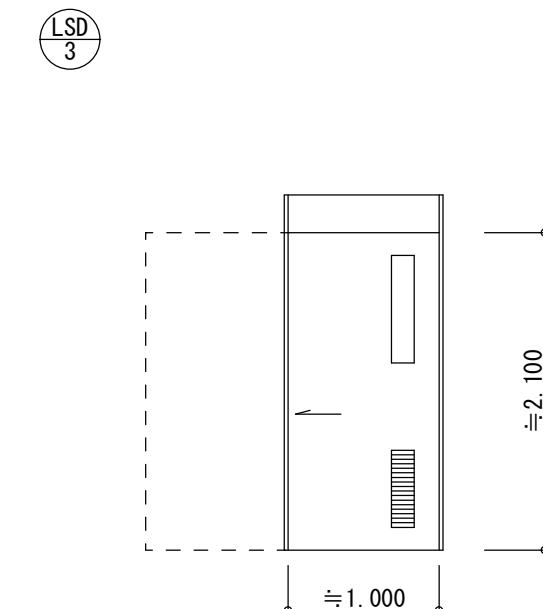
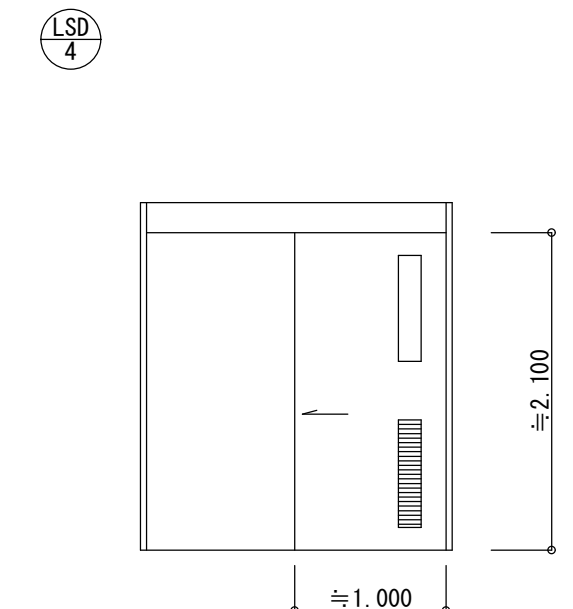
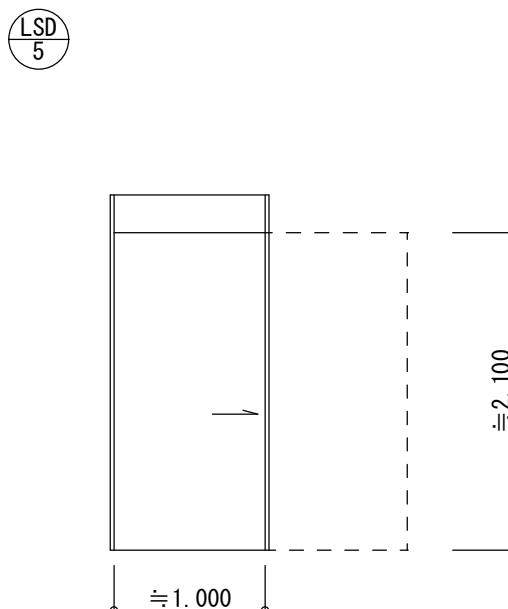
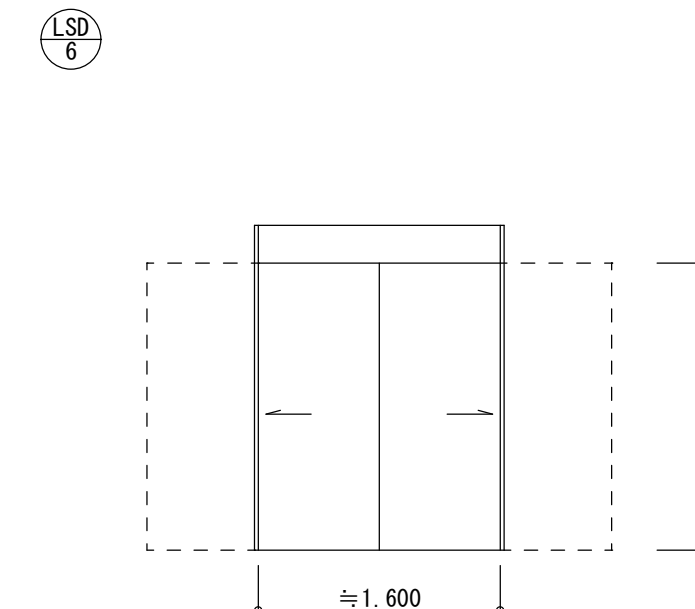
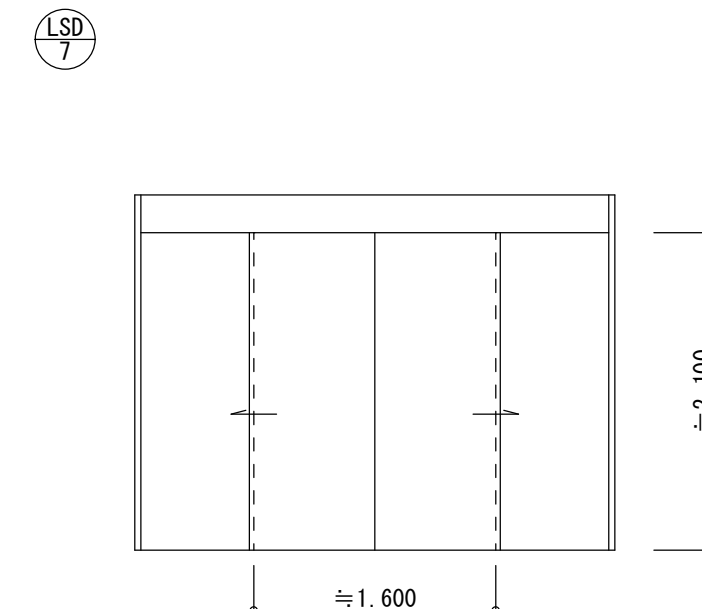
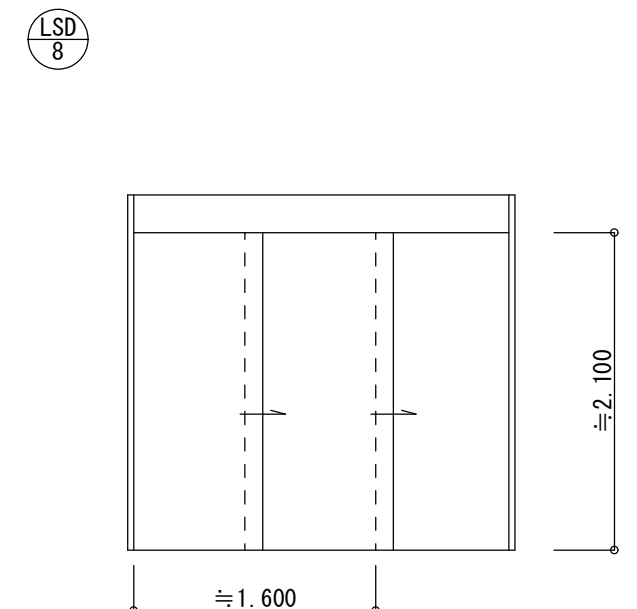
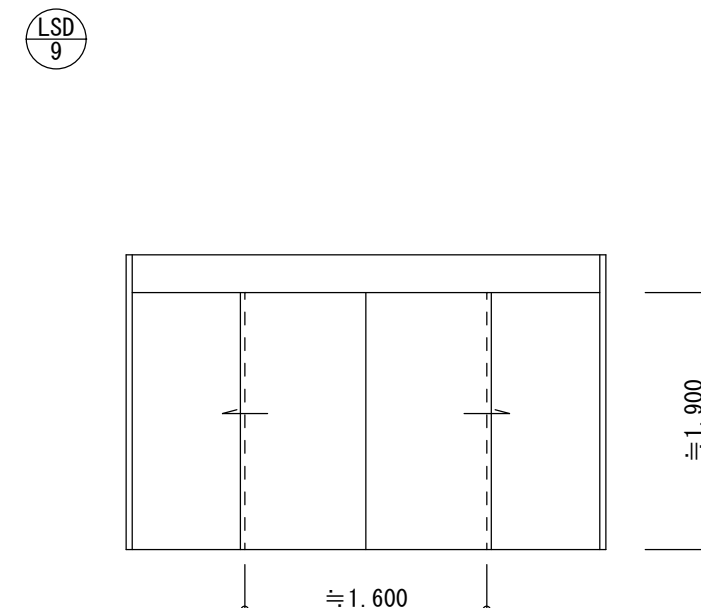
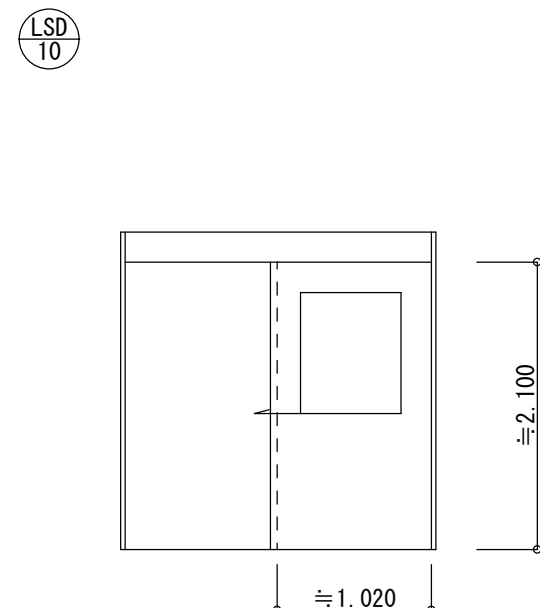
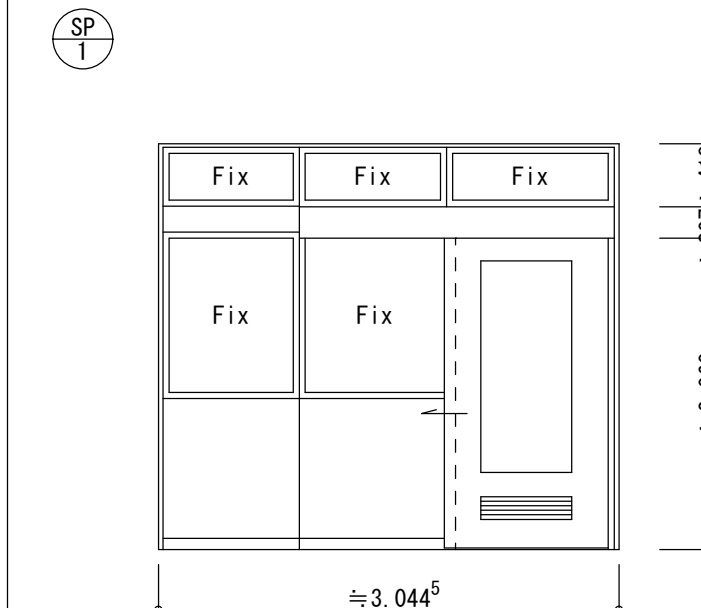
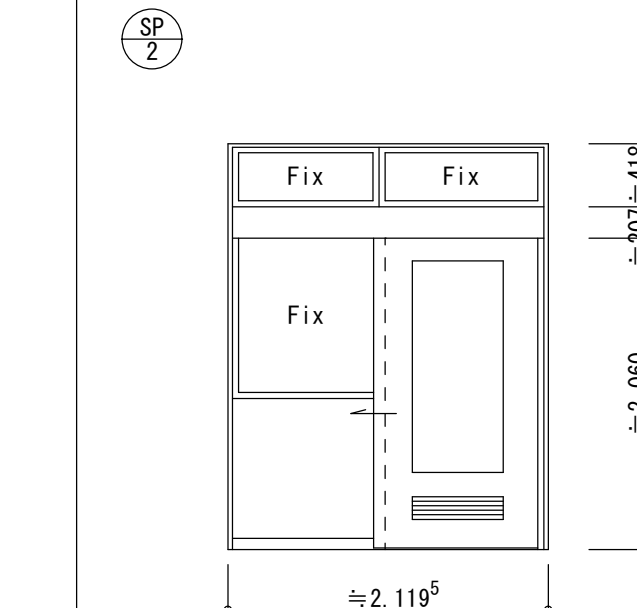
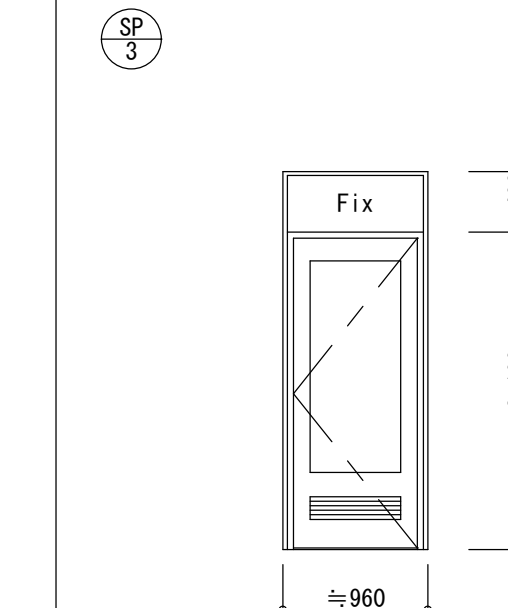
S=1/100

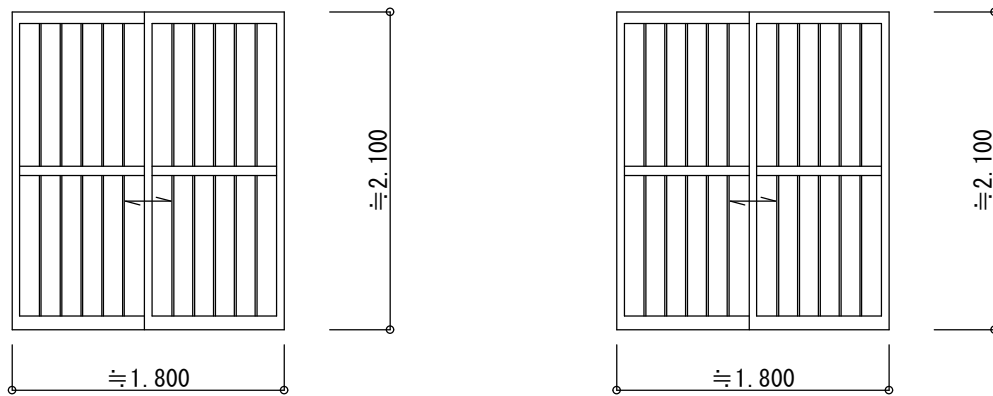
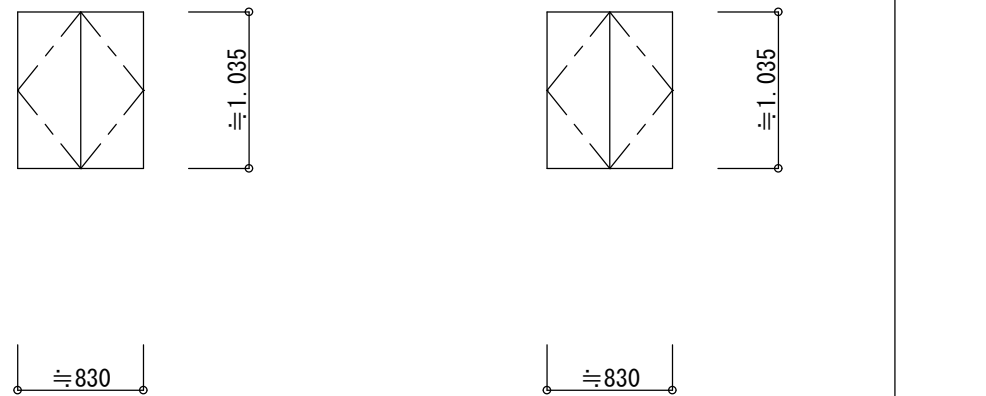
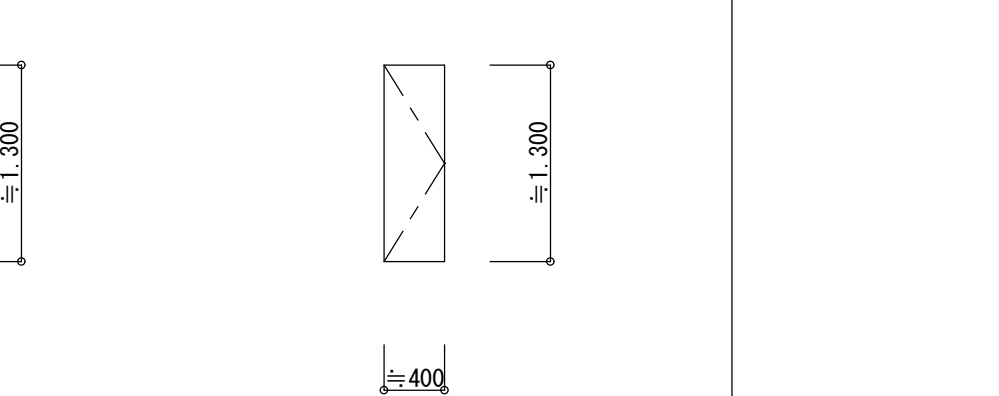
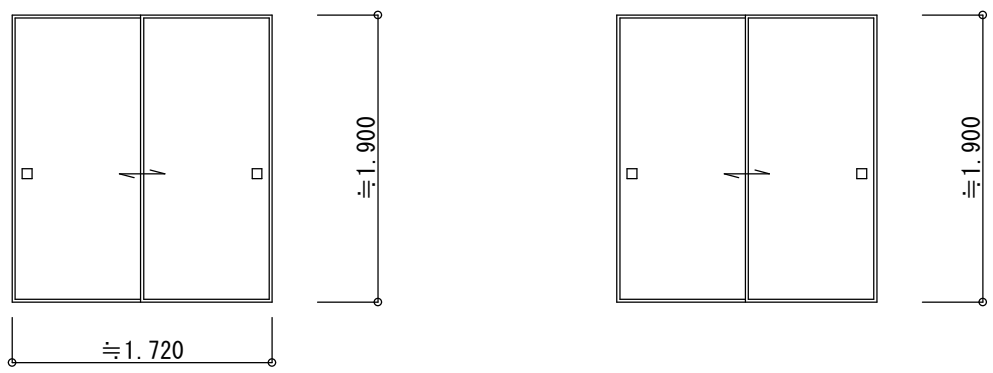
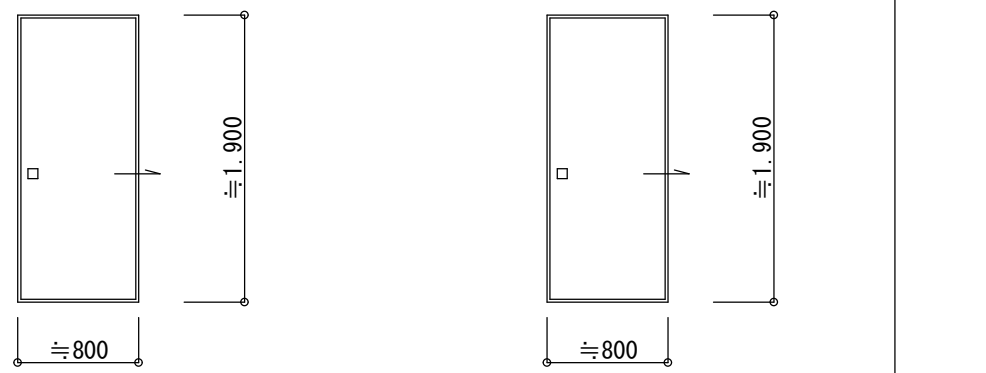
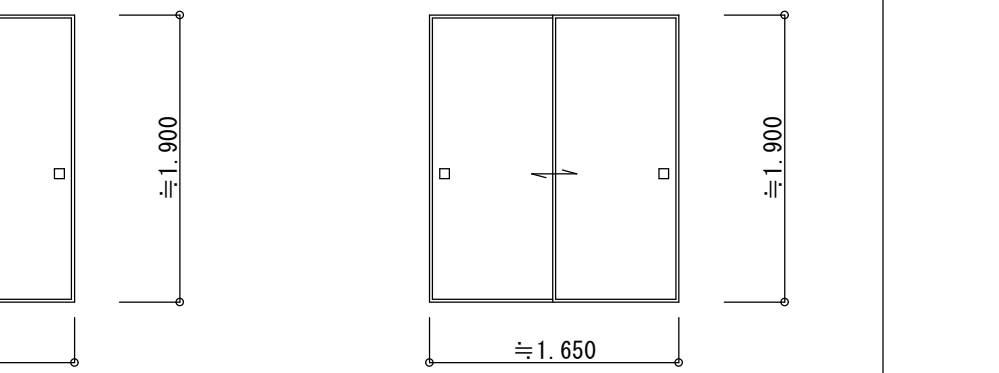
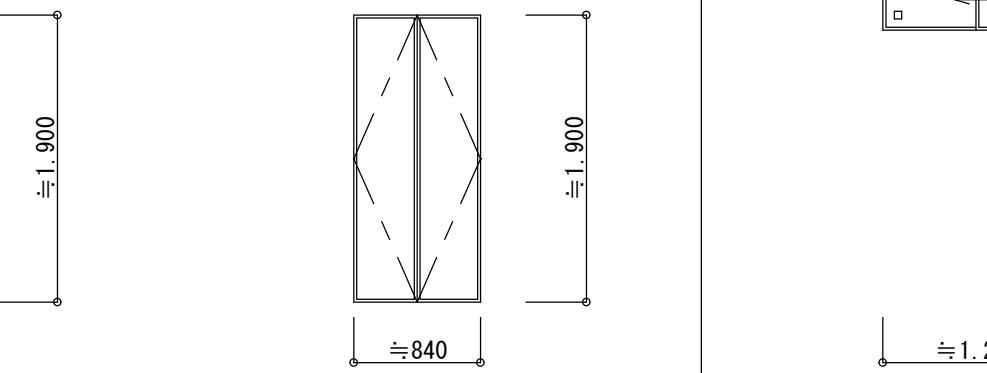
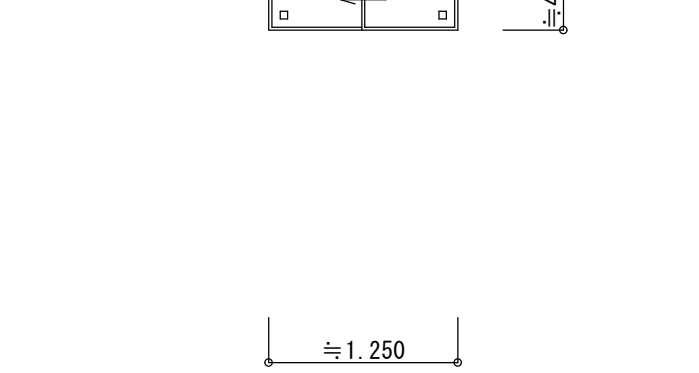
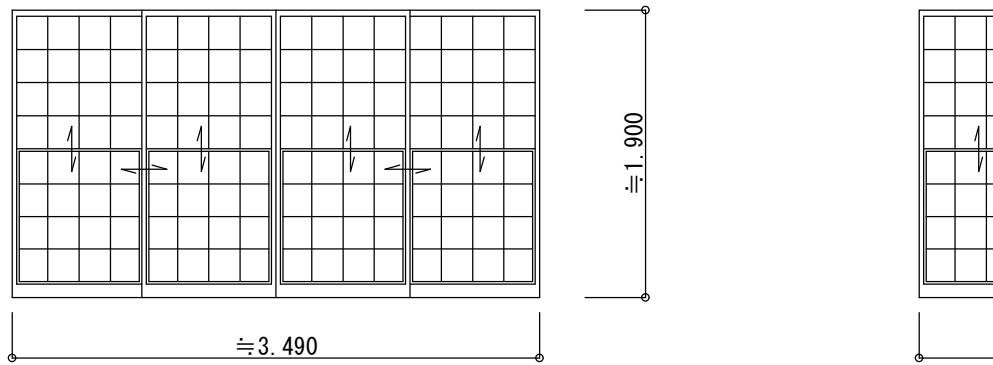
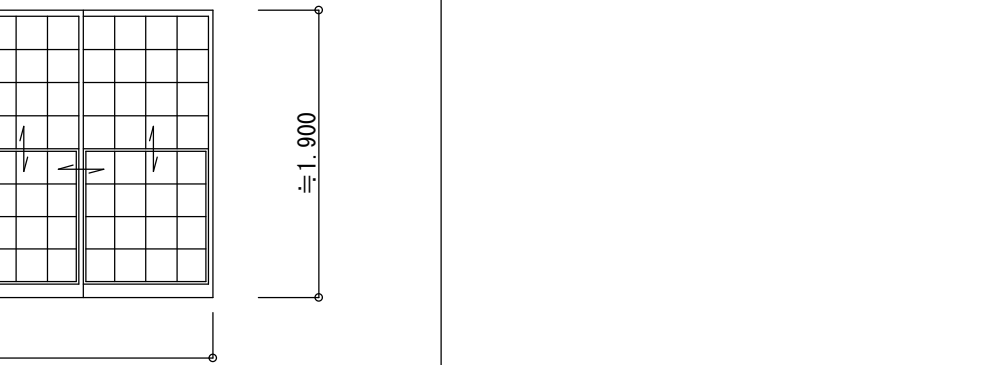
図面番号

A-26

建具番号	STD 1		STD 2		建具番号	SS 1		SD 1		SD 2		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
姿 図												
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
	備 考		備 考			備 考		備 考		備 考		
建具番号	SD 3		SD 4		建具番号	SD 5		SD 6		SD 7		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 9		SD 10		建具番号	SD 11		SD 12		SD 13		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 14		SD 15		建具番号	SD 16		SD 17		SD 18		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 19		SD 20		建具番号	SD 21		SD 22		SD 23		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 24		SD 25		建具番号	SD 26		SD 27		SD 28		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 29		SD 30		建具番号	SD 31		SD 32		SD 33		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 34		SD 35		建具番号	SD 36		SD 37		SD 38		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 39		SD 40		建具番号	SD 41		SD 42		SD 43		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 44		SD 45		建具番号	SD 46		SD 47		SD 48		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 49		SD 50		建具番号	SD 51		SD 52		SD 53		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 54		SD 55		建具番号	SD 56		SD 57		SD 58		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 59		SD 60		建具番号	SD 61		SD 62		SD 63		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 64		SD 65		建具番号	SD 66		SD 67		SD 68		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 69		SD 70		建具番号	SD 71		SD 72		SD 73		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 74		SD 75		建具番号	SD 76		SD 77		SD 78		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 79		SD 80		建具番号	SD 81		SD 82		SD 83		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 84		SD 85		建具番号	SD 86		SD 87		SD 88		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 89		SD 90		建具番号	SD 91		SD 92		SD 93		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 94		SD 95		建具番号	SD 96		SD 97		SD 98		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 99		SD 100		建具番号	SD 101		SD 102		SD 103		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上			仕 上		仕 上		仕 上		
	見 込		見 込			見 込		見 込		見 込		
建具番号	SD 104		SD 105		建具番号	SD 106		SD 107		SD 108		
	形 式		形 式			形 式		形 式		形 式		
	箇 所		箇 所			箇 所		箇 所		箇 所		
	仕 上		仕 上									

建具番号	姿 図	AW 2		AW 3		AW 4		AW 5		AW 6												
		親子開き框ドア欄間嵌め殺し・ガラスブロック連窓		縦軸回転窓嵌め殺し・ガラスブロック連窓		縦軸回転窓嵌め殺し・ガラスブロック連窓		片開き窓欄間外側し排煙嵌め殺し・欄間嵌め殺しガラスブロック連窓		嵌め殺し片開き框戸・欄間嵌め殺しガラスブロック連窓												
		1階階段室		2階階段室		3階階段室		1階廊下		1階廊下												
		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム												
		100		100		100		100		100												
								パネラ調整、パネラ交換（2箇所）														
既存建具、建具調整		既存建具、建具調整		既存建具、建具調整		既存建具、建具調整		既存建具、建具調整														
建具番号	姿 図	AW 7		AW 8		AW 9		AW 10		AW 11												
		欄間外側し排煙窓付片引戸・欄間外側し排煙窓付嵌め殺し連窓		両片引き片開き嵌め殺し連窓		両片引き片開き嵌め殺し連窓		両片引き嵌め殺し連窓		両片引き嵌め殺し連窓												
		交流ロビー		交流ロビー		集会室		調理室、ホワイエ		美術工芸室、ホワイエ												
		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム												
		70		70		70		70		70												
既存建具、建具調整、片引き可動網戸新設（1箇所）		既存建具、建具調整、片引き可動網戸新設（2箇所）		既存建具、建具調整、片引き可動網戸新設（2箇所）		既存建具、防火設備、建具調整		既存建具、防火設備、建具調整														
建具番号	姿 図	AW 12		AW 13		AW 14		AW 15		AW 16		AW 17										
		両片引き嵌め殺し連窓		両片引き嵌め殺し連窓		両片引き嵌め殺し連窓		片引き嵌め殺し連窓		片引き嵌め殺し連窓												
		和室		市民活動室		会議室、ホワイエ		ホワイエ		3階廊下												
		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム												
		70		70		70		70		70												
										パネラ交換												
既存建具、建具調整、片引き可動網戸新設（2箇所）		既存建具、建具調整、片引き可動網戸新設（2箇所）		既存建具、防火設備、建具調整		既存建具、防火設備、建具調整、片引き可動網戸新設		既存建具														
建具番号	姿 図	AW 20		AW 21		AW 22		AW 23		AW 24		AW 25										
		片開き嵌め殺し段窓		片開き嵌め殺し段窓		欄間外側し排煙片開き段窓		片開き窓		片開き窓												
		調理室		1階倉庫		倉庫（多目的ホール）		ホワイエ		調理室、美術工芸室												
		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム												
		70		70		70		70		70												
既存建具、防火設備、建具調整		既存建具、建具調整		既存建具、防火設備、建具調整		既存建具、建具調整		既存建具、建具調整														
摘 要										※共通事項												
										アルミ製建具はサッシクリーニングを行うこと。												
										ガラスは内外共ガラスクリーニングを行うこと。												
								ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所								設計年月日 2025/03/14		承認担当製図工事名称 N.S.T.S.T.S.市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号 A-28		
																変更年月日		図面名称 建具表（2）		縮尺 S=1/50		

建具番号											
姿 図											
	形 式	欄間外倒し排煙窓付引違い嵌め殺し連窓		引違い窓		上げ下げ窓		欄間外倒し排煙窓付嵌め殺し3連窓			
	箇 所	倉庫（多目的ホール）1 箇所		調整室（多目的ホール）1 箇所		多目的ホール 2 箇所		3 階廊下 1 箇所			
	仕 上	カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム		カラーアルミニウム			
	見 込	70		70		70		70			
硝 子											
附属金物											
備 考	既存建具、防火設備、建具調整 片引き可動網戸新設		既存建具、防火設備、建具調整		既存建具、建具調整		既存建具、防火設備、建具調整		既存建具		
建具番号											
姿 図											
	形 式	片引きハンガー戸		片引きハンガー戸		片引きハンガー戸		引分けハンガー戸			
	箇 所	1 階倉庫 1 箇所		集会室、会議室、美術工芸室、陶芸室 4 箇所		相談室 1 箇所		多目的便所 3 箇所		調理室 1 箇所	
	仕 上	スチール		スチール 枠SOP塗替え（1 箇所）		スチール		スチール			
	見 込	40		40		40		40			
硝 子											
附属金物			鍵交換、175°open-交換								
備 考	既存建具、壁内蔵タイプ、改修対象外		既存建具、壁内蔵タイプ		既存建具、壁内蔵タイプ、改修対象外		既存建具、壁内蔵タイプ、改修対象外		既存建具、壁内蔵タイプ、改修対象外		
建具番号											
姿 図											
	形 式	引分けハンガー戸		引分けハンガー戸		片引きハンガー戸付パーテーション		片引きハンガー戸付パーテーション	片開き戸パーテーション		
	箇 所	倉庫（多目的ホール）1 箇所		市民活動室 1 箇所		ブレイルーム 1 箇所		市民活動室 1 箇所		陶芸執 1 箇所	
	仕 上	スチール		スチール		スチール		スチール			
	見 込	40		40		80		80			
硝 子											
附属金物	175°open-交換										
備 考	既存建具、外付けタイプ		既存建具、外付けタイプ、特定防火設備、改修対象外		既存建具、改修対象外		既存建具、建具調整		既存建具、改修対象外		
建具番号											
姿 図											
形 式											
箇 所											
仕 上											
見 込											
硝 子											
附属金物											
備 考											
摘 要											
※共通事項 アルミ製建具はサッシクリーニングを行うこと。 ガラスは内外共ガラスクリーニングを行うこと。											
ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所						設計年月日 2025/03/14	承認 N.S	担当 T.S	製図 T.S	工 事 名 称 市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事	図面番号 A-29
						変更年月日	図 面 名 称 建 具 表（3）			縮尺 S=1/50	

建具番号	WD 1 		WD 2 		WD 3 					
形 式	引違い格子戸		引違い格子戸		両開き戸フラッシュ戸		両開き戸フラッシュ戸			
箇 所	和室前室 1 箇所		和室前室 1 箇所		前室物入 1 箇所		前室物入 1 箇所			
仕 上	スプルス CL		スプルス CL		杉板合板 t=2.5		杉板合板 t=2.5			
見 込	36		36		30		30			
硝 子	透明強化ガラス t=4		透明強化ガラス t=4							
附属金物	戸串、引手、引違いシリンダー錠		戸串、引手、引違いシリンダー錠		丁番、引手		丁番、引手			
備 考	既存建具撤去		新設建具		既存建具撤去		新設建具			
建具番号	F 1 		F 2 		F 3 		F 4 		F 5 	
形 式	引違い機		引違い機		片引き機		片引き機			
箇 所	1 階倉庫 1 箇所		1 階倉庫 1 箇所		和室、前室 2 箇所		和室、前室 2 箇所			
仕 上	木縁 新鳥の子紙貼		木縁 新鳥の子紙貼		木縁 新鳥の子紙貼		木縁 新鳥の子紙貼			
見 込	21		21		21		21			
硝 子										
附属金物	木製角形引手		木製角形引手		木製角形引手		木製角形引手			
備 考	既存建具撤去		新設建具、敷居すべり		既存建具撤去		新設建具、敷居すべり			
建具番号	P 1 		P 2 							
形 式	4 枚引分け障子 (猫間障子)		4 枚引分け障子 (猫間障子)							
箇 所	和室 1 箇所		和室 1 箇所							
仕 上	スプルス 障子紙貼		スプルス プラスチック障子紙貼							
見 込	33		33							
硝 子	透明強化ガラス t=4		透明強化ガラス t=4							
附属金物	堀込引手		堀込引手							
備 考	既存建具撤去		新設建具、敷居すべり							
建具番号										
形 式										
箇 所										
仕 上										
見 込										
硝 子										
附属金物										
備 考										
摘 要										

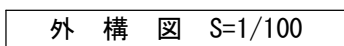
ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

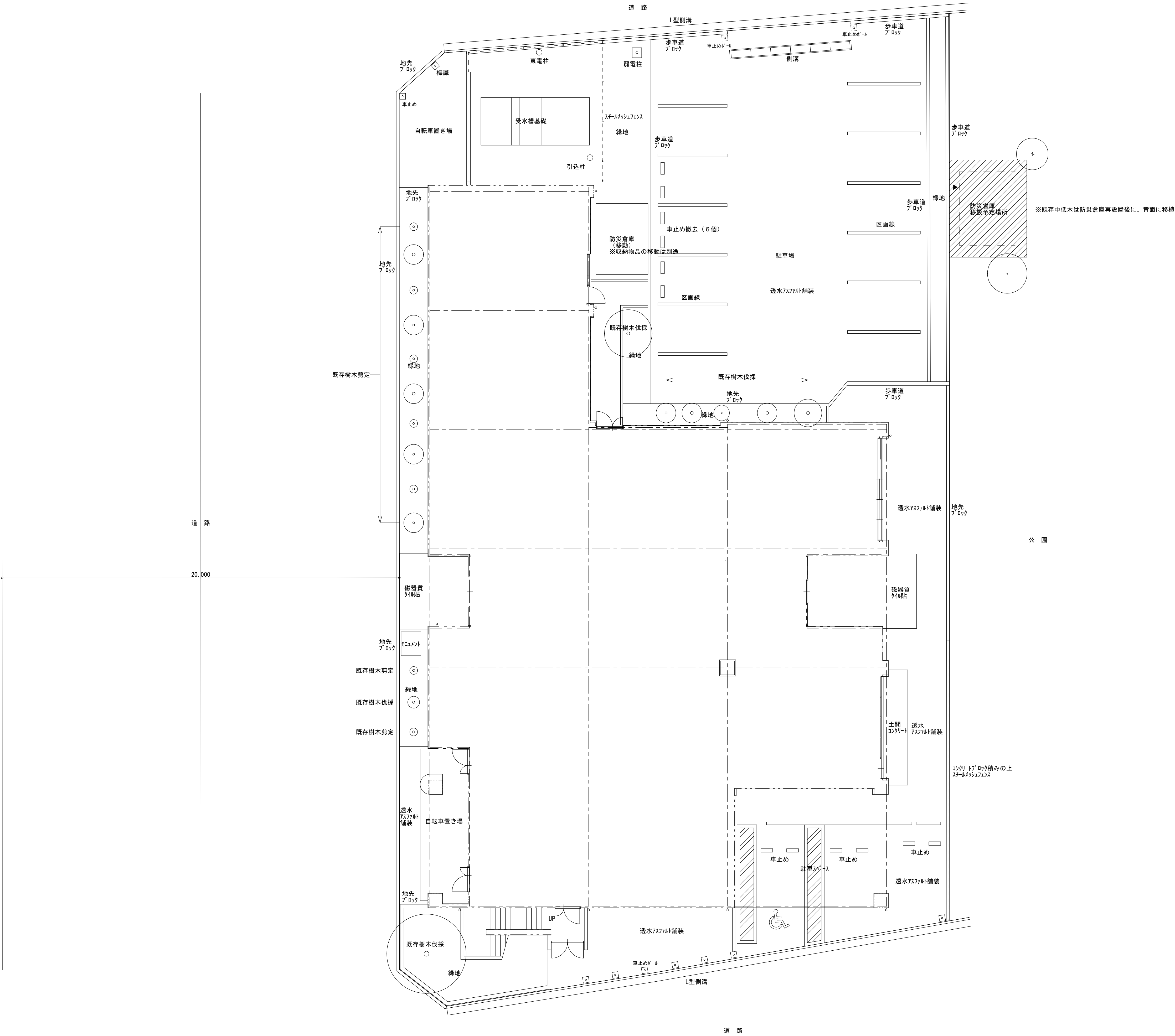
一級建築士NO.183598号

菅谷 隆

設計年月日	2025/03/14	承認	担当	製図	工事名称	市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事	図面番号
変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称	建具表 (4)	A-30
						縮尺	S=1/50

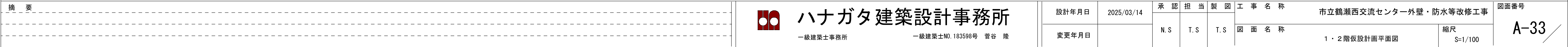


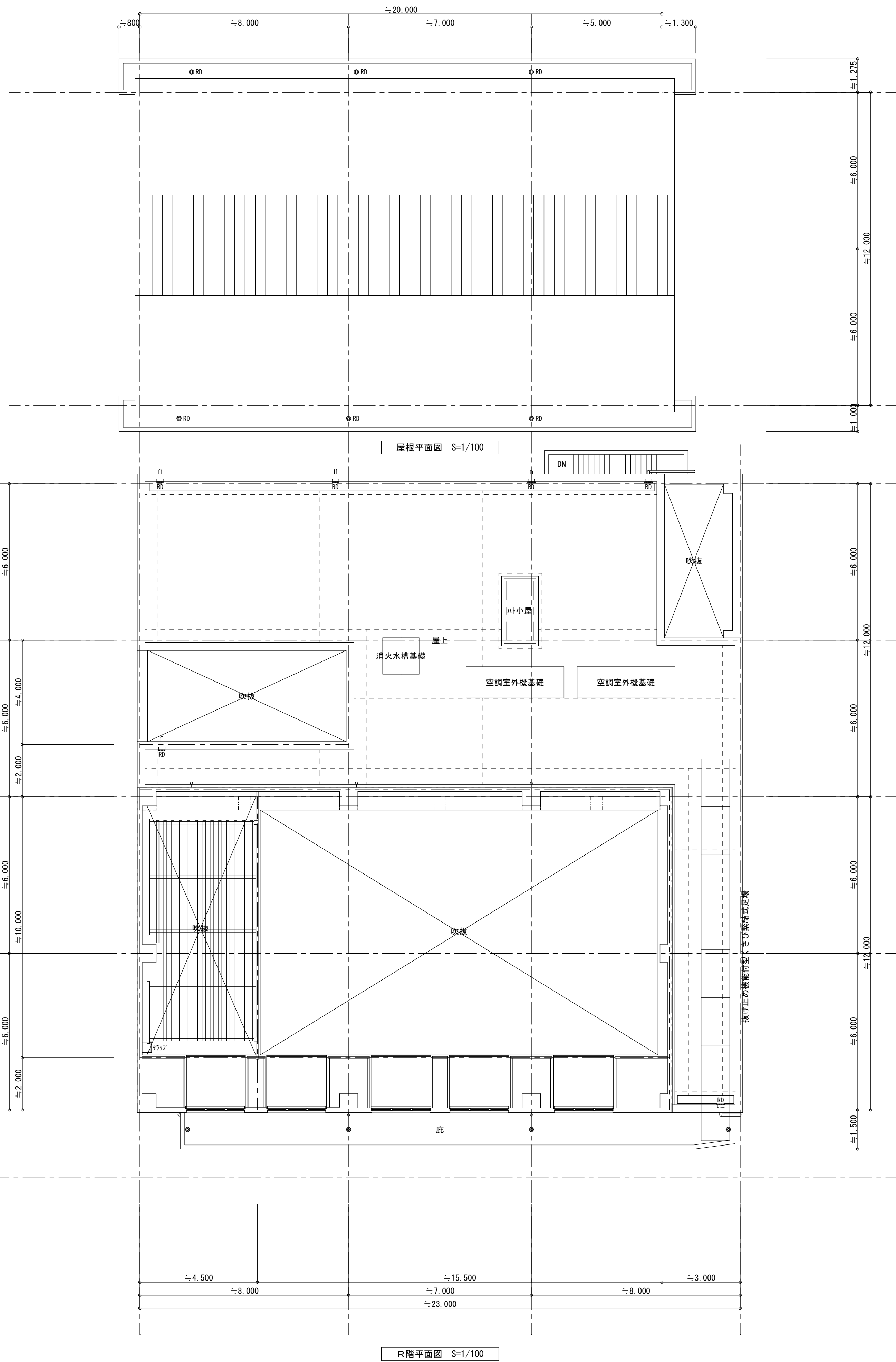
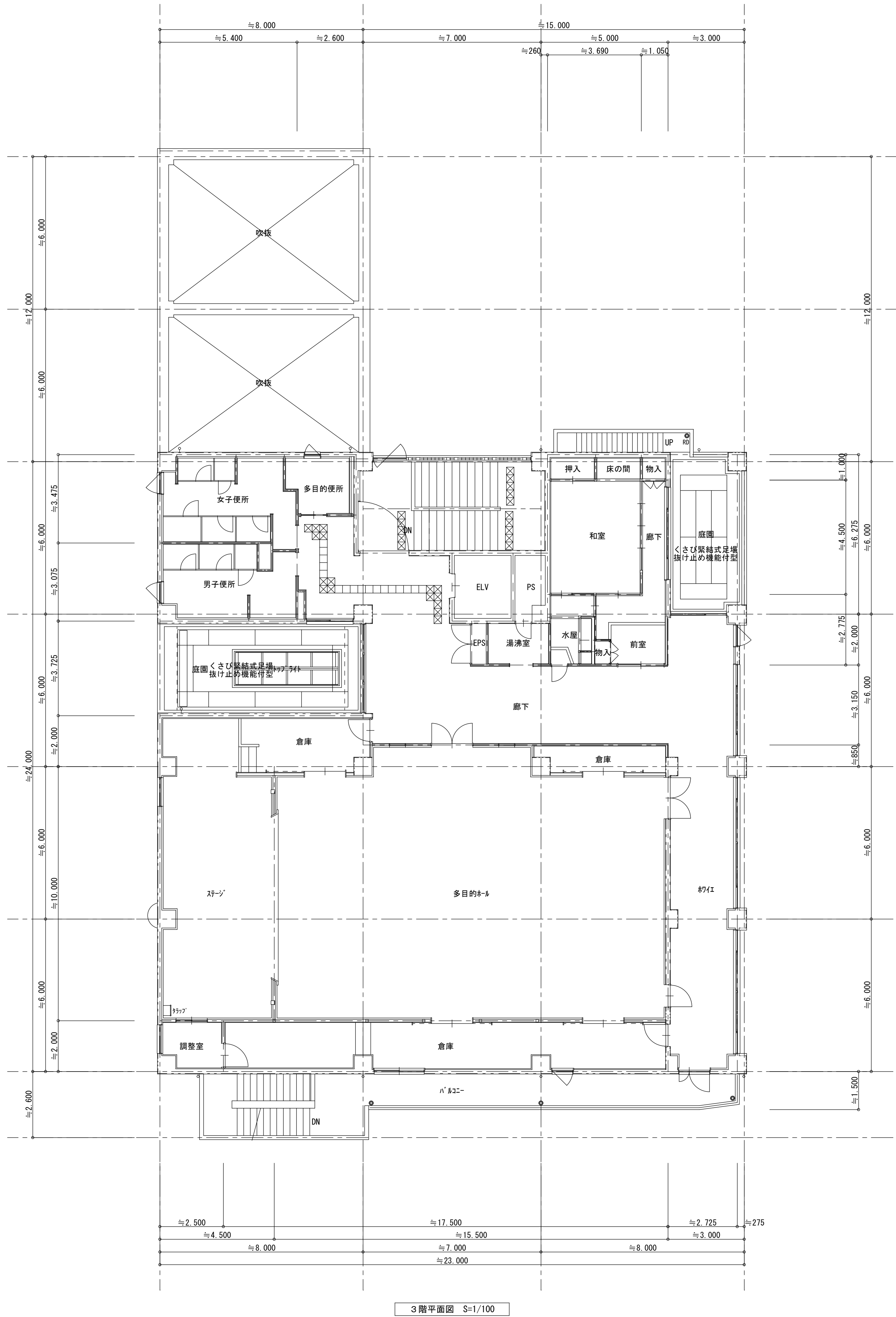
A-31



外構図 S=1/100

摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 設計年月日 2025/03/14 変更年月日	承認	担当	製図	工 事 名 称	市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号	
						図 面 名 称			縮尺
						外 構 図（既存）			
		N. S	T. S	T. S			A-32		





環境記録（グリーン）改修工事

1アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項

1本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査

・行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定

・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示

適 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 （各処理作業ごと）	備考
Ⅱ-Ⅰ	Ⅱ-Ⅱ	Ⅱ-Ⅲ					
・	・	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点 ・ 各3点	
・	・	・	測定 2		施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定 3		処理作業室内	各2点	
・	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティー ゾーン入口	各1点	空気の流れ を確認
・	・	・	測定 5		負圧・除じん装置の排出口 （処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置 の性能確認
・	・	・	測定 6		施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定 7	処理作業後 （隔離シート 撤去前）	処理作業室内	各2点 （Ⅱ-Ⅱ、Ⅲは1点）	
・	・	・	測定 8		施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定 9	処理作業後 （シート撤去後 1週間以降）	処理作業室内	各2点 （Ⅱ-Ⅱ、Ⅲは1点）	
・	・	・	測定 10		施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法―第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレン径の直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ と直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア 測定結果

イ 測定時間

ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）

エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ マウンティング方法

カ 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4アスベスト含有吹付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去

・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

5アスベスト含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去

・行う

作業上の隔離

・行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

6アスベスト含有成形板類の撤去（レベル3）

1アスベスト含有成形板の除去

・行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去

・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・ 撤去範囲すべて
		※ 図示 ・ 撤去範囲すべて
		※ 図示 ・ 撤去範囲すべて
		※ 図示 ・ 撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

（1）設計図書による調査
① 施工年による調査
② 使用建築材料による調査

可能性あり・不明

（2）現場目視による調査
目視調査（建材の確認）

可能性あり・不明

分析を実施しない場合

石綿含有とみなす

分析を実施する場合

（3）分析調査による判定
JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など

石綿含有0.1%を超えていると判断

石綿含有0.1%以下と判断

可能性なし

可能性なし

石綿使用あり・届出要件確認・届出

石綿使用なし

摘要

ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認担当製図

N.S T.S T.S

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

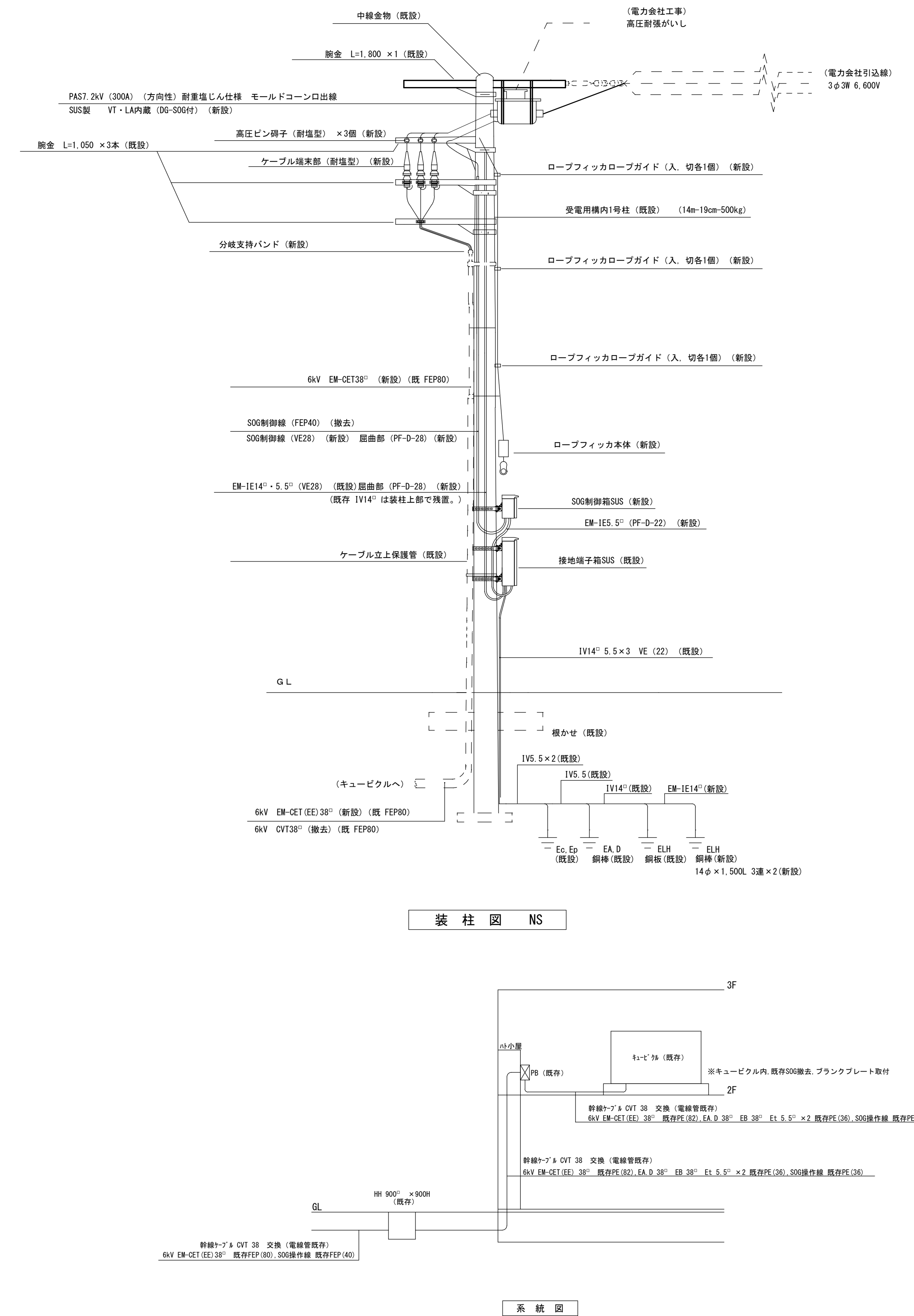
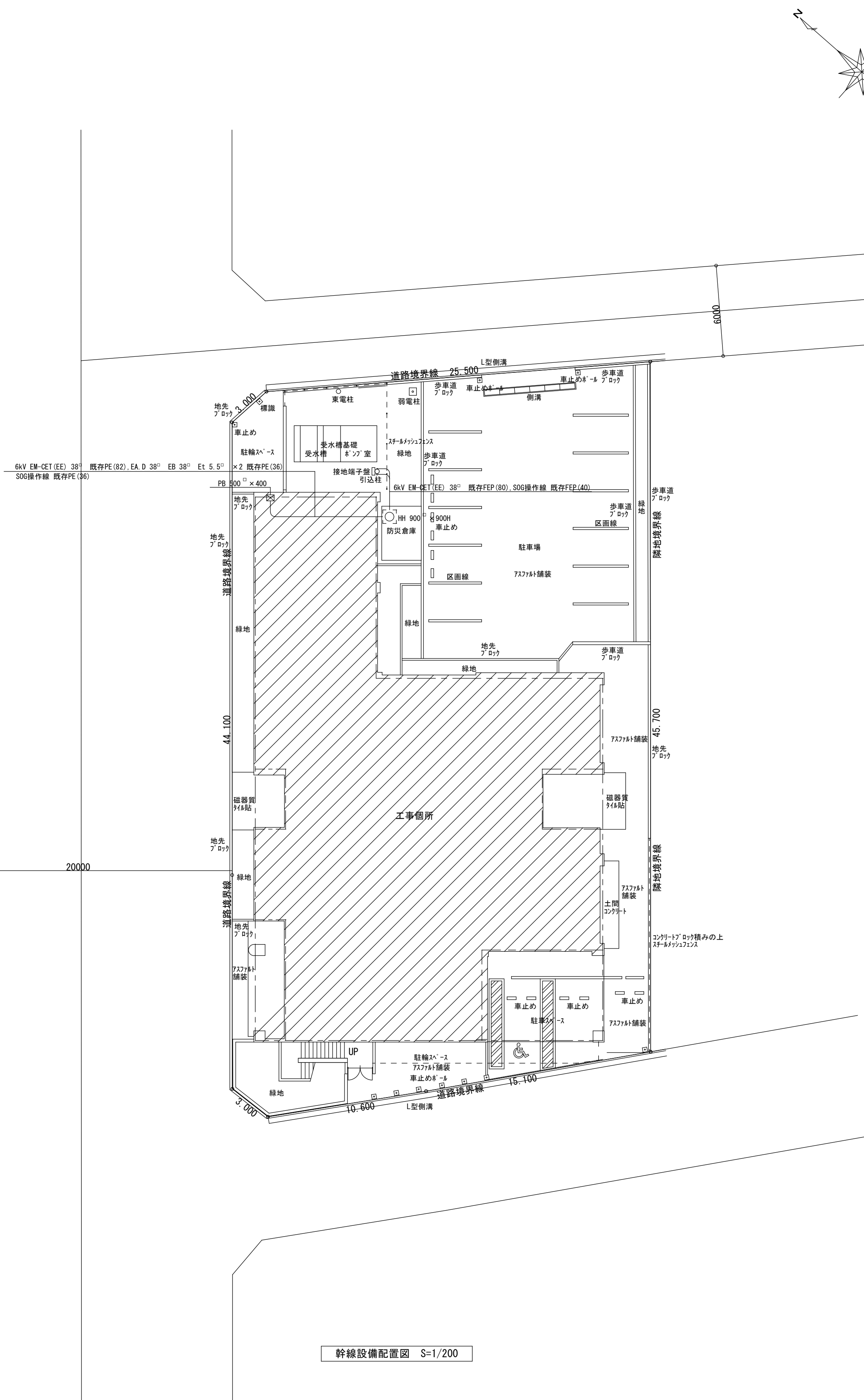
図面名称

電気設備工事特記仕様書（2）

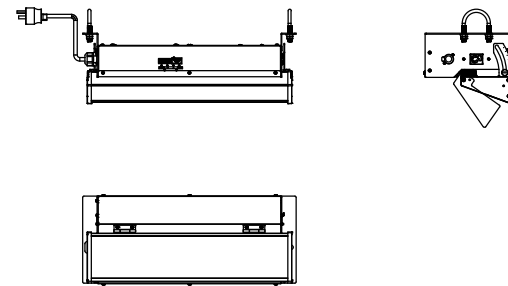
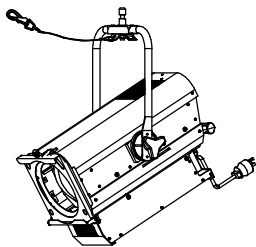
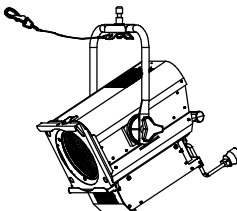
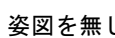
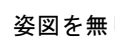
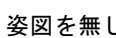
縮尺

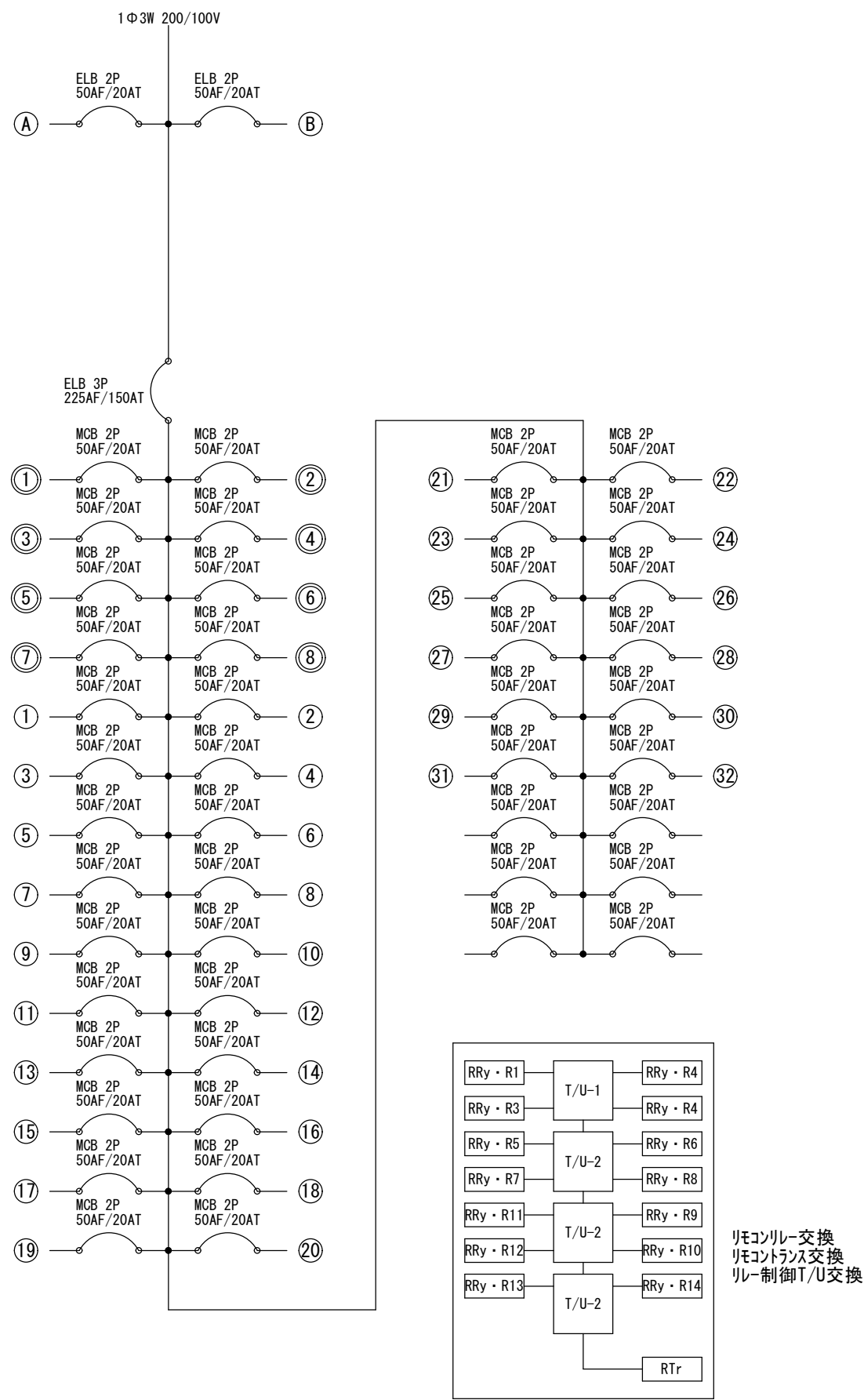
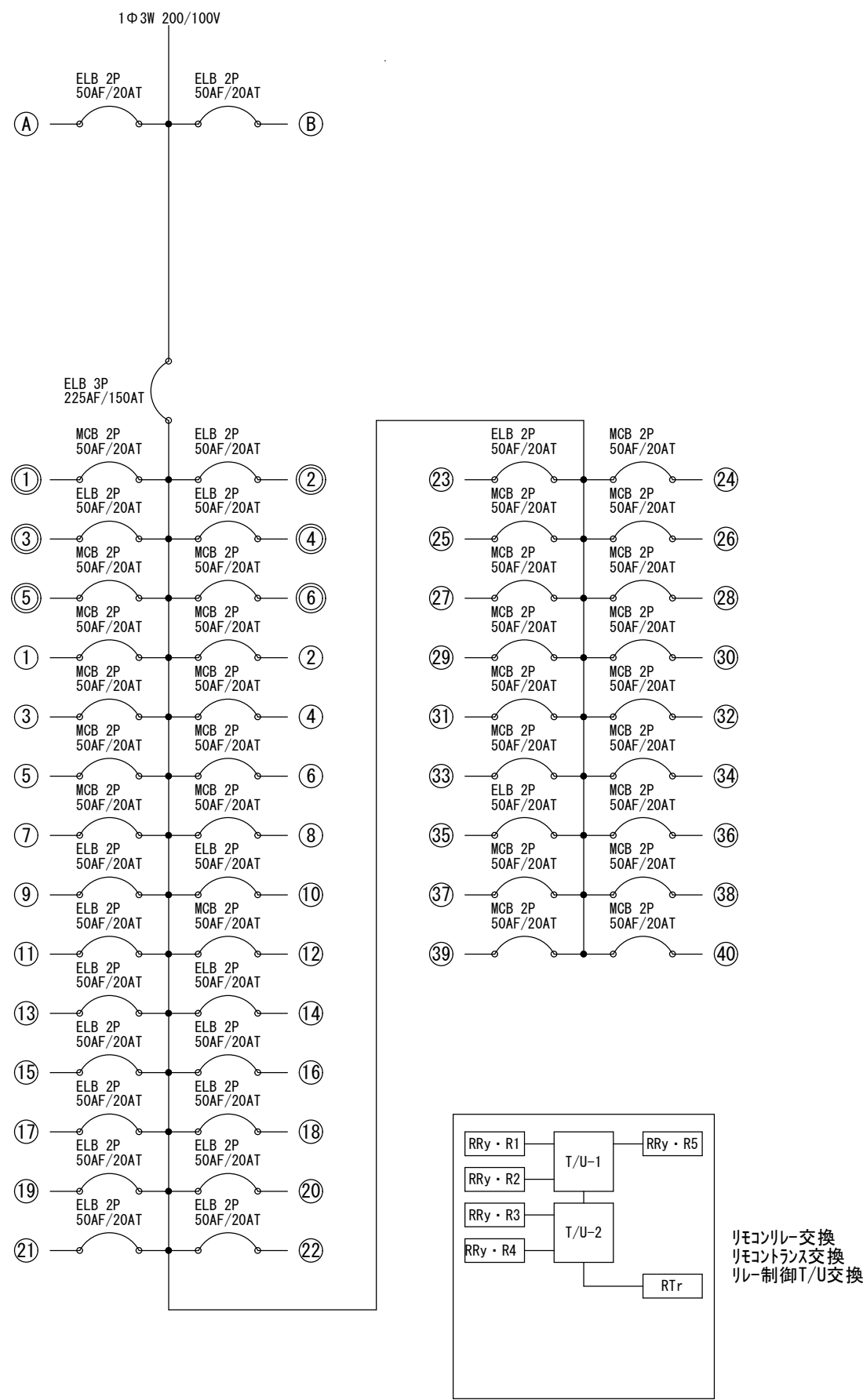
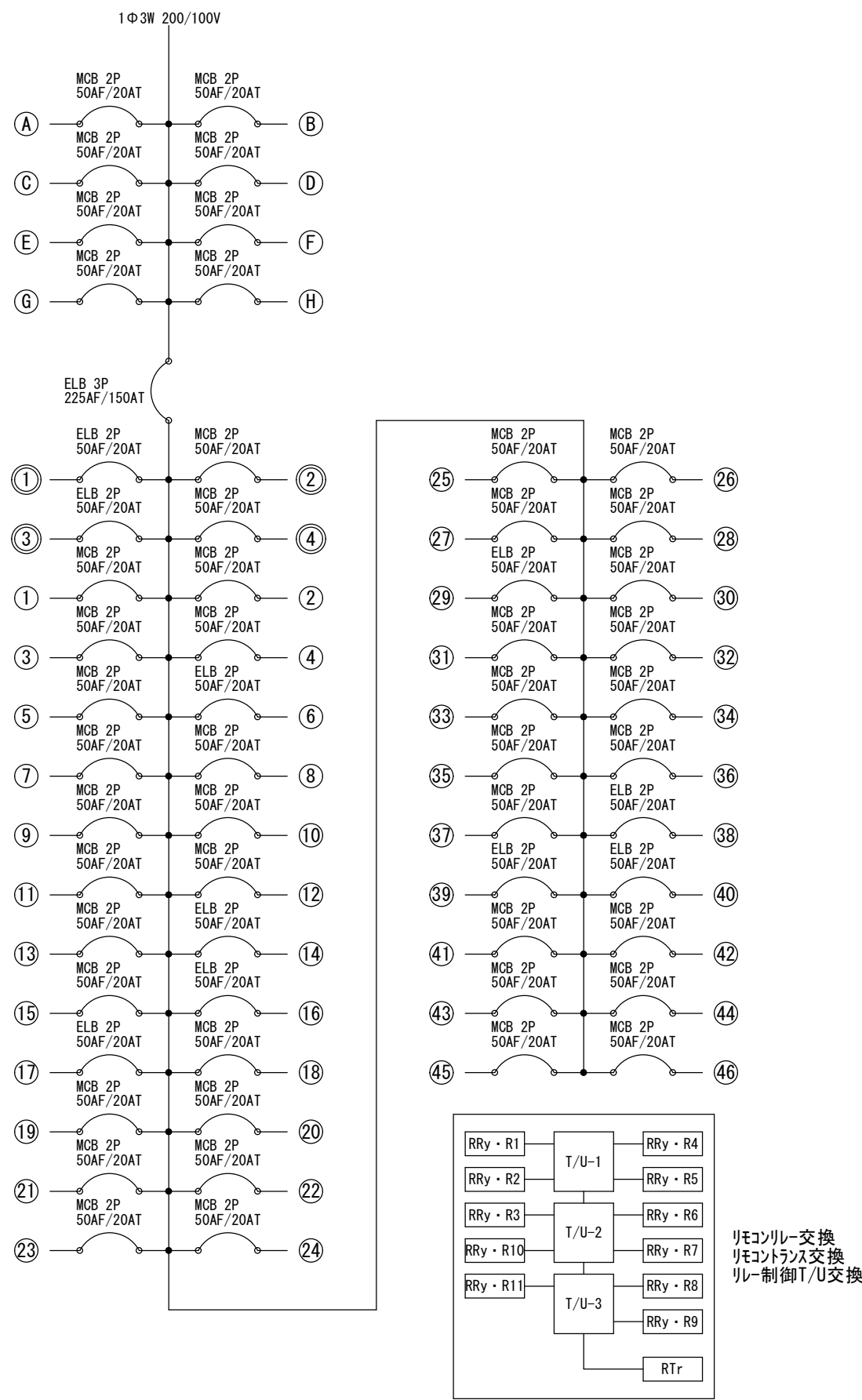
図面番号

E-2



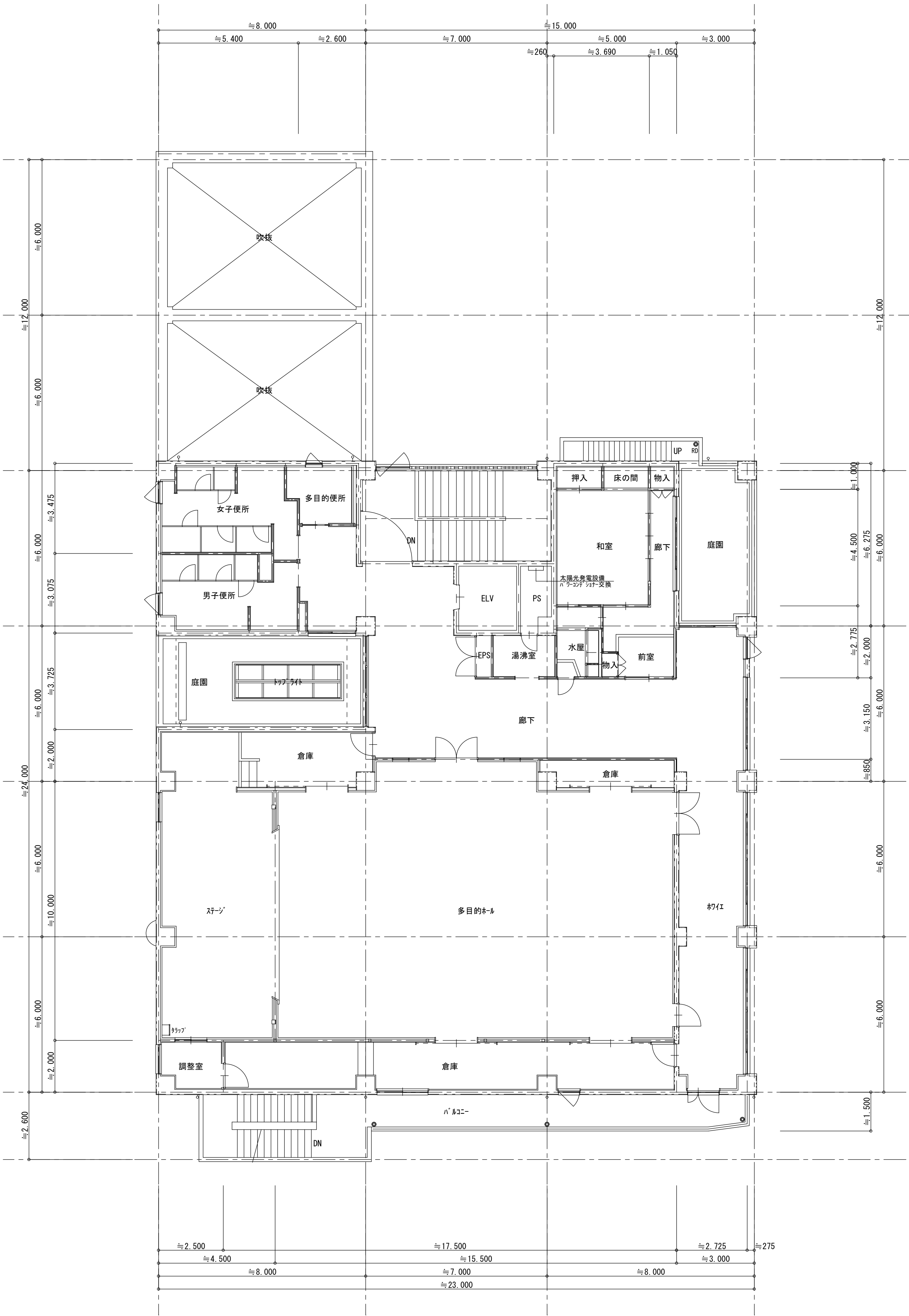
摘要 概要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認担当製図工事名称			市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称	縮尺	E-3
				幹線設備配置図・系統図			S=1/200		

照 明 器 具 姿 図																												
改 修	A	新 設	台 数	4	B	新 設	台 数	4	C	新 設	台 数	8	D		台 数		E		台 数		F		台 数	1	G		台 数	
	型 式	LED7ツパﾊﾞｰﾚｼﾞﾝｸﾞﾝﾄﾗｲﾄ			型 式	LED500形凸ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ			型 式	LED500形ﾌﾗﾓﾚｽｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ			型 式				型 式				型 式				型 式			
	仕 様	ﾊｰｽﾏｲﾌﾞ			仕 様	平凸ﾚﾝｽ 調光			仕 様	ﾌﾗﾓﾚﾝｽ 調光			仕 様				仕 様				仕 様				仕 様			
	器具光束	RGBw			器具光束	3050k, Ra95 (500W 6型ndﾎﾞﾝｸﾞﾝ1灯相当)			器具光束	3050k, Ra95 (500W 6型ndﾎﾞﾝｸﾞﾝ1灯相当)			器具光束				器具光束				器具光束				器具光束			
	 参考（ﾊﾞﾅﾐﾅｸﾞ電工）：NNQ36110L				 参考（ﾊﾞﾅﾐﾅｸﾞ電工）：NNQ30221Z				 参考（ﾊﾞﾅﾐﾅｸﾞ電工）：NNQ30222Z																			
既 存	A	撤 去	台 数	4	B	撤 去	台 数	4	C	撤 去	台 数	8			台 数				台 数			新 設	台 数				台 数	
	型 式	7ツﾊﾞｰﾚｼﾞﾝｸﾞﾝﾄﾗｲﾄ			型 式	平凸ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ			型 式	ﾌﾗﾓﾚｽｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ			型 式				型 式				型 式				型 式			
	仕 様				仕 様	平凸ﾚﾝｽ			仕 様	ﾌﾗﾓﾚﾝｽ			仕 様				仕 様				仕 様				仕 様			
	ラ ン プ	85W5ﾋﾞﾝｳﾞﾝｸﾞﾝ×12			ラ ン プ	500Wndﾎﾞﾝｸﾞﾝ×1			ラ ン プ	500Wndﾎﾞﾝｸﾞﾝ×1			器具光束				器具光束				器具光束				器具光束			
	 参考（ﾊﾞﾅﾐﾅｸﾞ電工）：NQ36071BZ				 参考（ﾊﾞﾅﾐﾅｸﾞ電工）：NNQ30225BK				 参考（ﾊﾞﾅﾐﾅｸﾞ電工）：NNQ30226BK																			

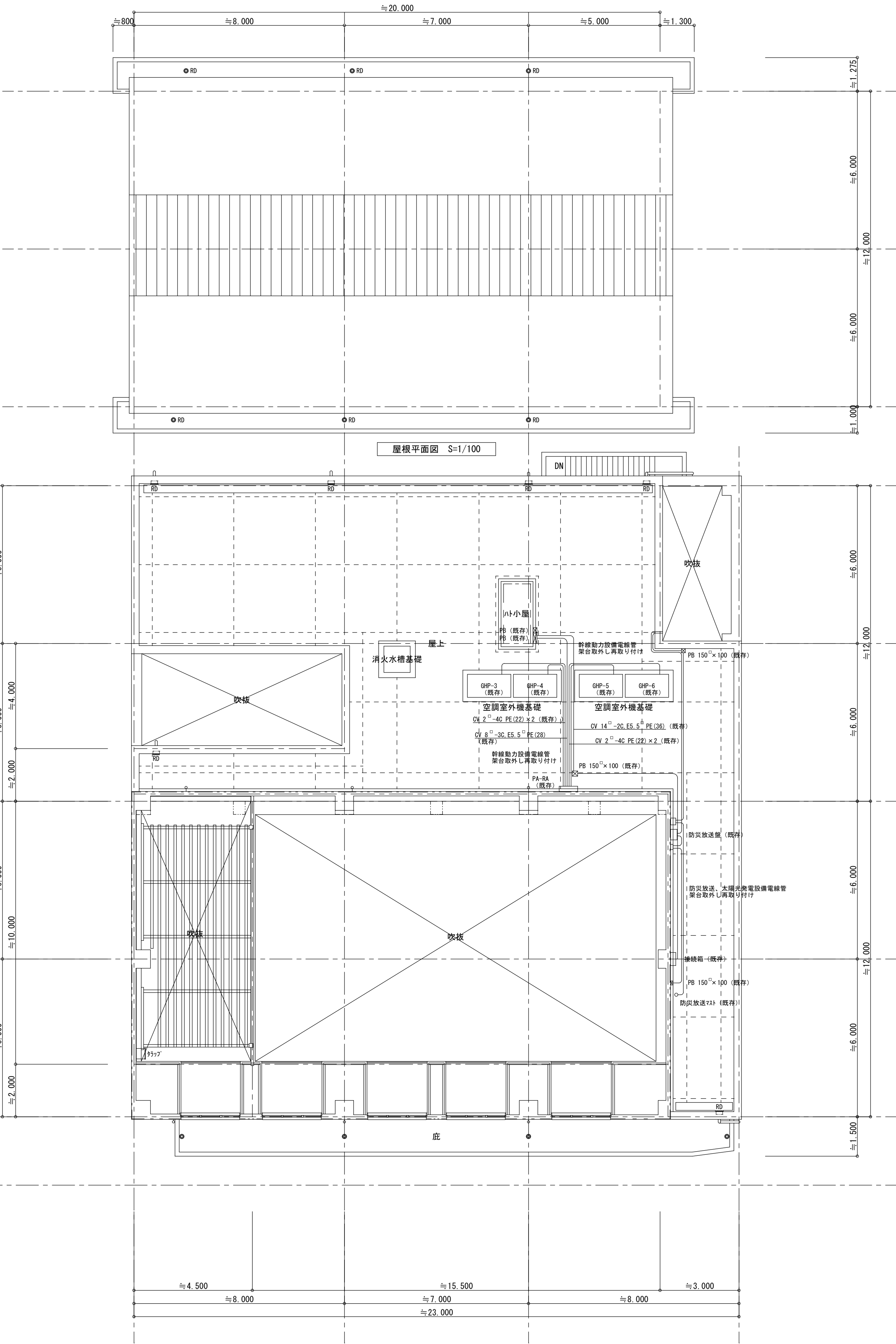




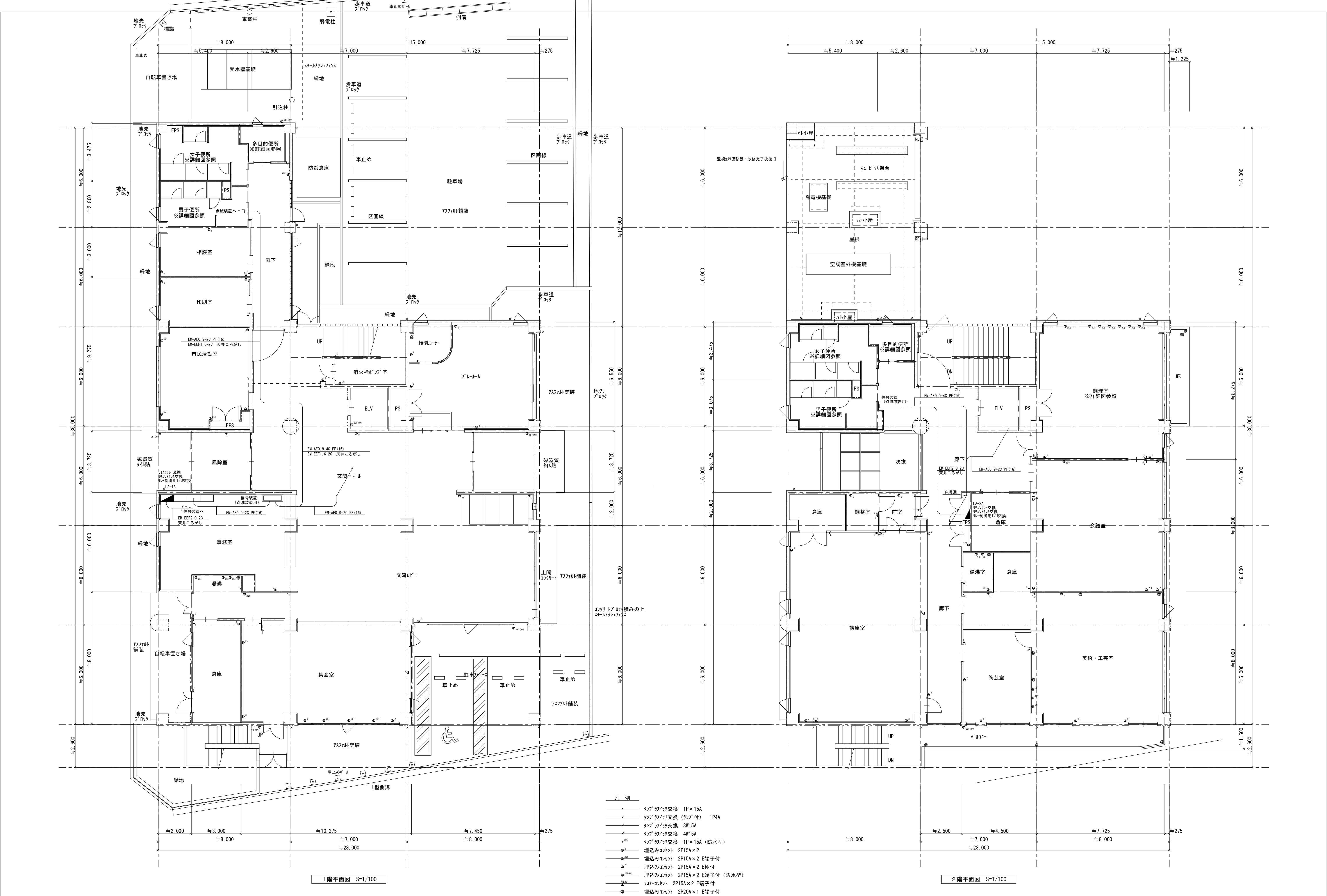
摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆	設計年月日 2025/03/14	承認 N.S.	担当 T.S.	製図 T.S.	工 事 名 称 市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事	図面番号 E-5
		変更年月日				図 面 名 称 1・2階幹線動力設備平面図	縮尺 S=1/100

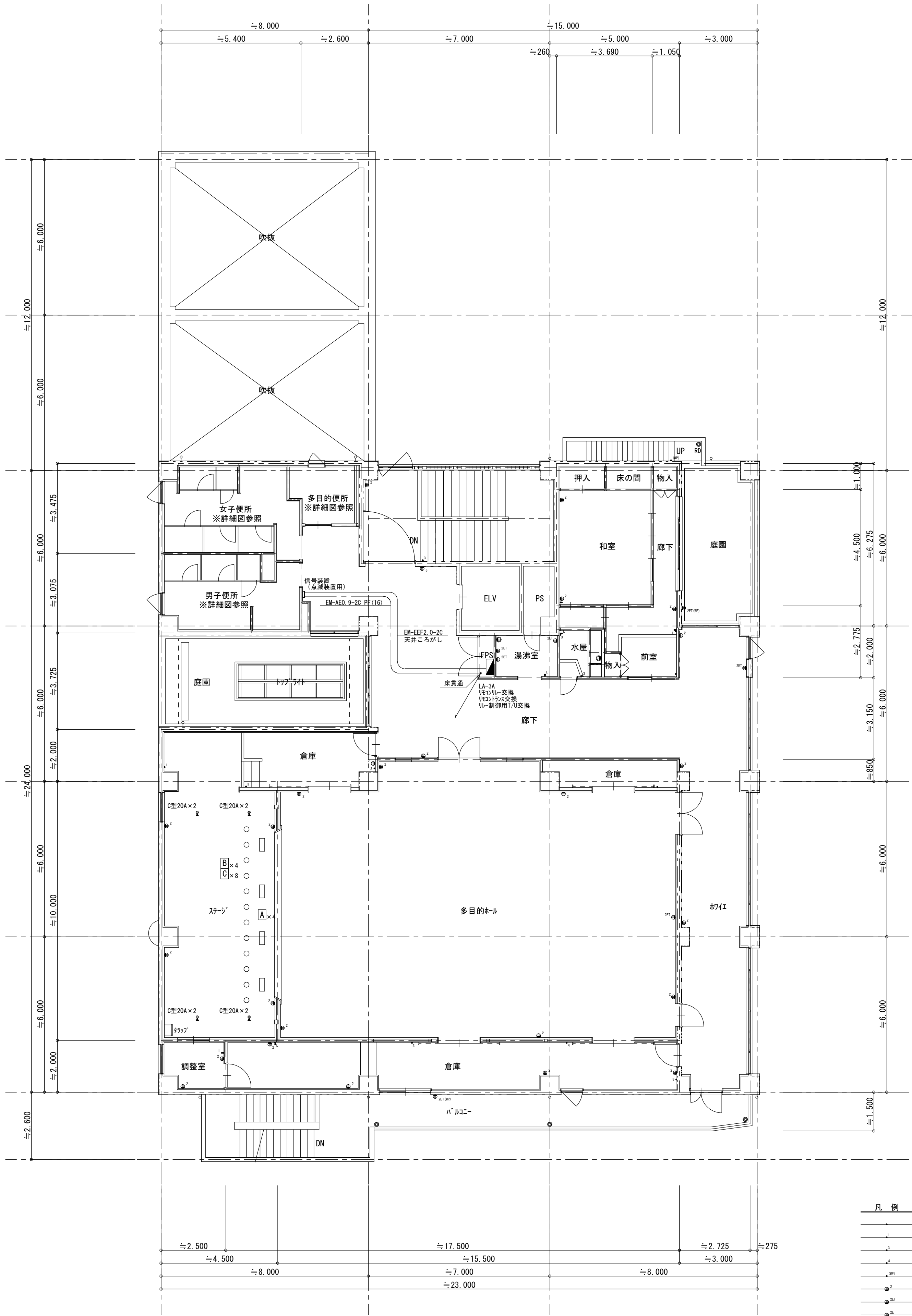


3 階平面図 S=1/100



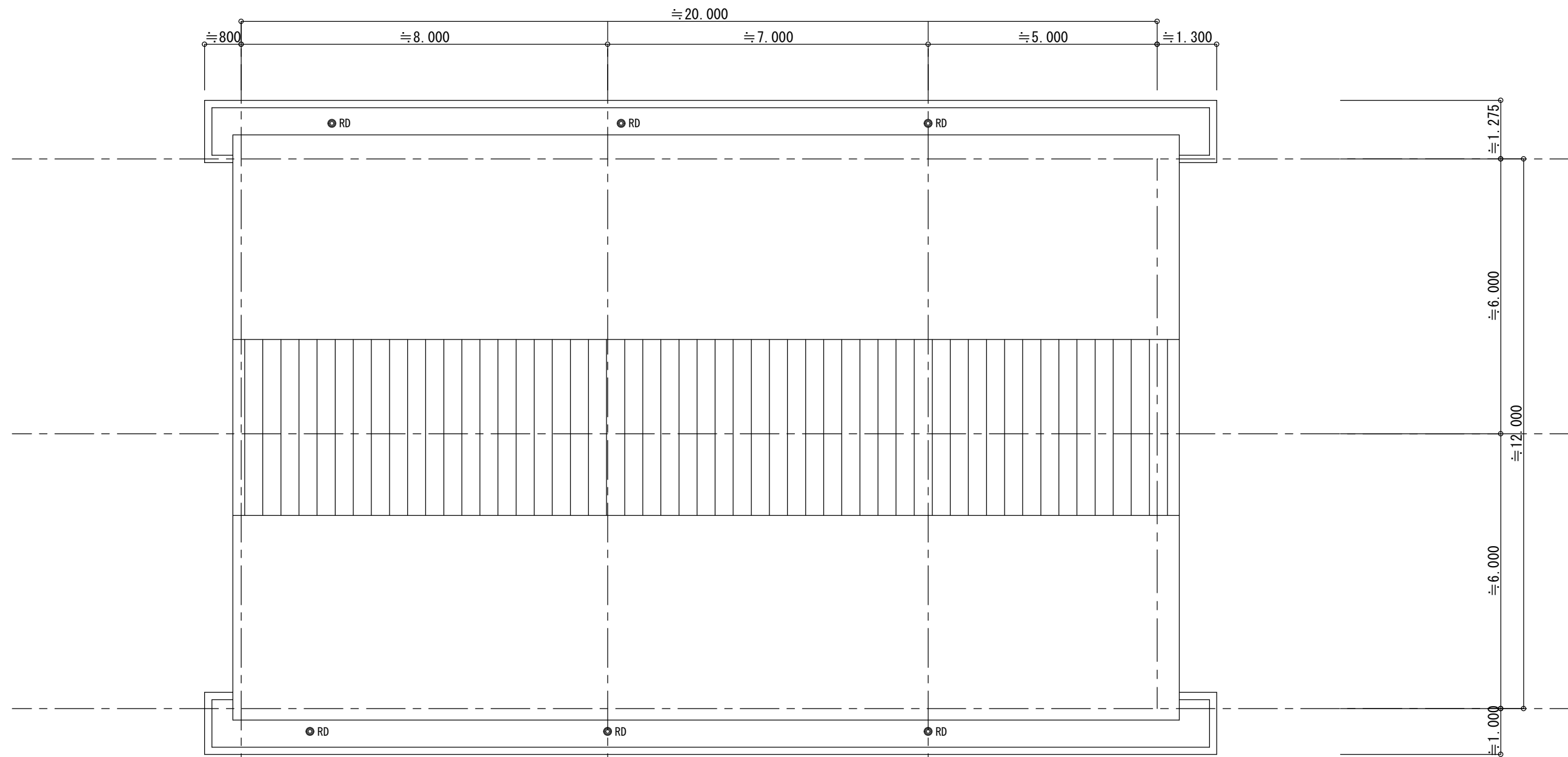
R 階平面図 S=1/100



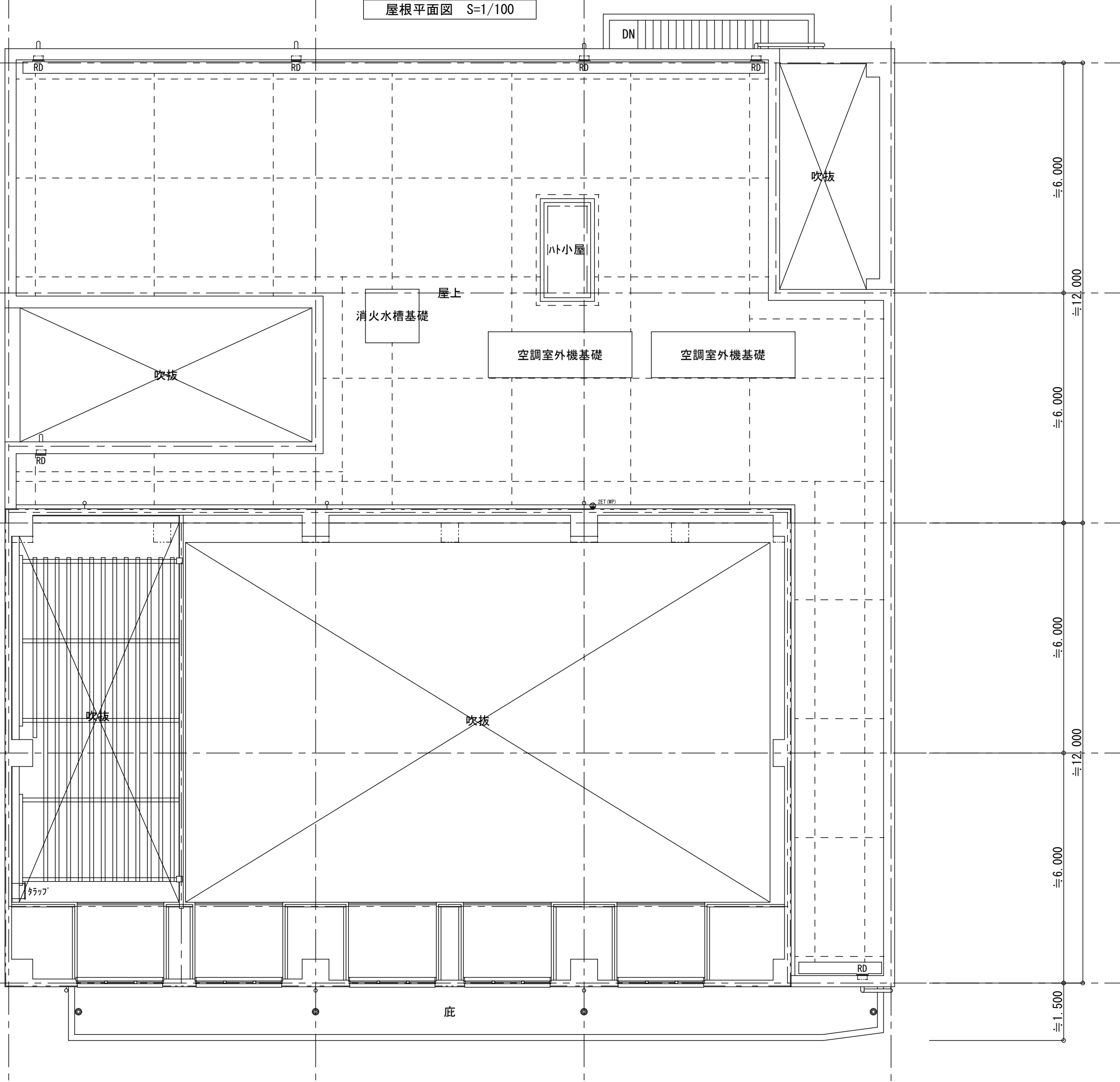


3 階平面図 S=1/100

- 凡 例
- ランプスイッチ交換 1P×15A
 - ランプスイッチ交換 (ランプ付) 1P4A
 - ランプスイッチ交換 3W15A
 - ランプスイッチ交換 4W15A
 - ランプスイッチ交換 1P×15A (防水型)
 - 埋込みコンセント 2P15A×2
 - 埋込みコンセント 2P15A×2 E端子付
 - 埋込みコンセント 2P15A×2 E極付
 - 埋込みコンセント 2P15A×2 E端子付 (防水型)
 - フロアコンセント 2P15A×2 E端子付
 - 埋込みコンセント 2P20A×1 E端子付



屋根平面図 S=1/100



R 階平面図 S=1/100

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認

担当

製図

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

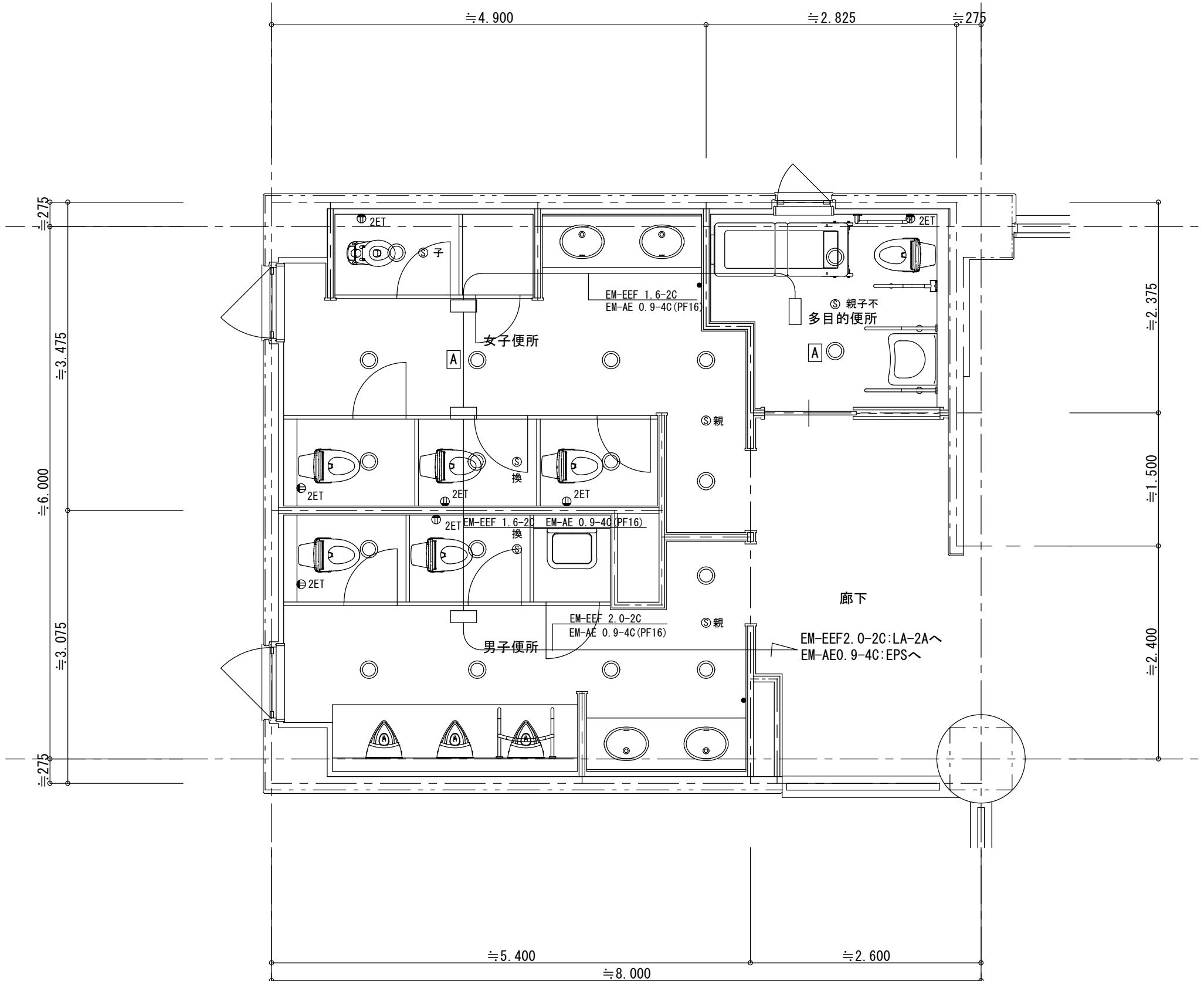
図面名称

3・R階電灯コンセント設備平面図

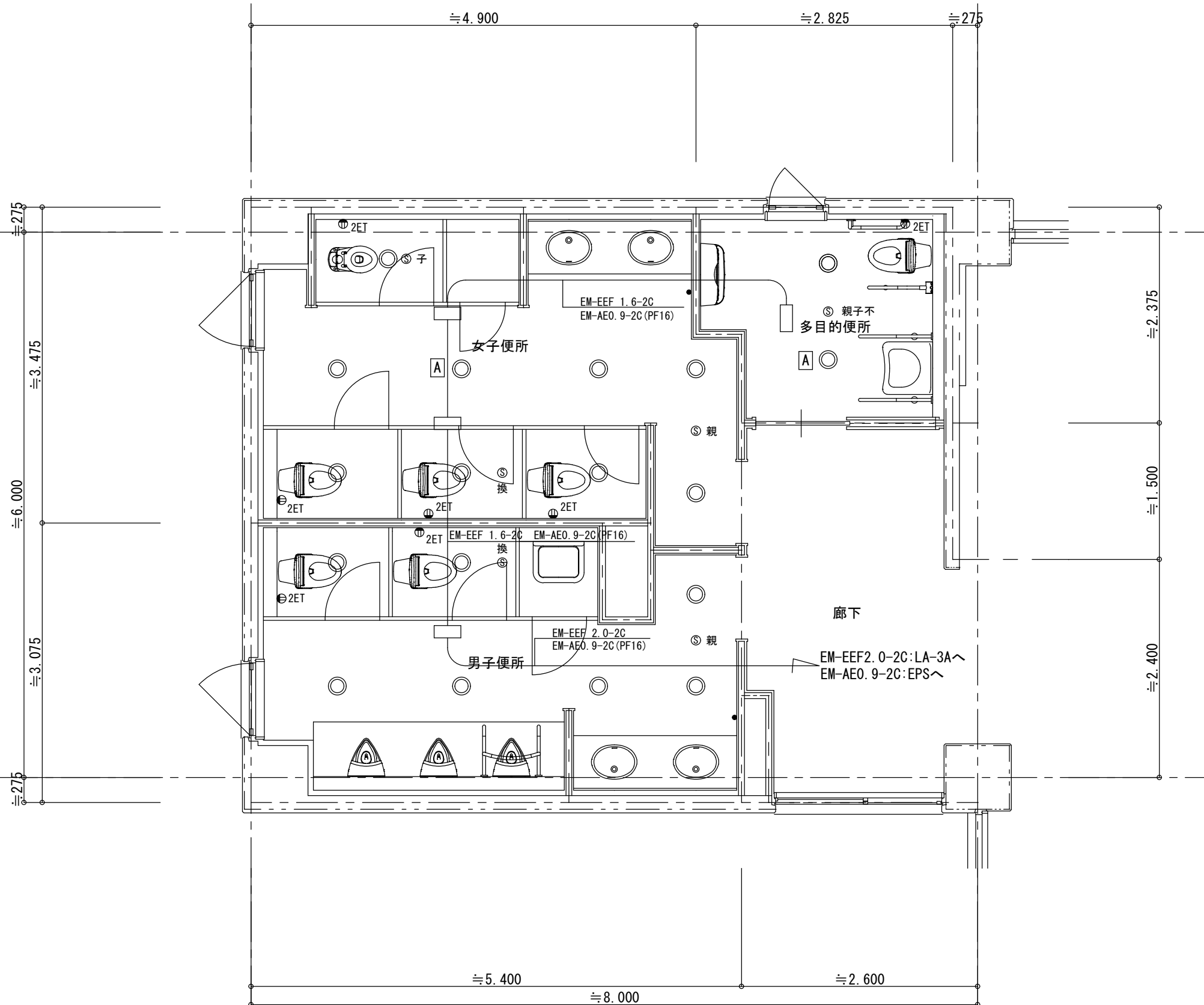
縮尺
S=1/100

図面番号

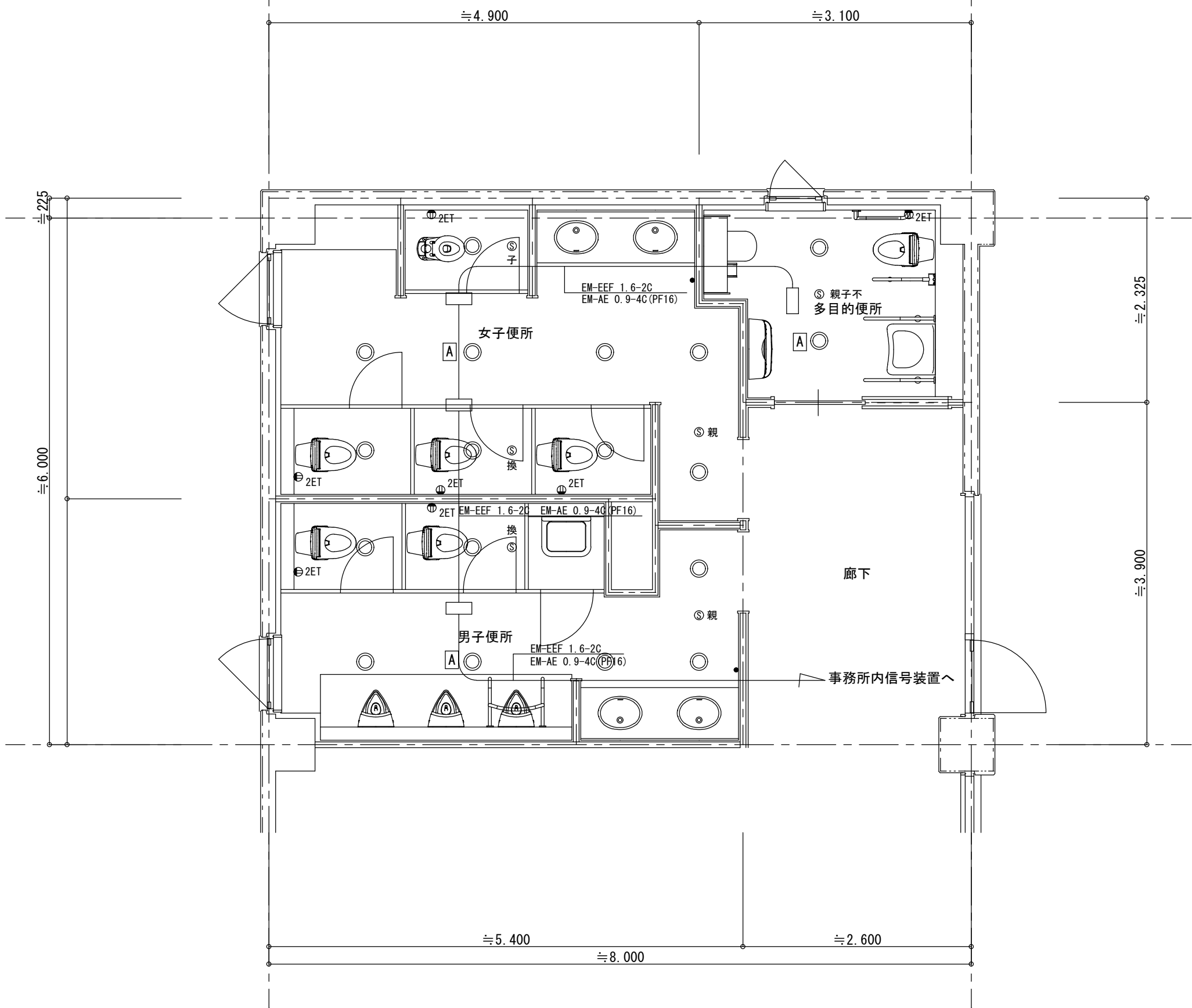
E-8



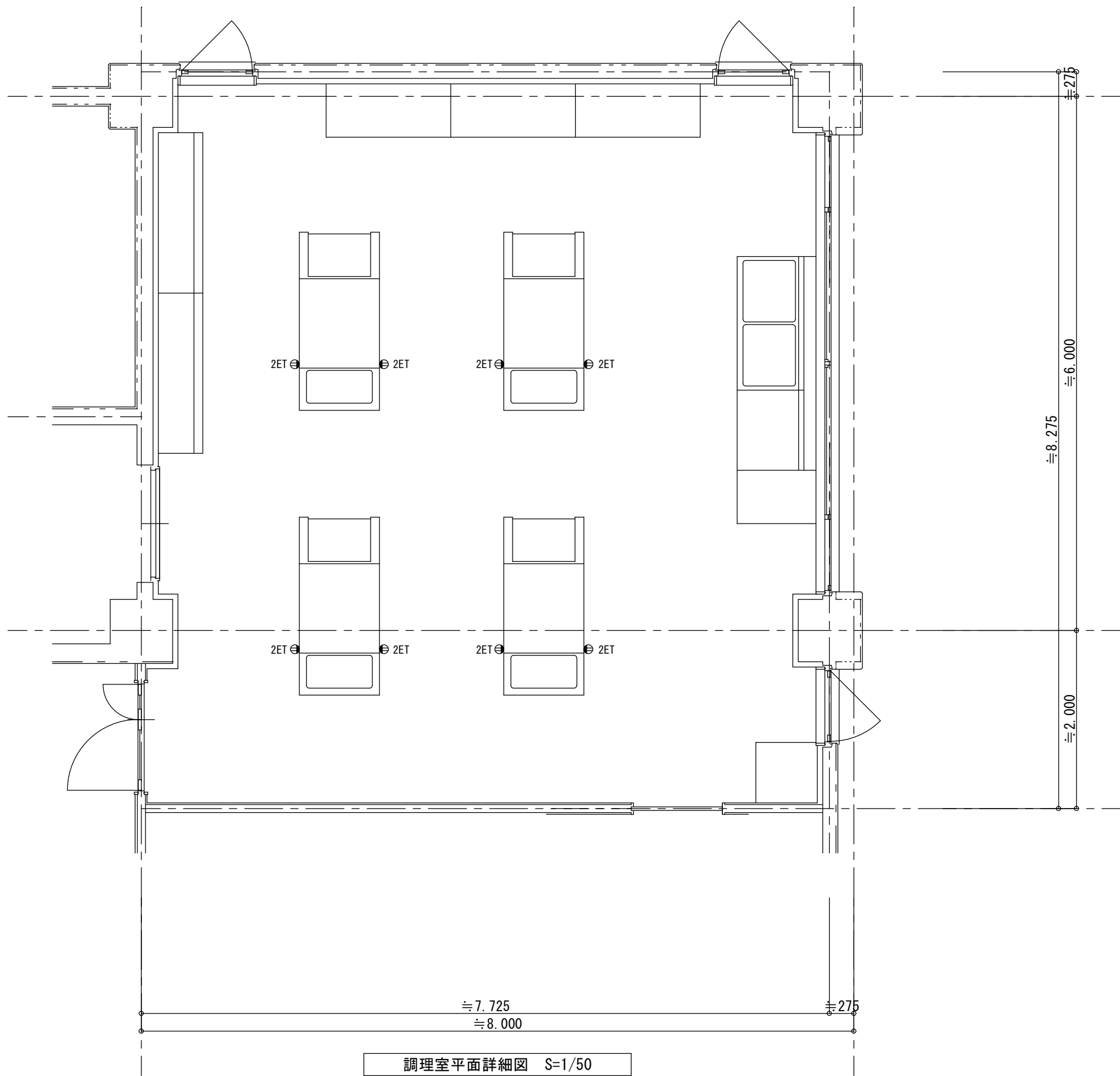
2階便所平面詳細図 S=1/50



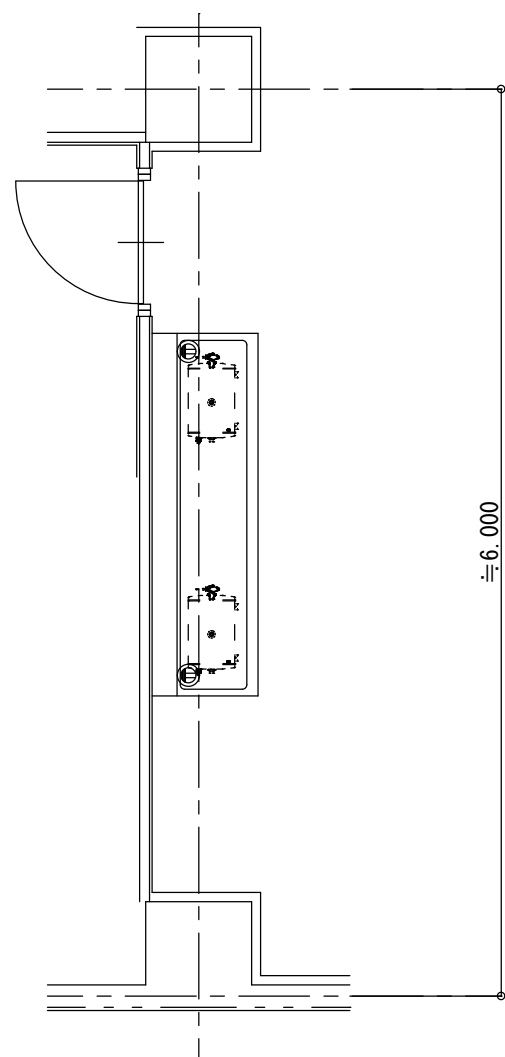
3階便所平面詳細図 S=1/50



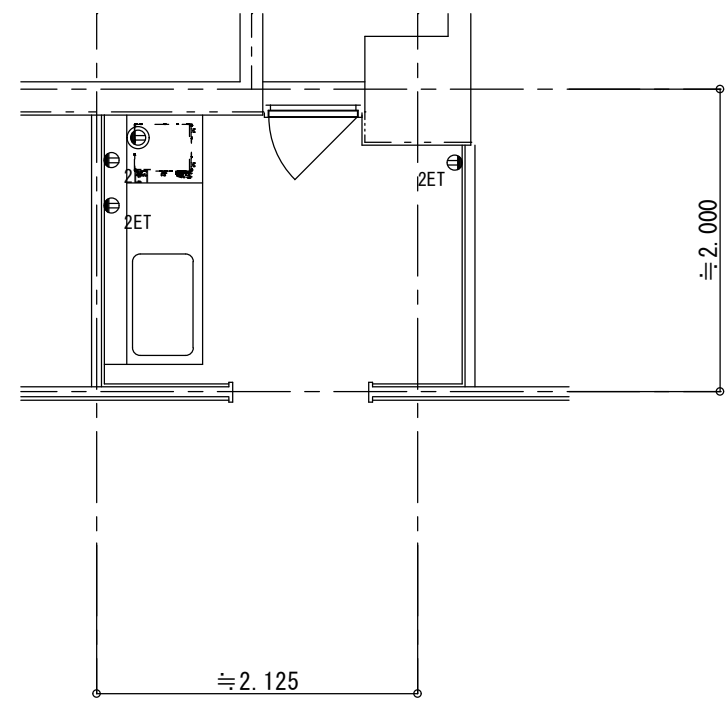
1階便所平面詳細図 S=1/50



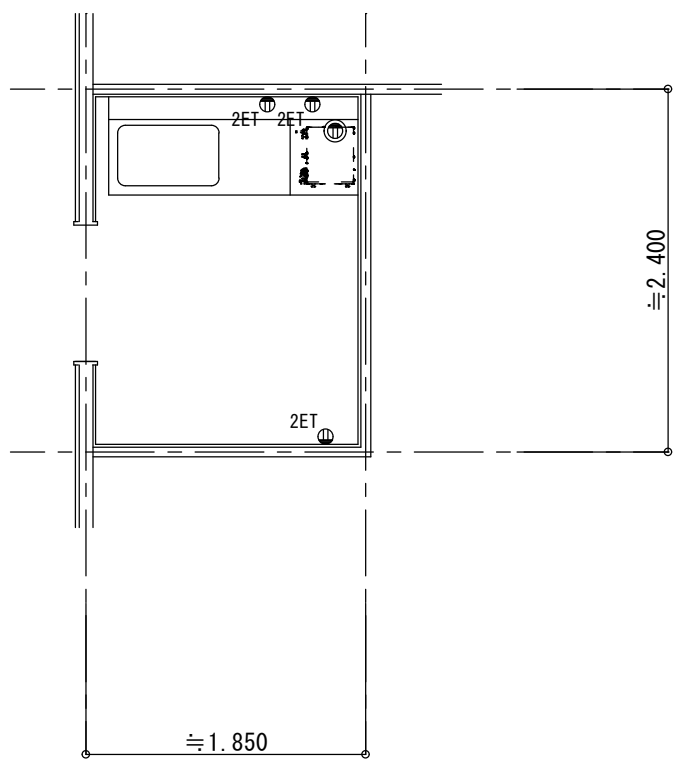
調理室平面詳細図 S=1/50



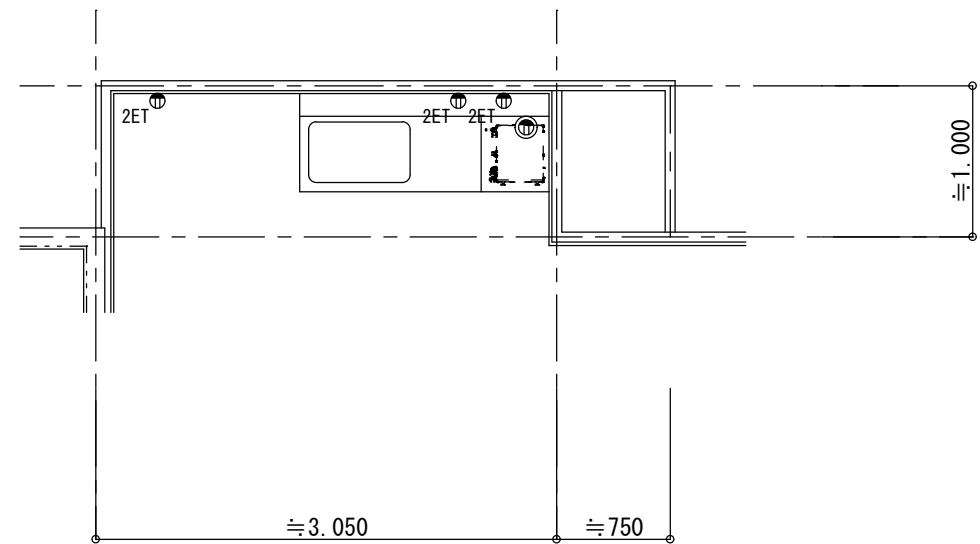
美術・工芸室平面詳細図 S=1/50



3階湯沸室平面詳細図 S=1/50



2階湯沸室平面詳細図 S=1/50



1階湯沸室平面詳細図 S=1/50

凡 例

- [A] 照明器具取外し再取り付け
- ⑤ 親 人感わが交換 親機
- ⑤ 子 人感わが交換 子機
- ⑤ 親子不 人感わが交換 親機（子機接続不可）
- ⑤ 換 人感わが交換 換気扇端子付
- [] 点滅装置
- [] 信号装置
- ｼﾝｸﾞﾙｼﾌﾄ交換
- ⑤ ZET 埋め込みｺﾝﾈｸﾄ交換

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認

担当

製図

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

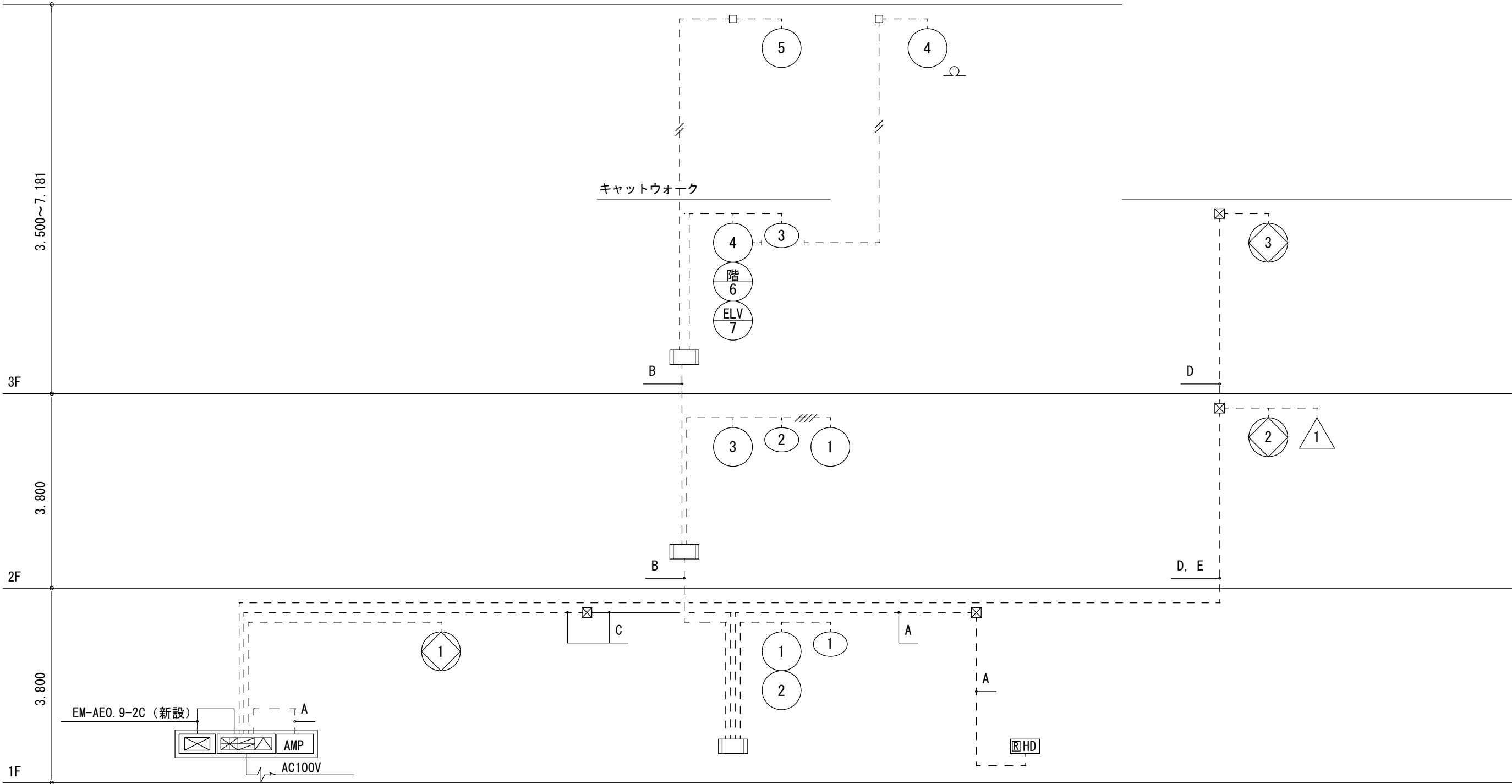
図面名称

電灯ｺﾝﾈｸﾄ設備詳細図

縮尺
S=1/50

図面番号

E-9



設備系統図

配管配線内訳表

記号	配管配線内訳
A	HP0. 9- 5P (PF22)
B	HP0. 9- 10P (PF28)
C	HP0. 9- 15P (PF28)
D	HP1. 2- 3P (PF22)
E	AE0. 9- 4C (PF16)
・2重天井内はケーブル配線とする。	

凡 例	
記 号	名 称
	GP型複合壁
	放 送 ア ン プ
	機 器 収 容 箱
	P 型 発 信 機
	表 示 灯
	終 端 抵 抗
	光 電 式 ス ポ ッ ト 型 感 知 器
	光 電 式 ス ポ ッ ト 型 感 知 器
	光 電 式 ス ポ ッ ト 型 感 知 器
	差 動 式 ス ポ ッ ト 型 感 知 器
	定 温 式 ス ポ ッ ト 型 感 知 器
	定 温 式 ス ポ ッ ト 型 感 知 器
	移 動 器
	消 火 栓 ポ ン プ 制 御 盤
	自 動 閉 鎖 装 置
	自 動 閉 鎖 装 置
	電 子 ブ ザ ー
	検 知 器
	警 戒 区 域 番 号
	警 戒 区 域 番 号
	警 戒 区 域 番 号
	警 戒 区 域 線
	動 作 区 域 番 号
	動 作 区 域 番 号
	警 戒 区 域 番 号
	ケ ー ブ ル 配 線
	配 管 配 線
	配 管 配 線 立 上 げ 引 下 げ
	ジャンクション、プルボックス
	警 報 信 号 装 置

注 記

1. 設備平面図中、※印の付加のGP型複合壁・発信機・表示灯・感知器・消火栓移報器・自動閉鎖装置
ガス漏れ検知器機器を更新する。
尚、電気防災壁・消火栓箱・感知器点検箱は現状のまま使用する。

2. 配管、配線は現状のまま使用する。

3. 更新するGP型複合壁仕様

1) P型1級、壁掛型（既存総合監視盤内組込み）

地固式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵

蓄積式、自動断線警報機能付

ガス漏れ検知器用電源内蔵（DC24V、出力1A）

2) 表示内訳

・火災表示 7L + 10L（予備）= 20L

・防火戸、シャッタ閉鎖表示 3L

・ガス漏れ警報表示（トラブル表示含む） 1L + 9L（予備）= 10L

計 30L

3) 専用感知器回線数 3L

4) 消火栓ポンプ始動表示（1L）は補助窓内に表示する。

5) 諸表示部（5L標準装備）

・消火栓ポンプ故障表示（1L）

・消火栓ポンプ呼水槽減水表示（1L）

6) 移報信号内訳：

・非常放送連動用信号移報（無電圧、a接点）

随別火災信号（3L）

火災確認信号（1L）

・屋外キュービクルへ、消火栓ポンプ起動信号移報（無電圧、a接点）

・警報信号装置（1階～3階トイレ内警報用）へ、火災信号移報（無電圧、a接点）

4. 更新する感知器はすべて確認灯付とする。

3. 火災時の地区警報は、現状と同様に非常放送設備と連動しスピーカからの音声警報にて行う。

感知器発報放送……感知器作動時

火災放送 ……発信機作動時

4. 防火防排烟制御方式

・防火戸・シャッタは、専用感知器連動とする。

5. 電子ブザーはシャッタ降下時に鳴動し、降下後停止する。

〔シャッタ内にブザー鳴動停止用リミットスイッチ（b接点）を設ける。

……建築（シャッタ）工事〕

6. 特記なき、配管配線は下記に示す。

AE0. 9- 2C (PF16)

AE0. 9- 4C (PF16)

HP1. 2- 3C (PF16)

〔AE：警報用ケーブル〕

〔HP：耐熱ケーブル〕

〔ケーブル配線に於いて、2重天井部分はケーブル配線とし 壁貫通及び、立上げ・引下げ部分は

配管保護の事。〕

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認

担当

製図

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

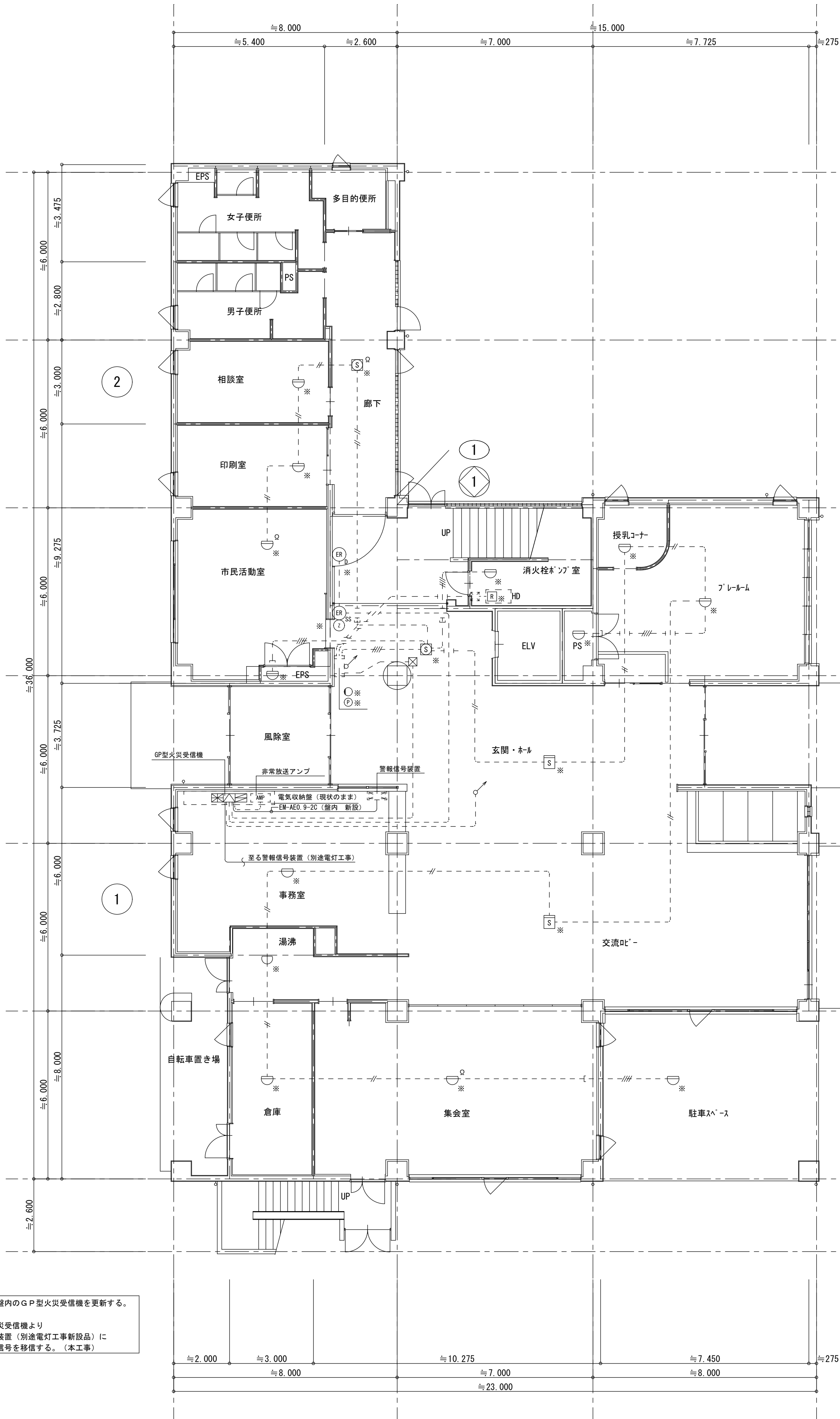
図面名称

自動火災報知設備 系統図

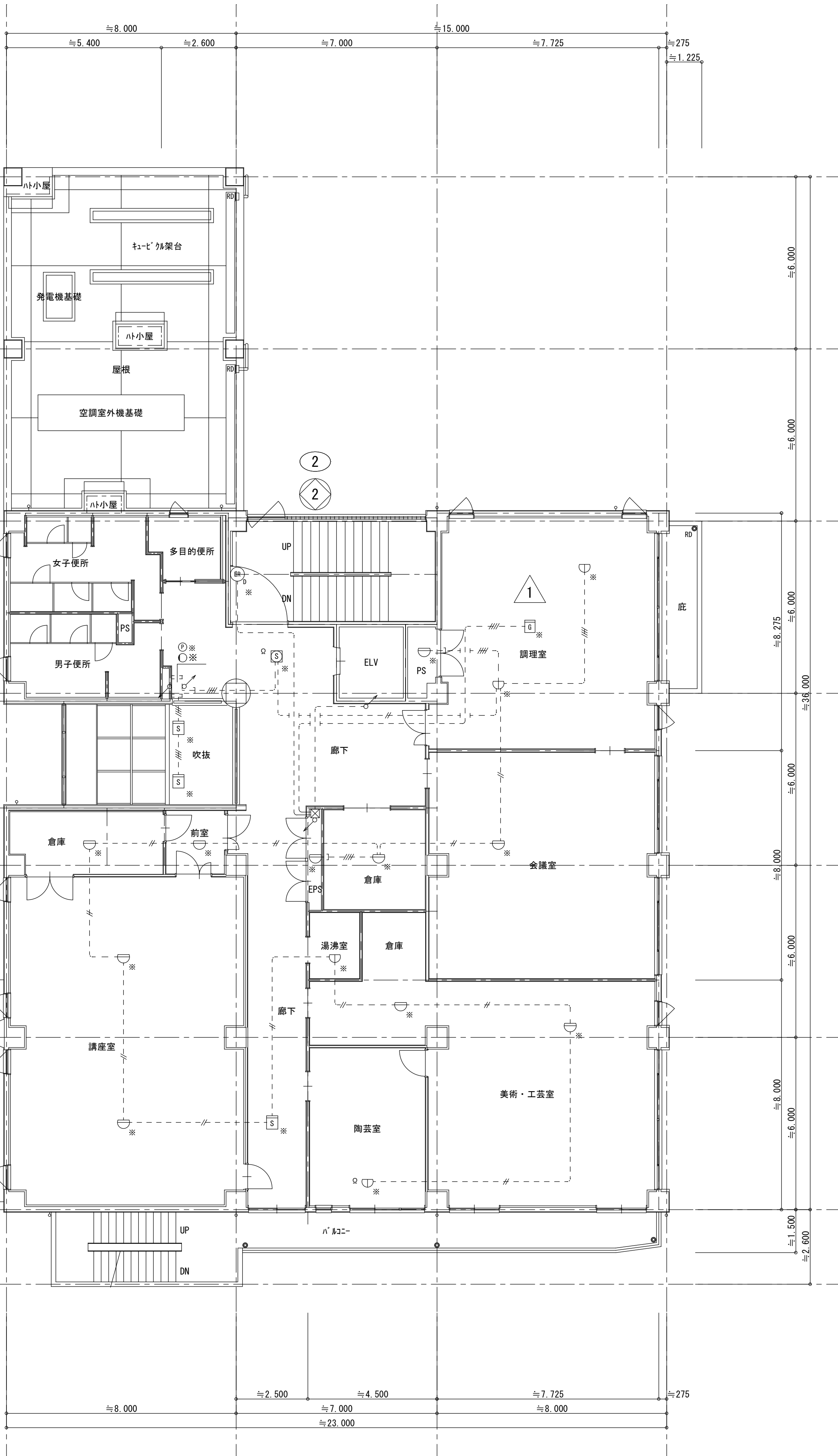
縮尺

図面番号

E-10



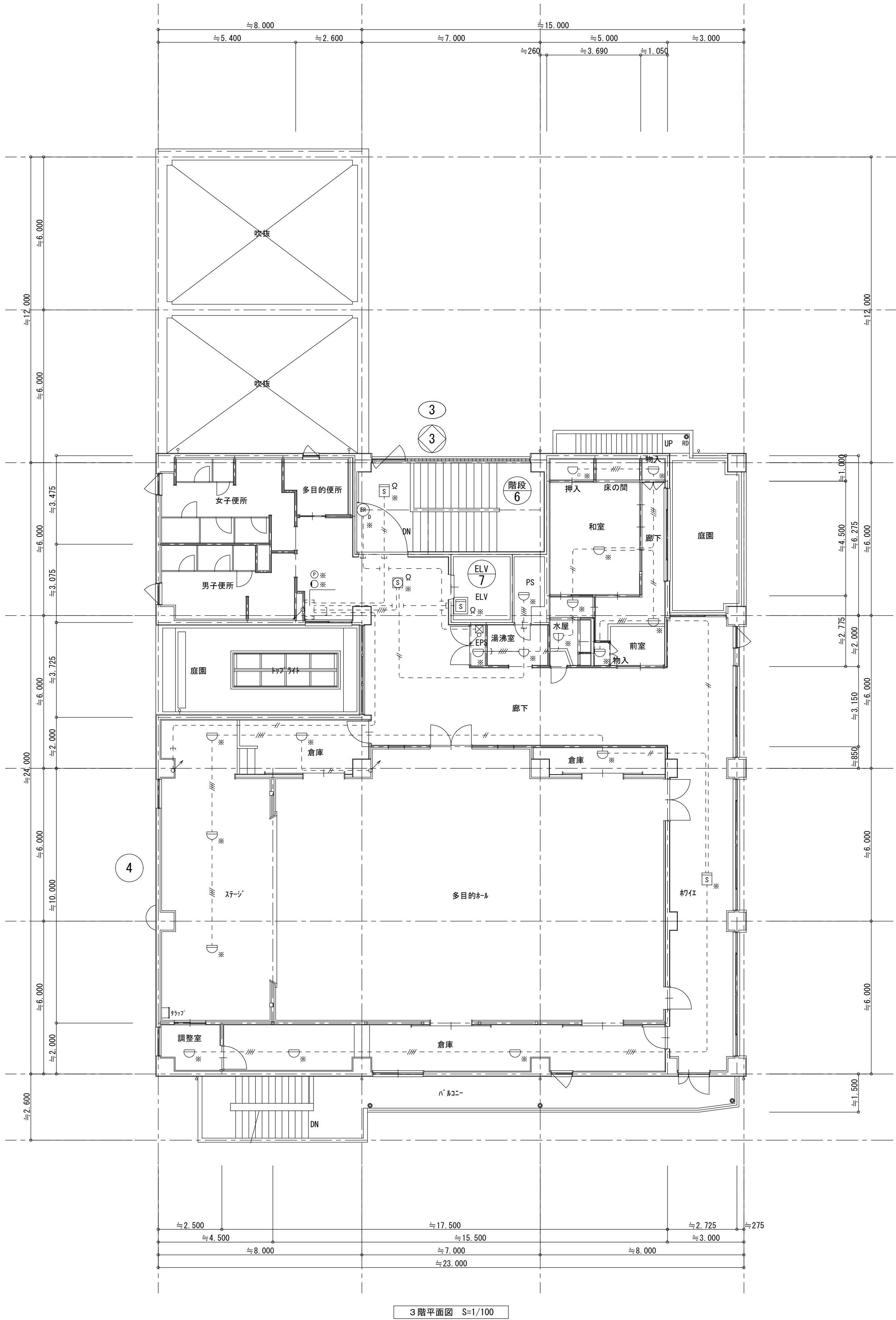
1 階平面図 S=1/100



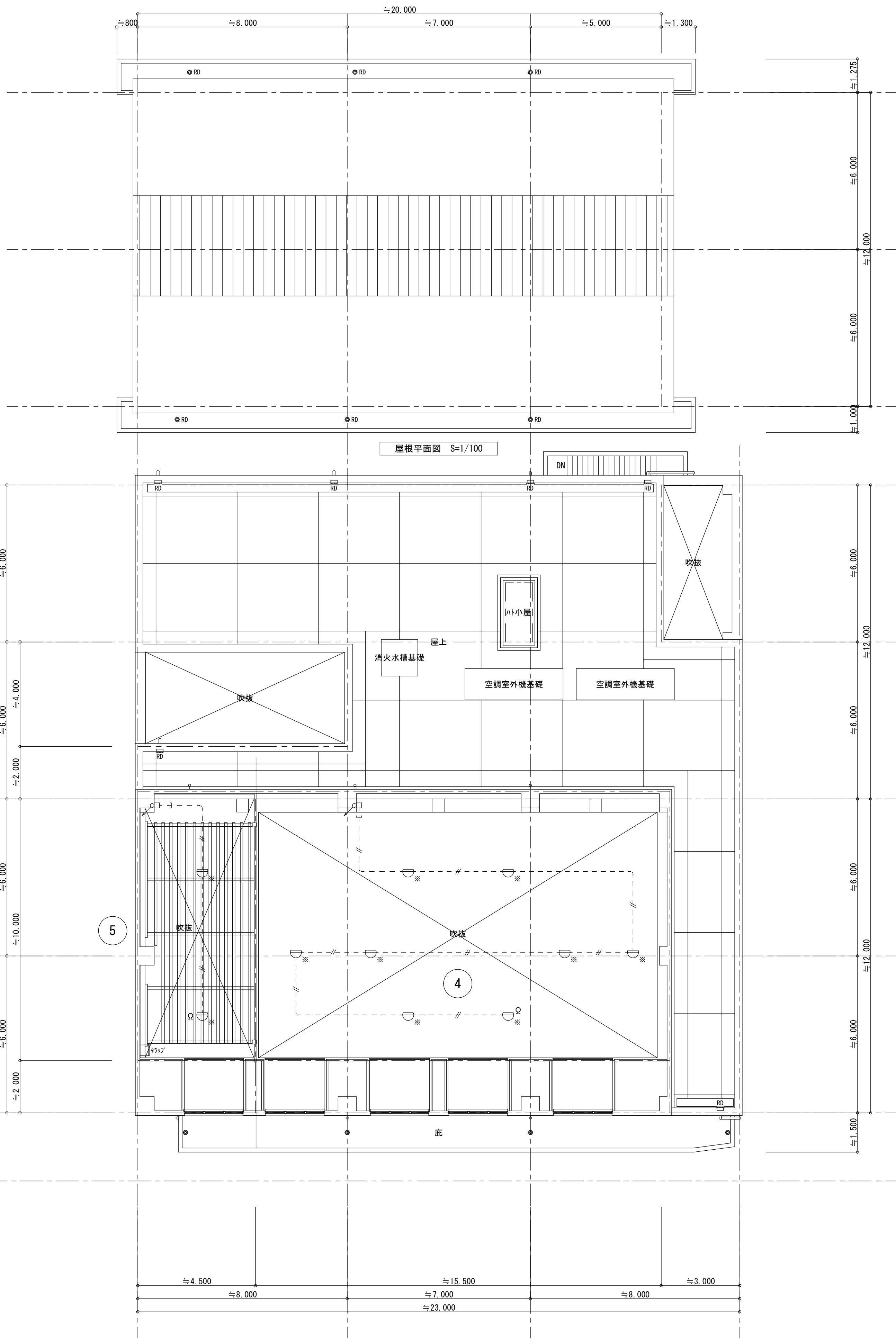
2 階平面図 S=1/100

注 記
1) ※印の付加の機器 (GP 型複合盤・発電機・表示灯・感知器・消火栓移報器・自動閉鎖装置・ガス漏れ検知器) の更新工事。(電気収納盤・消火栓箱本体・感知器点検箱は現状のままとする。)
2) 配管、配線は現状のままとする。(特記なき配管、配線及び立ち上げ、引き下げの電線本数は系統図参照)

摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認	担当	製 図	工 事 名 称	市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事	図面番号 E-11
		変更年月日		N.S	T.S		図 面 名 称		
							自動火災報知設備 1・2 階平面図	縮尺 S=1/100	



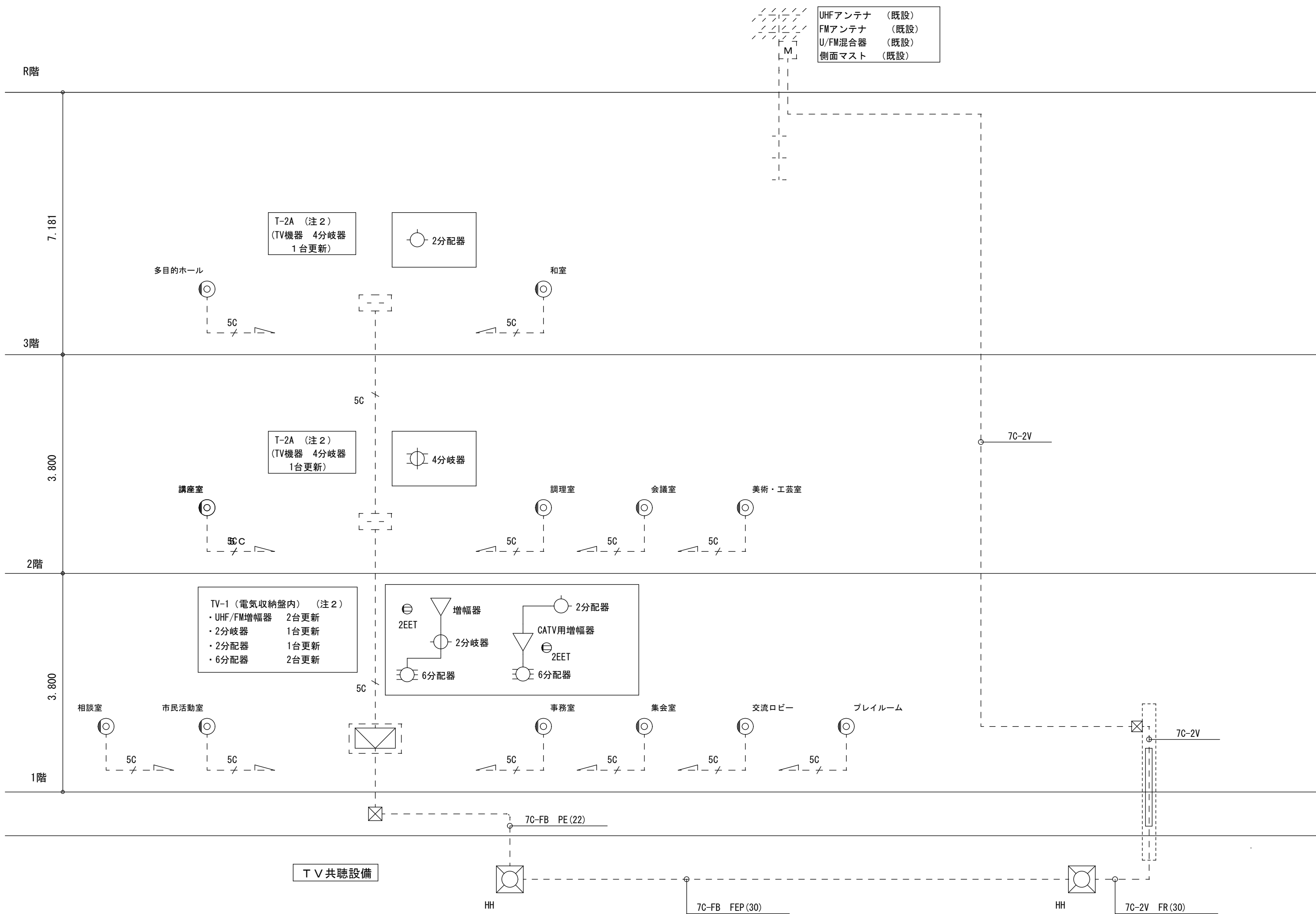
3階平面図 S=1/100



R階平面図 S=1/100

注 記
1) ※印の付加の機器の更新工事。(消火栓箱本体・感知器点検箱は現状のままとする。)
2) 配管、配線は現状のままとする。(特記なき配管、配線及び立ち上げ、引き下げの電線本数は系統図参照)

摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認	担当	製 工 事 名 称	市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号 E-12
		変更年月日		N.S.	T.S.	図 面 名 称	自動火災報知設備 3・R階平面図	縮尺 S=1/100	



(1) 特記なき配管、配線機器仕様は下記による。

・非常放送設備

イ) 配管、配線は既存とし、機器更新工事、調整工事は本工事とする。

ロ) 特記なき配管、配線は下記による。(既設)

HP 1.2-2C
HP 1.2-3C
HP 1.2-3C PF (16)

躯体部及び壁内埋設配線は電線管にて保護する。

ハ) 機器凡例は下記による尚機器仕様は姿図参照のこと。

防災アンプ (カセットデッキ共)

天井埋込みスピーカー

天井埋込みスピーカー (ATT付)

壁掛スピーカー (ATT付)

アツテネーター

・TV共聴設備

イ) 配管、配線は既存とし、機器更新工事、調整工事は本工事とする。

ロ) 特記なき配管、配線は下記による。(既設)

5C-FB PF (16)

ハ) 凡例は下記による。

UHF/FMブースター

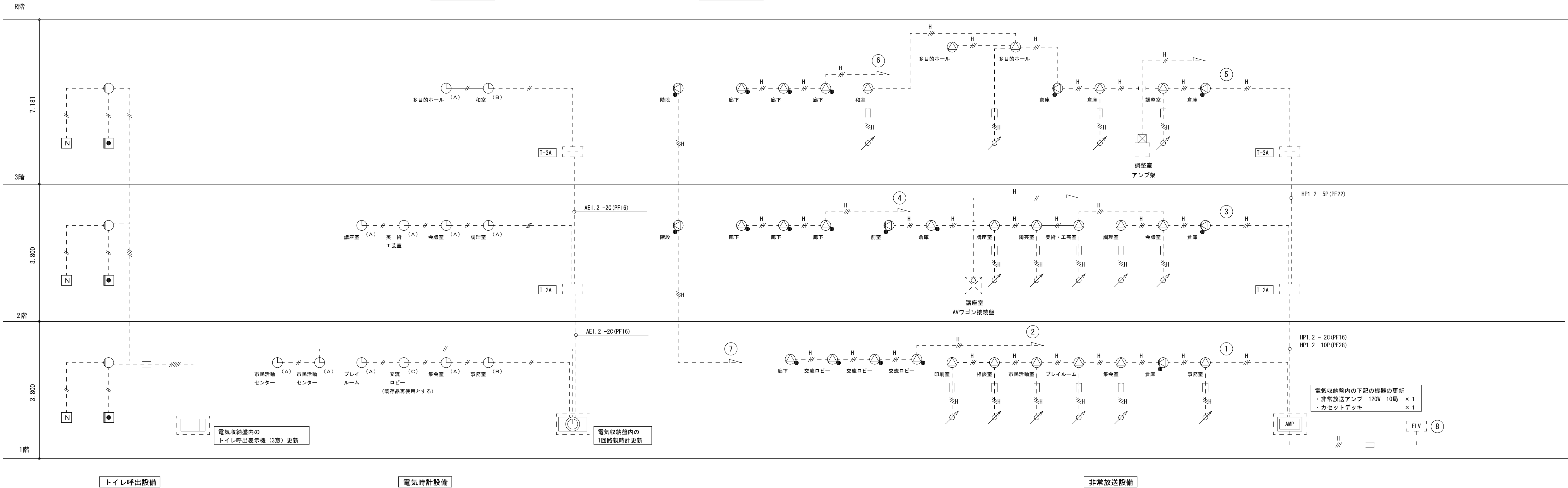
2分岐器

2分配器

フィルタ付テレビ端子、1端子

4分岐器

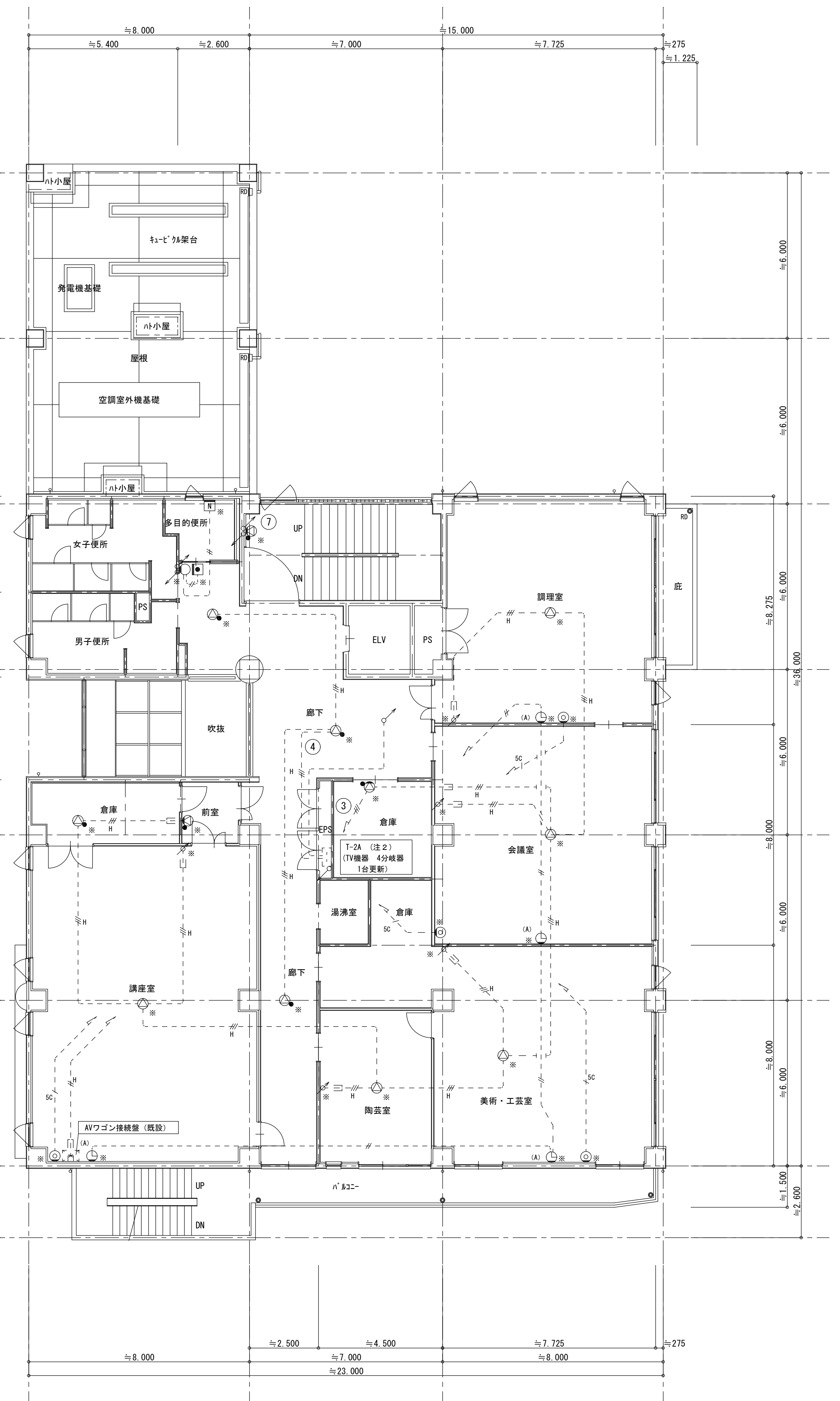
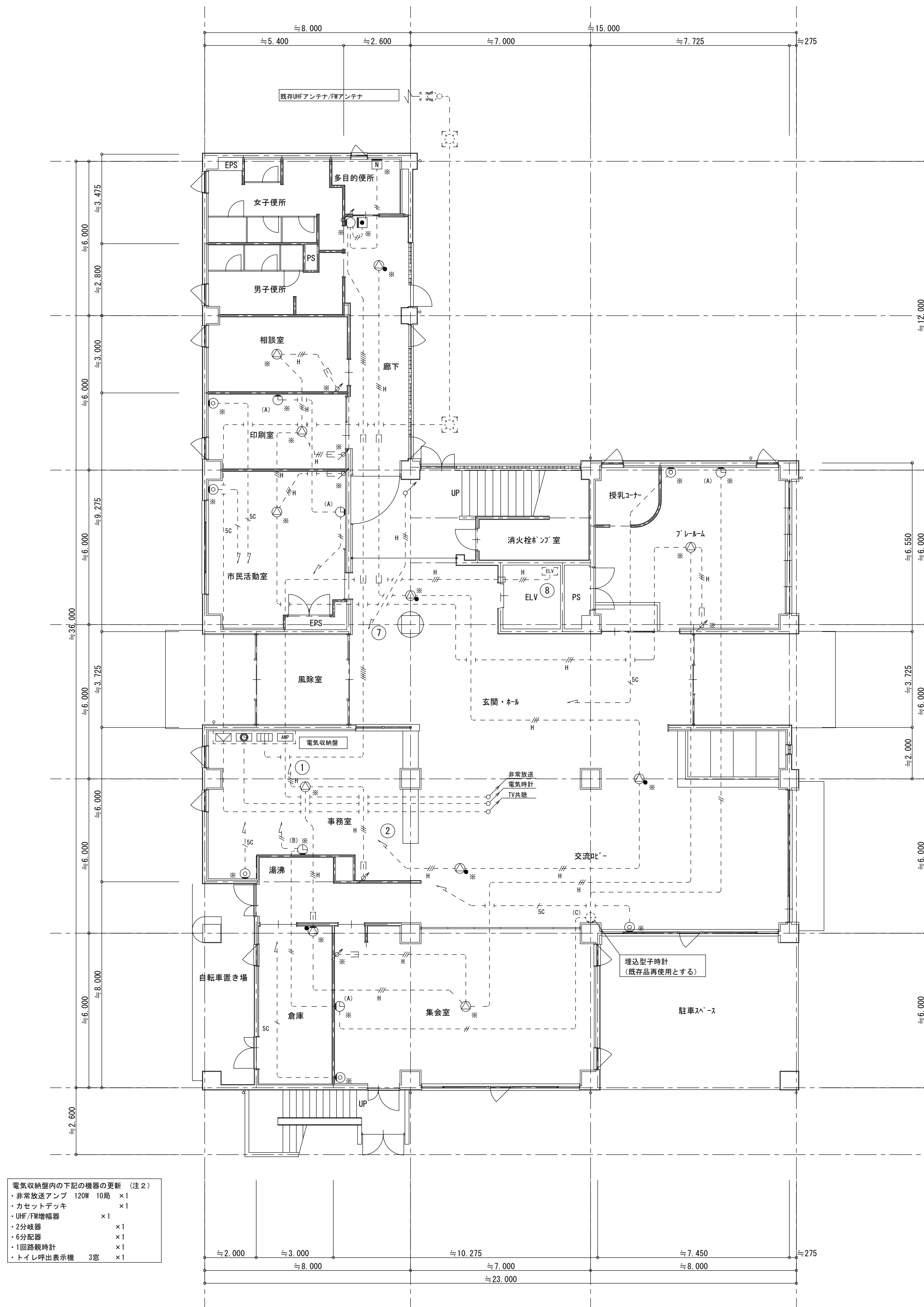
6分配器



[illegible]

(注) 形状、寸法は参考とする。

摘 要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2025/03/14	承認担当製図工事名称		市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事		図面番号 E-14
		変更年月日		N.S.	T.S.	図面名称 弱電設備 機器盗図 縮尺 (非常放送・TV共聴・電気時計・トイレ呼び出し設備)		

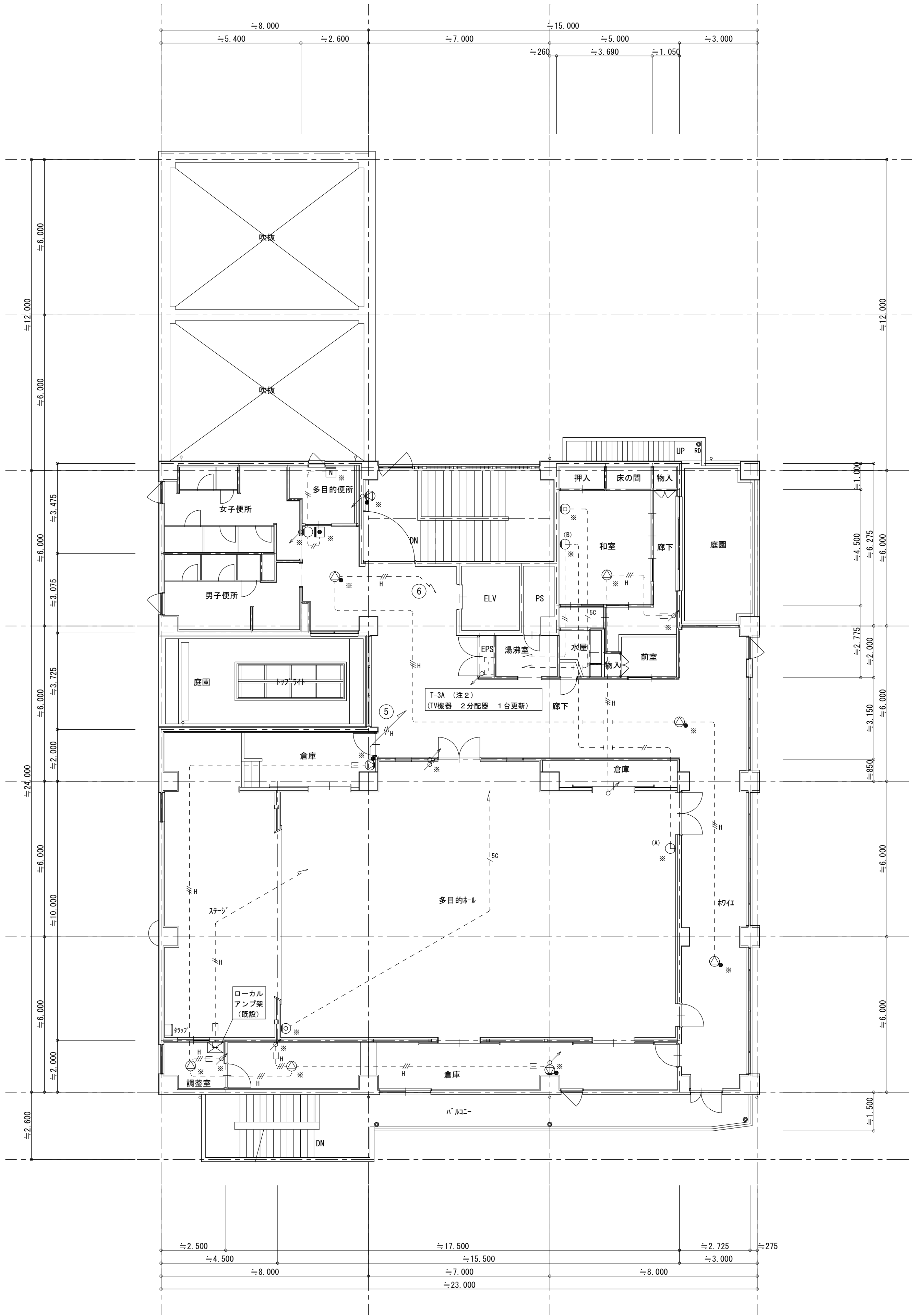


注 記

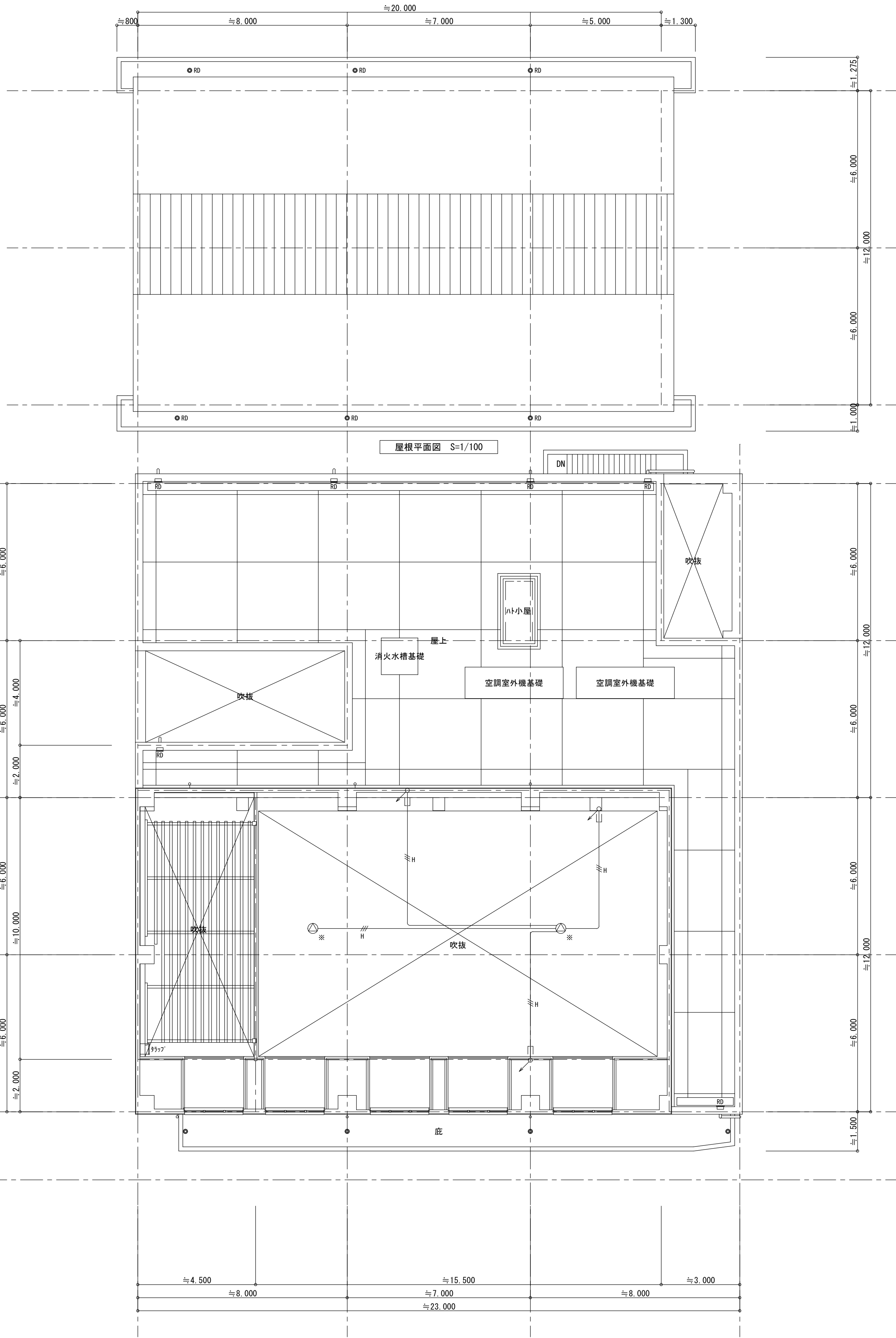
1) ※印の付加の機器の更新工事。(非常放送・ＴＶ共聴・電気時計・トイレ呼び出し設備機器)

2) 電気収納盤・端子盤は現状のままとする。但し盤内の各設備の機器は更新する。

3) 配管、配線は現状のままとする。(特記なき配管、配線及び立ち上げ、引き下げの電線本数は系統図参照)



3階平面図 S=1/100



R階平面図 S=1/100

- 注 記
- ※印の付加の機器の更新工事。(非常放送・TV共聴・電気時計・トイレ呼び出し設備機器)
 - 電気収納庫・端子盤は現状のままとする。但し室内の各設備の機器は更新する。
 - 配管、配線は現状のままとする。(特記なき配管、配線及び立ち上げ、引き下げの電線本数は系統図参照)

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日 2025/03/14

変更年月日

承認 担当 製 図 工 事 名 称

N.S. T.S.

図 面 名 称 弱電設備 3・R階平面図
(非常放送・TV共聴・電気時計・トイレ呼び出し設備)

縮尺
S=1/100

図面番号

E-16

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要	
1 工事名称	市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事
2 工事場所	富士見市大字鶴馬内地
3 工期	契約日から令和8年3月13日
現場施工期間	令和7年10月27日から令和8年2月28日
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。	

4 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行 令別表第一	備考
① 鶴瀬西交流センター	鉄筋コンクリート造	3 階	1,649.01	(1)ロ	
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 工事種目	工事種別					屋外
	①	②	③	④	⑤	
● 空気調和設備						
● 換気設備	一 式					
○ 排煙設備						
○ 自動制御設備						
● 衛生器具設備	一 式					
● 給水設備	一 式					
○ 排水設備						
● 給湯設備	一 式					
● 消火設備	一 式					
○ 厨房機器設備						
● ガス設備	一 式					

6 指定部分 ※無 ・有

対象部分： 工期：令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）

- 専任期間の始期
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・令和 年 月 日まで（期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要

暖房便座を洗浄暖房便座に更新する。
多目的所の洗浄暖房便座を更新する。
紙巻き器をに糊付きの2連式に更新する。
調理室調理台の水栓を更新する。
ガス給湯器及び小型電気温水器を更新する。
換気扇等の深型フード及びベンドキャップを更新する。

- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期発注の関連工事

・建築工事 ・電気設備工事

Ⅱ 工事仕様

1 共通仕様

- この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準率図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2 特記仕様

- 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章

① 機 材 等

② 電気保安技術者

③ 施工条件

4 技能士の適用

⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験

6 監督員事務所

⑦ 官公署その他への届出手続等

⑧ 工事用電力・水等

⑨ 工事用仮設物

⑩ 足場・さんぱし類

11 建設発土士の処理

12 埋め戻し土・盛土

13 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用

⑭ 発生材の処理等

⑮ 容量等の表示

16 配 管

17 耐震施工

●一般共通工事特記仕様書

特 記 事 項

① 機 材 等

本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。
使用機材等については、7aペシ含有の有無を確認し、7aペシを含む機材は、使用しないこと。
「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。
調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

・置く ※置かない

施工時間

※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。
・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。

○配管施工（配管工事） ・建築振金施工（風道制作及び取付け）
○断熱縁施工（保温工事） ・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付け）

検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。
※飲用に供する設備機種の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。
ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化水素イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および浮遊性有機物の12項目とする。
※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。
試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。
ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。

本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない

工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。
また、届け出にかかる費用はすべて受注者の負担とする。

本工事に必要な電力及び水などの費用は、使用できるものとし、その仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。
すべて受注者の負担とし、構内につくことが ※できる ・できない

※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ○本工事とする。

埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外搬出適切処理する。

※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類

契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。
再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。
（構外搬出処理費は ※本工事 ・別途）
（1）引渡しを要するもの（ ）
（2）買取処分を要するもの（ ）
（3）再生資源化を図るもの（ ・硬質塩化ビニル管 ）
（4）特別管理産業廃棄物（ ）
※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。

（1）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

（1）地中埋設配管（排水管を除く）
1）地中埋設機（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要
2）地中埋設機（キャットアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要
3）埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要

設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。
ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度KH及び設計用鉛直震度KV（KV/2）を用いて計算する。
設計用水平地震力と設計用鉛直地震力とは同時に作用するものとする。

設計用水平震度		耐震安全性の分類			
設置場所		・特定の施設		・一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0	
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)	
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6	
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)	
1階及び地下階	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	
	1.0	0.6	0.6	0.4	
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)	
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	

（注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
< >内の数値は水槽類に適用する。
※上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階）
中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）
重要機器は次のものを示す。
給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器
防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置
火を使用する設備 避難経路上に設置する機器

機材・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

⑪ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

空気調和設備工事の保温の種別

区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
ド レ ン 管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（ハ）・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・（ハ）・Ⅶ
	天井内、P S内及び空腔壁中	c2・（ロ）・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
蒸 気 管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・（イ）・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・（イ）・Ⅱ
	天井内、P S内及び空腔壁中	C2・（ロ）・Ⅱ
	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	D・（ロ）・Ⅱ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・（イ）・Ⅱ
冷水・冷温水管 （膨張管、空気抜き、 膨張タンクからボ イラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・（ハ）・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B・（ハ）・Ⅲ
	天井内、P S内及び空腔壁中	C1・（イ）・Ⅲ
	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	D・（ハ）・Ⅲ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・（ハ）・Ⅲ
温 水 管 （膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・（イ）・Ⅰ
	天井内、P S内及び空腔壁中	C2・（ロ）・Ⅰ
	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	D・（ロ）・Ⅰ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・（イ）・Ⅰ

○
環境配慮（グリーン）改修工事

1アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項
1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査
・行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示
分析対象
※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

3アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定
・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業ごと)	備考
レベル1	レベル2	レベル3						
・	・	・		測定1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点	
・	・	・		測定2		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定3	処理作業中	処理作業室内	各2点	
・	・	・		測定4		セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
・	・	・		測定5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
・	・	・		測定6		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・		測定8		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・		測定10		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ノズル径の直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

47ｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去
・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等
処理方法
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
・セメント固化
処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

57ｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去
・行う
作業上の隔離
・行う
・行わない
処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

67ｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去
・行う
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去
・行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査	可能性なし	
可能性あり・不明		
(2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認）	可能性なし	
可能性あり・不明		
分析を実施しない場合		
分析を実施する場合	(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など	
	石綿含有0.1%を超えていると判断	
	石綿含有0.1%以下と判断	
石綿含有とみなす		石綿使用あり・届出要件確認・届出
		石綿使用なし

＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー
1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）
成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施	
工事計画・要領書の作成・届出 必要機器・資材の準備・調達	
除去工事実施の表示	外部から見やすい位置に掲示する。
事前清掃	
周辺の養生	床養生以外に開口部もシート等で養生する。
粉じん飛散抑制剤の散布・浸透	
原形のまま取り外し	破壊した場合は、高性能真空掃除機で清掃する。
取り残さないことの確認	
除去面に粉じん飛散防止処理剤散布	
養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布	
養生の撤去	
最終清掃	
作業記録	所管行政庁の指導により、特別管理産業廃棄物として最終処分

2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）
建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。
＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施	
作業計画の作成・作業の届出 必要機器・資材の準備・調達	
除去工事実施の表示 (所管行政庁の指導がある場合)	
事前清掃	
石綿含有部分以外の部分で切断	参考図のとおり切断する。
プラスチックシートまたは袋で二重梱包	
最終清掃	
作業記録	切断部分の収集・運搬 最終処分

3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。
＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施	
工事計画・要領書の作成・届出 必要機器・資材の準備・調達	
除去工事実施の表示	外部から見やすい位置に掲示する。
事前清掃	
周辺の養生	開口部等をシート等で養生する。
配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生 配管エルボ部を湿らしたウエス等で湿潤化	
石綿含有部分以外の部分で切断	参考図のとおり切断する。
高圧で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包	
最終清掃	
作業記録	切断部分の収集・運搬 最終処分 ※廃棄する場合、特別管理産業廃棄物として管理責任者を選任し適正に処理すること。

○
環境配慮（グリーン）改修工事

1アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項
1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査
・行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示
分析対象
※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

3アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定
・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業ごと)	備考
レベル1	レベル2	レベル3						
・	・	・		測定1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点	
・	・	・		測定2		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定3	処理作業中	処理作業室内	各2点	
・	・	・		測定4		セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
・	・	・		測定5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
・	・	・		測定6		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・		測定8		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・		測定10		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ノズル径の直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

47ｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去
・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等
処理方法
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
・セメント固化
処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

57ｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去
・行う
作業上の隔離
・行う
・行わない
処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

67ｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去
・行う
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去
・行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査	可能性なし	
可能性あり・不明		
(2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認）	可能性なし	
可能性あり・不明		
分析を実施しない場合		
分析を実施する場合	(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など	
	石綿含有0.1%を超えていると判断	
	石綿含有0.1%以下と判断	
石綿含有とみなす		石綿使用あり・届出要件確認・届出
		石綿使用なし

＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー
1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）
成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施	
工事計画・要領書の作成・届出 必要機器・資材の準備・調達	
除去工事実施の表示	外部から見やすい位置に掲示する。
事前清掃	
周辺の養生	床養生以外に開口部もシート等で養生する。
粉じん飛散抑制剤の散布・浸透	
原形のまま取り外し	破壊した場合は、高性能真空掃除機で清掃する。
取り残さないことの確認	
除去面に粉じん飛散防止処理剤散布	
養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布	
養生の撤去	
最終清掃	
作業記録	所管行政庁の指導により、特別管理産業廃棄物として最終処分

2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）
建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。
＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施	
作業計画の作成・作業の届出 必要機器・資材の準備・調達	
除去工事実施の表示 (所管行政庁の指導がある場合)	
事前清掃	
石綿含有部分以外の部分で切断	参考図のとおり切断する。
プラスチックシートまたは袋で二重梱包	
最終清掃	
作業記録	切断部分の収集・運搬 最終処分

3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。
＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施	
工事計画・要領書の作成・届出 必要機器・資材の準備・調達	
除去工事実施の表示	外部から見やすい位置に掲示する。
事前清掃	
周辺の養生	開口部等をシート等で養生する。
配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生 配管エルボ部を湿らしたウエス等で湿潤化	
石綿含有部分以外の部分で切断	参考図のとおり切断する。
高圧で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包	
最終清掃	
作業記録	切断部分の収集・運搬 最終処分 ※廃棄する場合、特別管理産業廃棄物として管理責任者を選任し適正に処理すること。

参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法

参考図2 配管フランジパッキンの除去方法

参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

○
環境配慮（グリーン）改修工事

1アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項
1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査
・行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示
分析対象
※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

3アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定
・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業ごと)	備考
レベル1	レベル2	レベル3						
・	・	・		測定1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点	
・	・	・		測定2		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定3	処理作業中	処理作業室内	各2点	
・	・	・		測定4		セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
・	・	・		測定5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
・	・	・		測定6		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・		測定8		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・		測定9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・		測定10		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ノズル径の直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

47ｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去
・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等
処理方法
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
・セメント固化
処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

57ｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去
・行う
作業上の隔離
・行う
・行わない
処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

67ｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去
・行う
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去
・行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

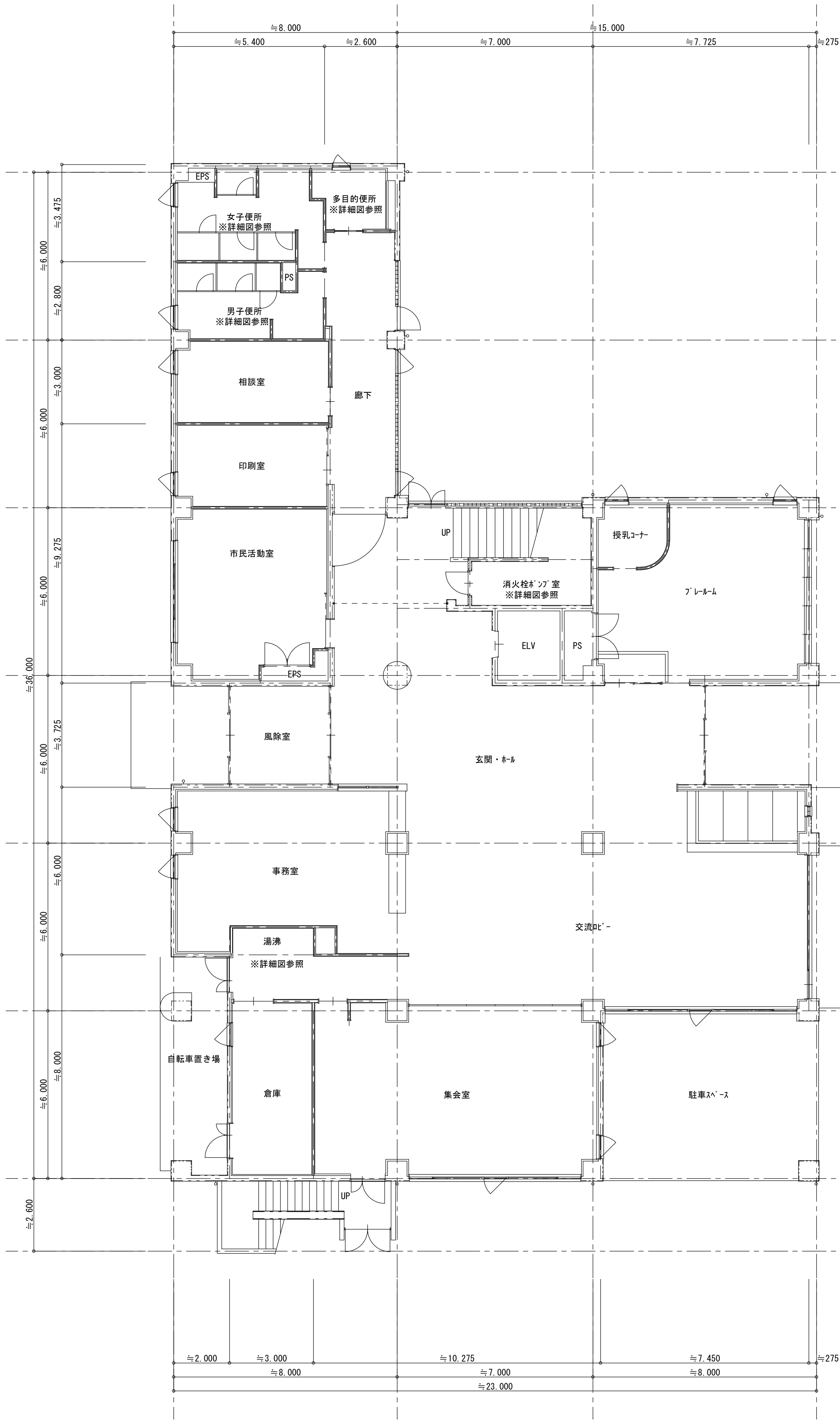
※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

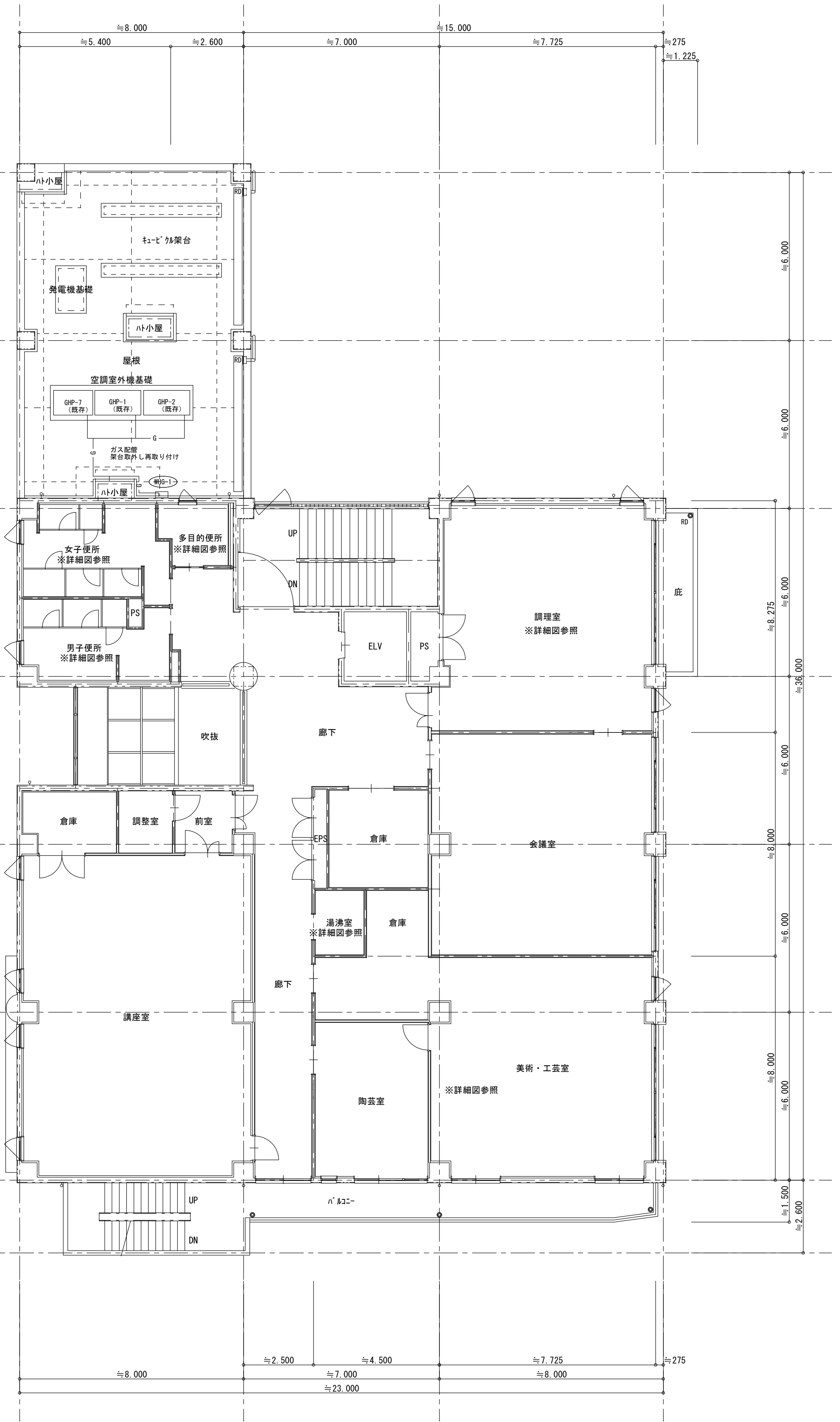
(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査	可能性なし	
可能性あり・不明		
(2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認）	可能性なし	
可能性あり・不明		
分析を実施しない場合		
分析を実施する場合	(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など	
	石綿含有0.1%を超えていると判断	

器 具 表																									
符 号	名 称	仕 様	新 設											撤 去											備 考
			1 階			2 階				3 階			計	1 階			2 階				3 階			計	
			男子便所	女子便所	多目的便所	男子便所	女子便所	多目的便所	調理室	男子便所	女子便所	多目的便所		男子便所	女子便所	多目的便所	調理室	男子便所	女子便所	多目的便所					
C-1	暖房洗浄便座	洗浄、脱臭、暖房機能付 便器洗浄無し AC100V	2	3		2	3			2	3		15												参考型番：TCF588
C-2	暖房洗浄便座	洗浄、脱臭、暖房機能付 便器洗浄無し AC100V			1			1				1	3												参考型番：TCF588
C-2	暖房洗浄便座	洗浄、脱臭、暖房機能付 便器洗浄無し AC100V														1			1				1	3	既存型番：TCF581W
C-1	暖房便座	洗浄、脱臭、暖房機能付、AC100V												2	3		2	3			2	3		15	既存型番：TCF223
	棚付き2連紙巻器	ｽﾍﾞﾝｽ製、棚付き、2連	2	4	1	2	4	1		2	4	1	21												参考型番：YH702
	ｽﾍﾞｱ付き紙巻器	樹脂製、ｽﾍﾞｱ付き												2	4	1	2	4	1		2	4	1	21	既存型番：YH120S
	折りたたみ水栓	泡沫式、折りたたみ化学水栓、13mm							8				8												参考型番：LF-121F-13
	折りたたみ水栓	折りたたみ式単水栓																	8					8	家具付属品

機 器 表																								
符 号	名 称	仕 様	新 設									撤 去									備 考			
			外 部	2階屋根	1階湯沸室	2階湯沸室	3階湯沸室	消火栓ｶﾞﾝﾌﾞ室	調理室	美術工芸室	計	外 部	2階屋根	1階湯沸室	2階湯沸室	3階湯沸室	消火栓ｶﾞﾝﾌﾞ室	調理室	美術工芸室	計				
PU-1	消火栓ｶﾞﾝﾌﾞユニット	40A 150L/min×58m×3000min ⁻¹ ×3.7kw 制御盤、漏電警報付、呼水槽50L 起動リレー付						1			1													参考型番：40MEFU453. 7A
PU-1	消火栓ｶﾞﾝﾌﾞユニット	40A 150L/min×58m×3000min ⁻¹ ×3.7kw 制御盤、漏電警報付、呼水槽50L 起動リレーｶﾞｽ															1				1			既存型番：40MDFU453. 7A
WHG-1	ｶﾞｽ給湯器	屋外壁掛型、配管ｶﾞｽ、ｲﾝﾌｧｲﾂ 能力32号、ｶﾞｽ消費量50,500kcal/h		1							1		1								1			参考型番：RUXC-E3201W 既存型番：RUX-V3200W
WHD-1	小型電気温水器	床置型（角型）、ﾌﾞﾛｰｷｬｯﾁｰ（密閉） 貯湯量20L、消費電力2.0kw、飲料可			1	1	1				3			1	1	1					3			参考型番：ESD20BLX220E0 既存型番：ES-20DW3WL
WHD-2	小型電気温水器	床置型（丸型）、ﾌﾞﾛｰｷｬｯﾁｰ（密閉） 貯湯量20L、消費電力1.5kw								2	2							2		2			参考型番：ES-20N3 既存型番：ES-20N3	
VC10	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、防虫網付 φ100	5								5													参考型番：P-13VSQ4
VC15	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、防虫網付 φ150	5								5													参考型番：P-18VSQ4
VC20	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、防虫網付 φ200	4								4													参考型番：P-23VSQ4
VC10	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、ｷﾞｬﾘｰ付 φ100	7								7	12									12			参考型番：P-13VS4
VC15	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、ｷﾞｬﾘｰ付 φ150	9								9	14									14			参考型番：P-18VS4
VC20	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、ｷﾞｬﾘｰ付 φ200	6								6	10									10			参考型番：P-23VS4
VC10FD	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、ｷﾞｬﾘｰ付、防火ｶﾞﾝﾊﾞｰ付 φ100	3								3	3									3			参考型番：P-13VSD4
VC15FD	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、ｷﾞｬﾘｰ付、防火ｶﾞﾝﾊﾞｰ付 φ150	6								6	6									6			参考型番：P-18VSD4
VC20FD	深型ﾌｰﾄﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ製、ｷﾞｬﾘｰ付、防火ｶﾞﾝﾊﾞｰ付 φ200	8								8	8									8			参考型番：P-23VSD4
VC30	ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製、防風板覆い付、ﾌｵｰﾄﾞ水切り φ300、横ｷﾞｬﾘｰ網付	2								2	2									2			参考型番：AT-300TCWSJ



1 階平面図 S=1/100



2 階平面図 S=1/100

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認

担当

製図

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

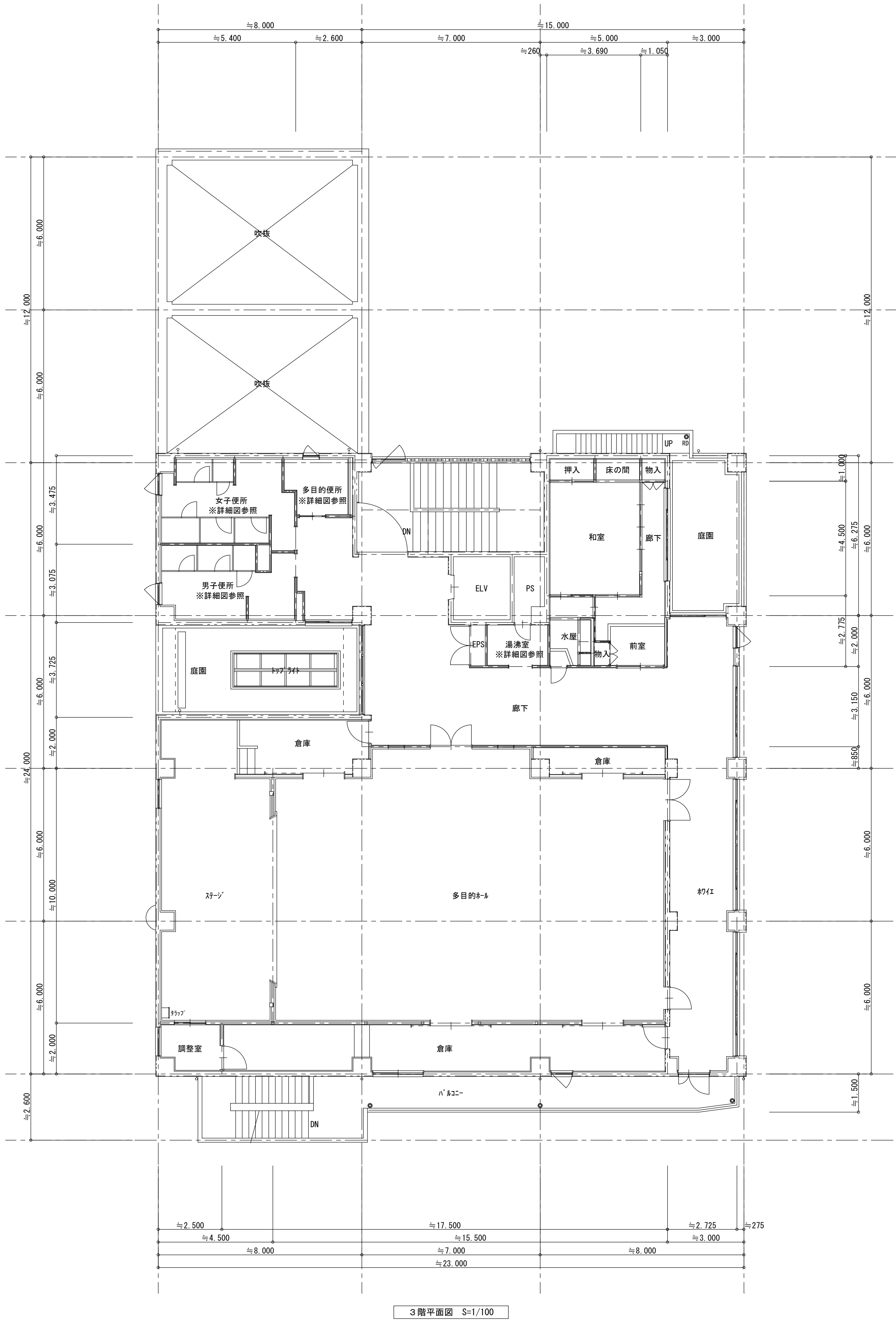
図面名称

1・2階給排水衛生設備平面図

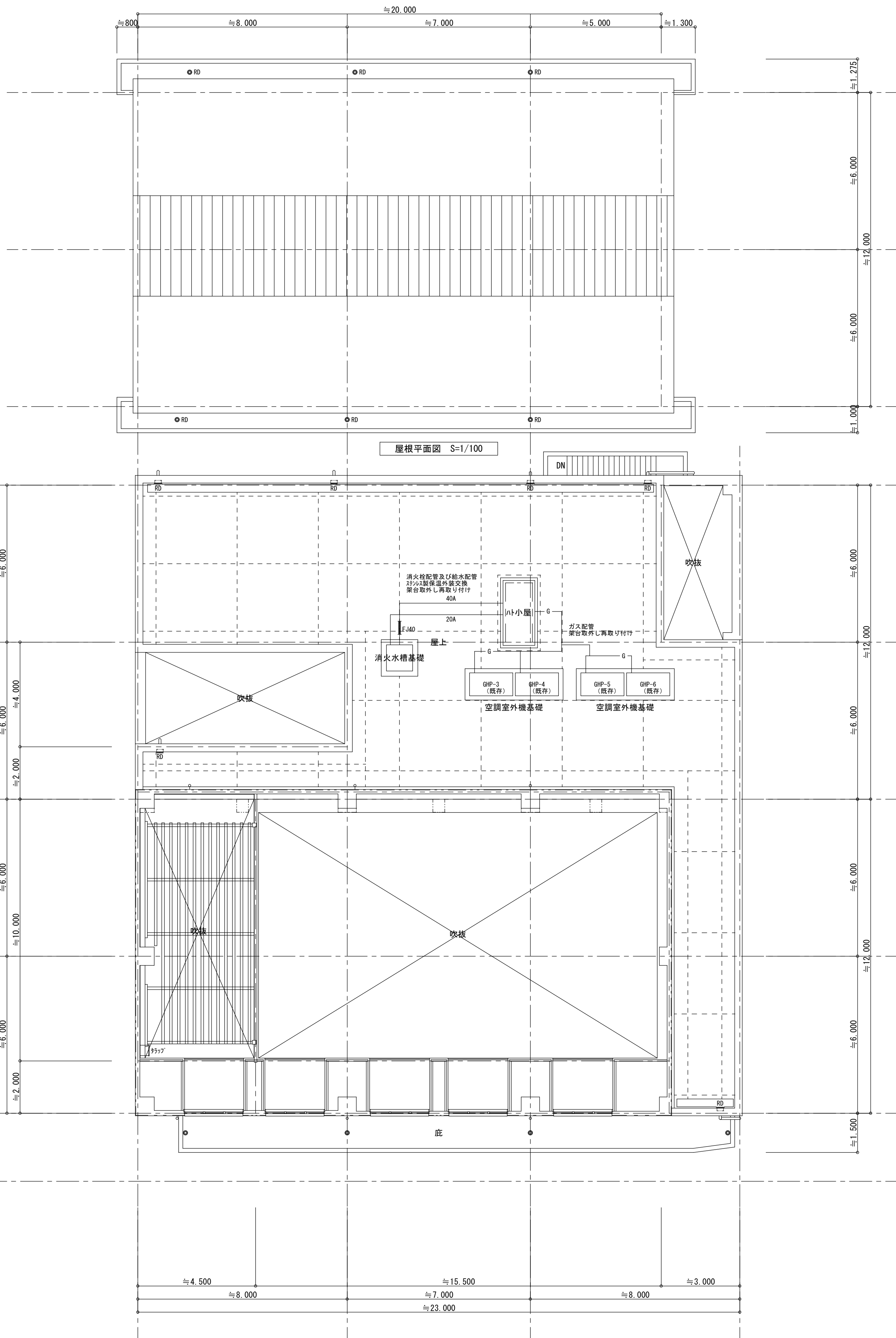
縮尺
S=1/100

図面番号

M-5



3階平面図 S=1/100



屋根平面図 S=1/100

R階平面図 S=1/100

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆

設計年月日

2025/03/14

変更年月日

承認

担当

製図

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

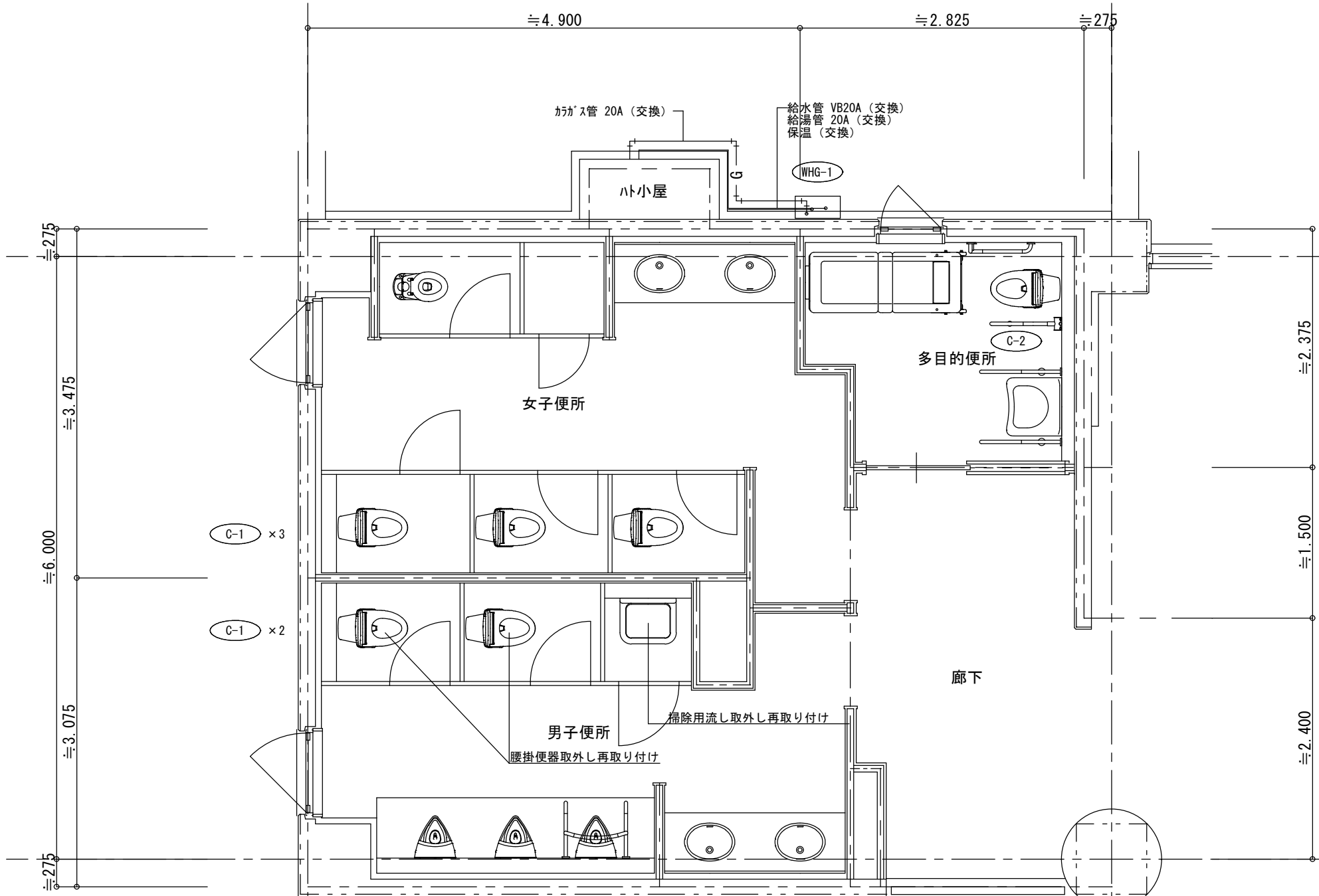
図面名称

3・R階給排水衛生設備平面図

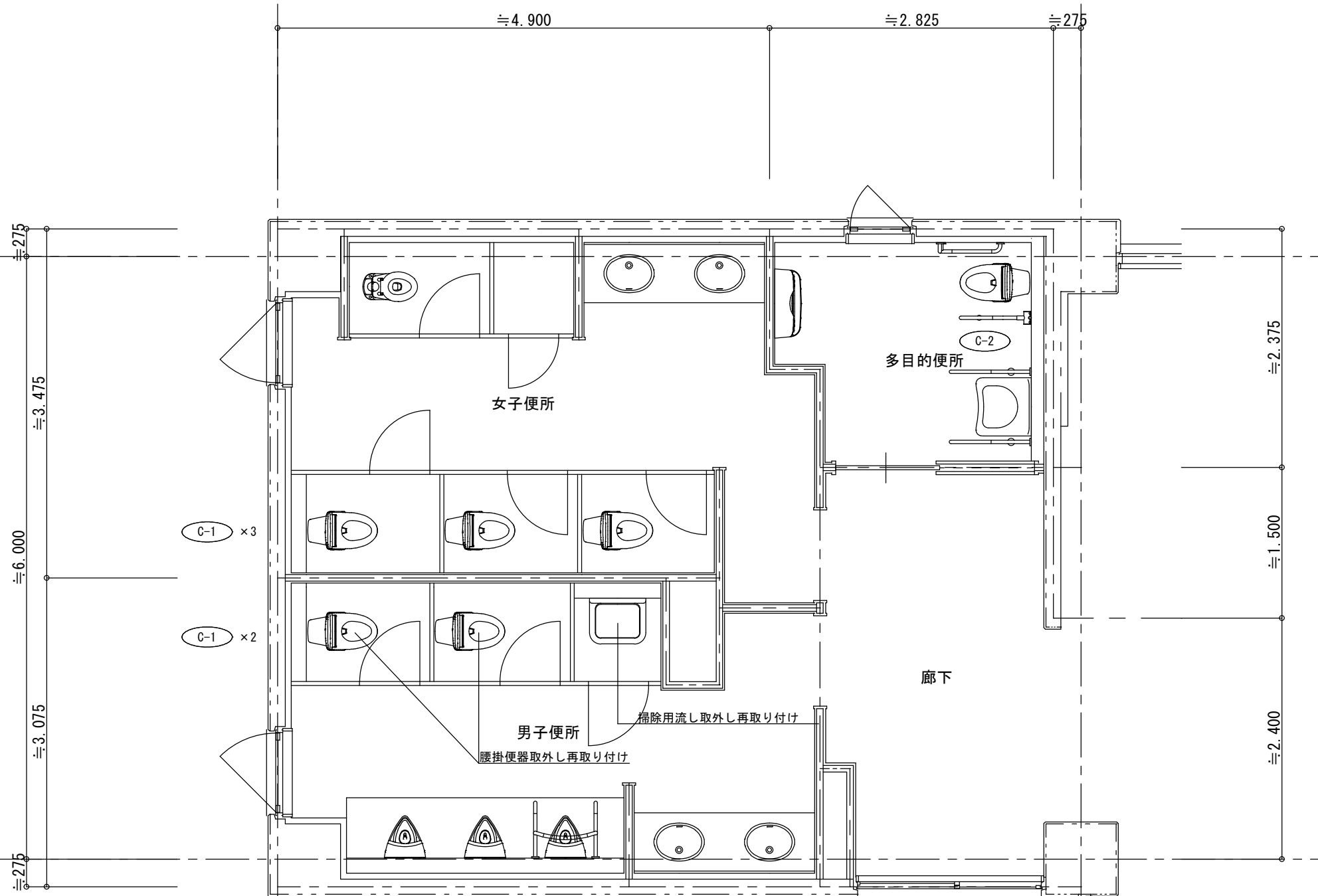
縮尺
S=1/100

図面番号

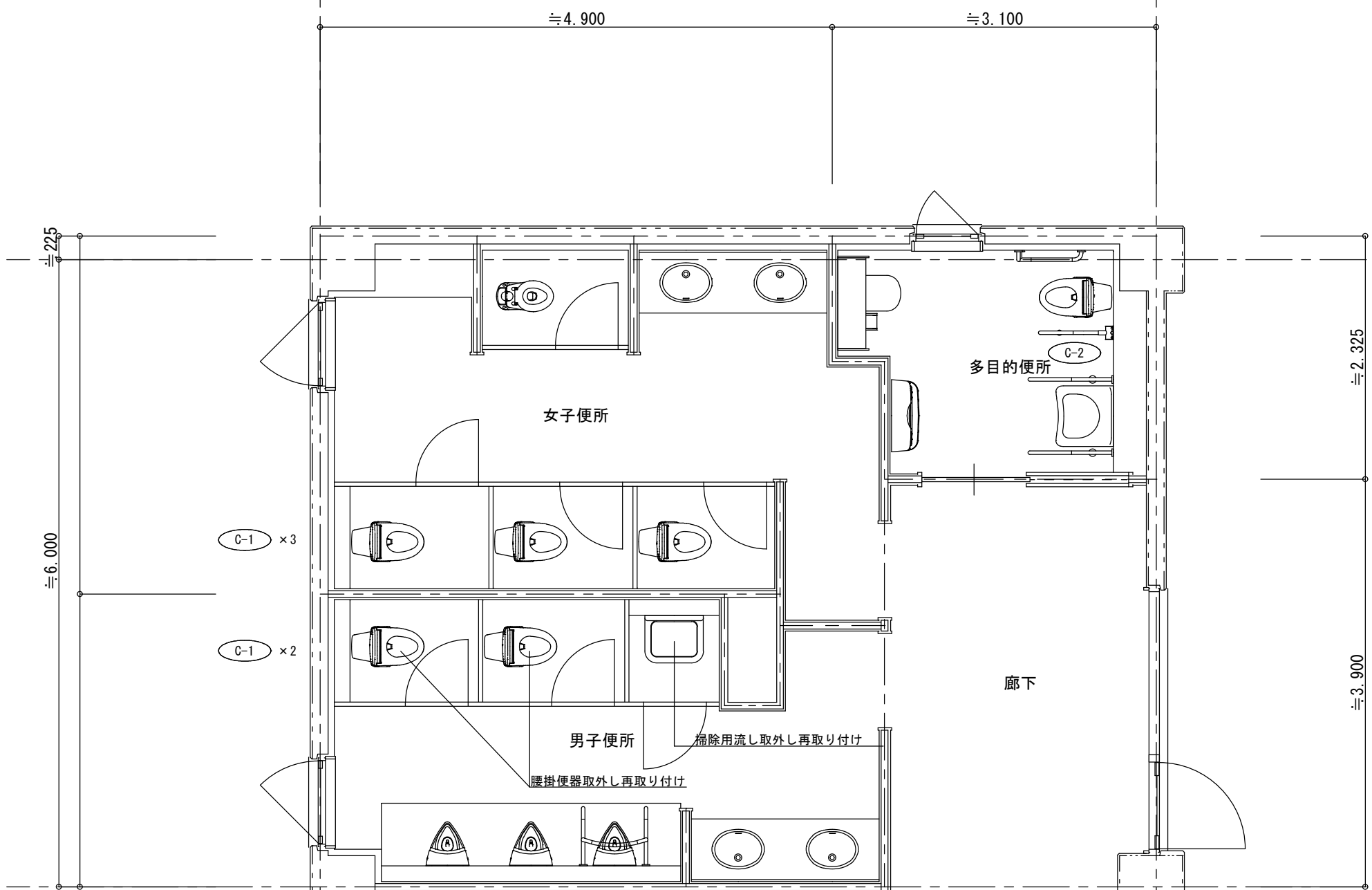
M-6



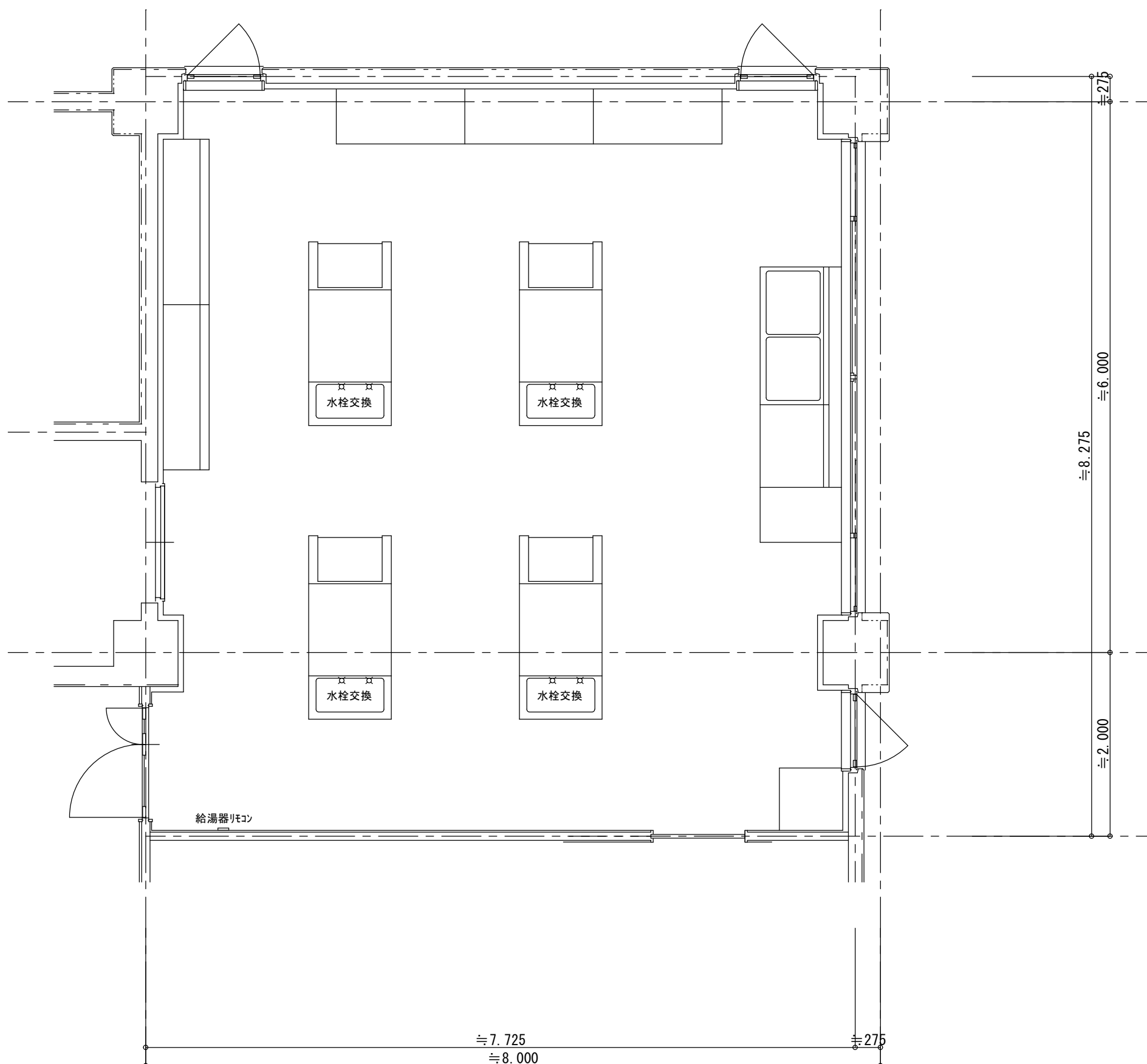
2階便所平面詳細図 S=1/50



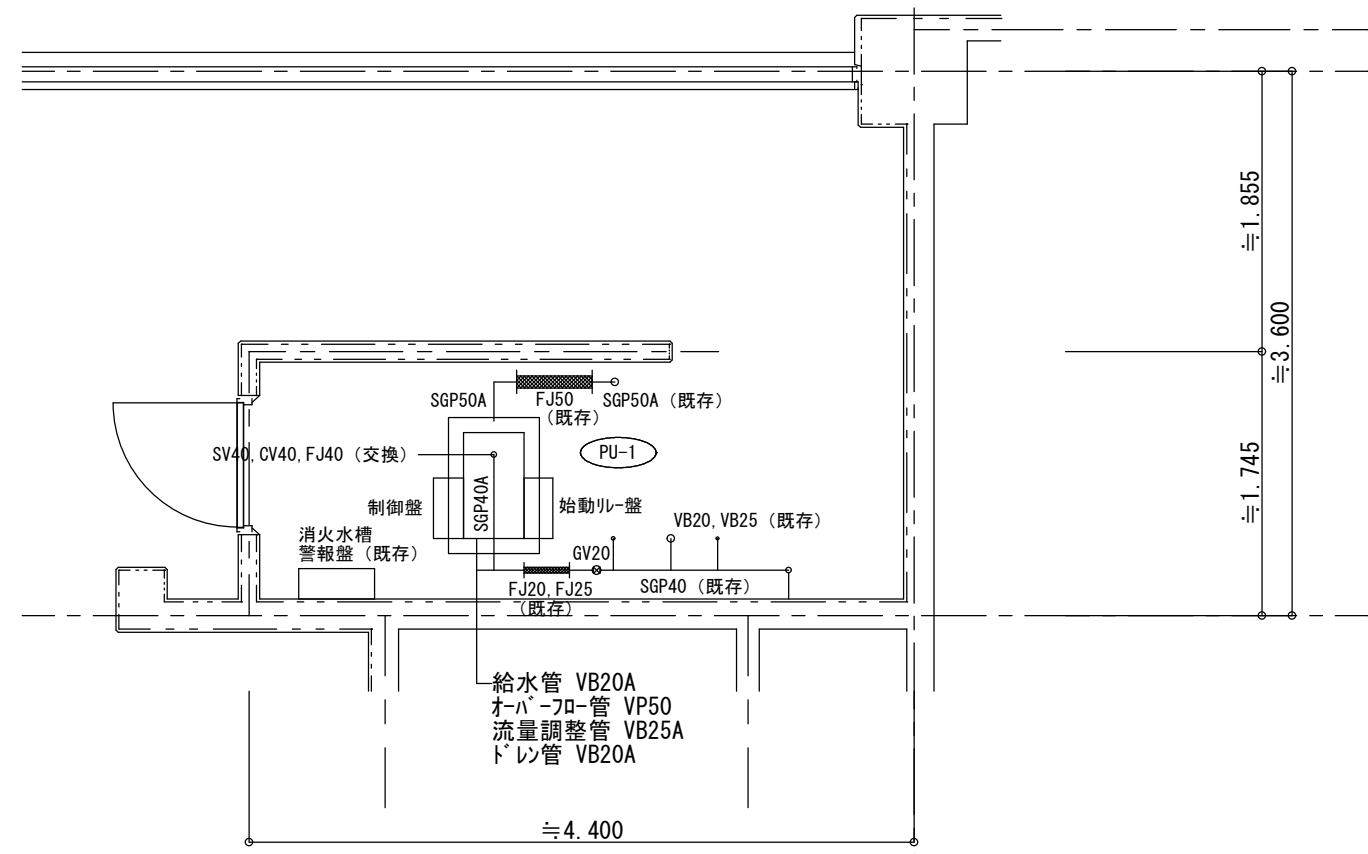
3階便所平面詳細図 S=1/50



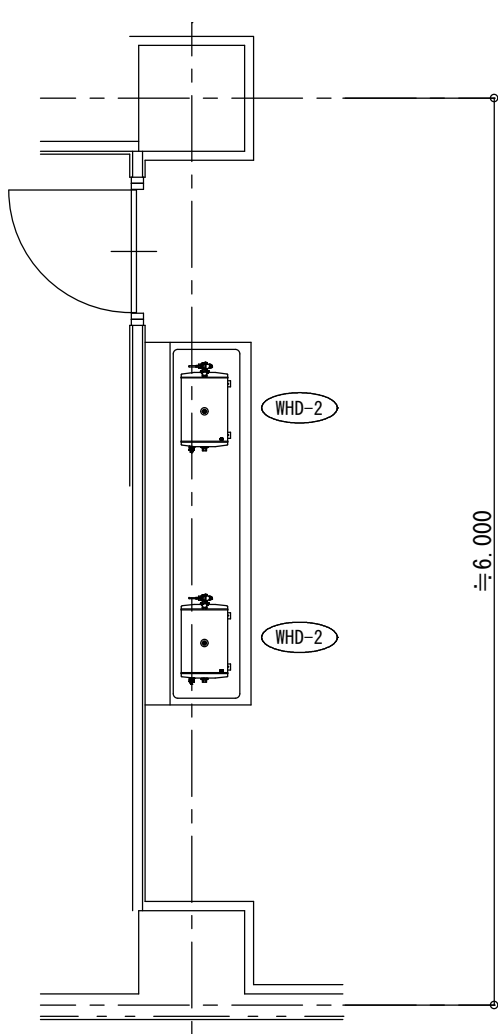
1階便所平面詳細図 S=1/50



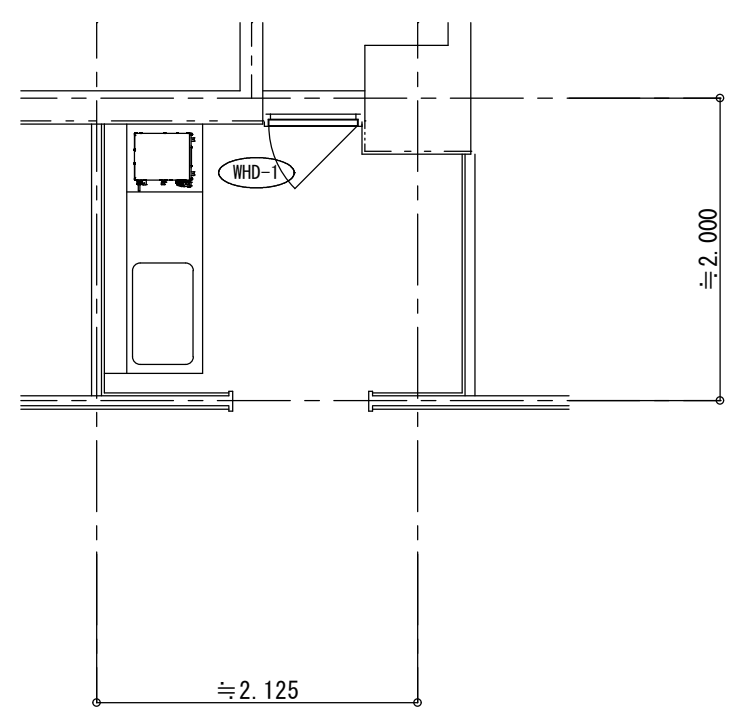
調理室平面詳細図 S=1/50



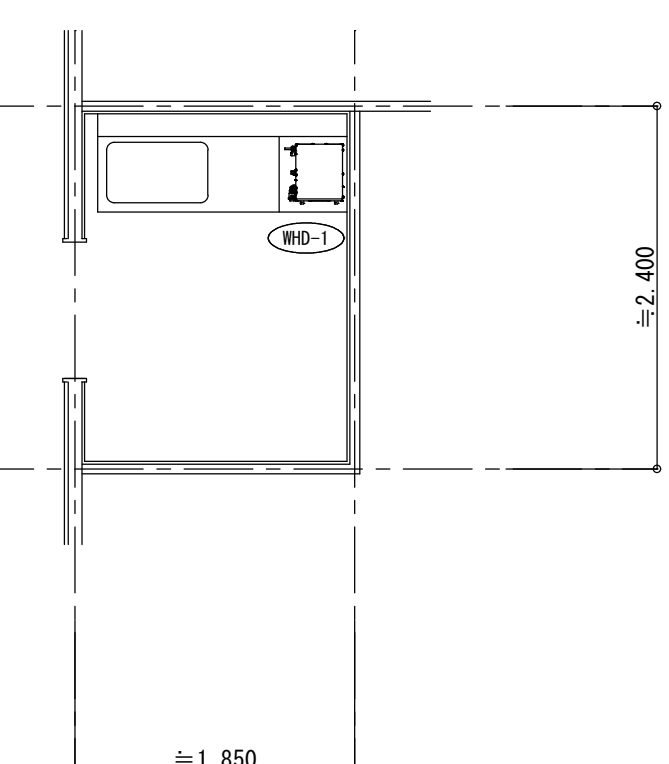
消火栓ポンプ室平面詳細図 S=1/50



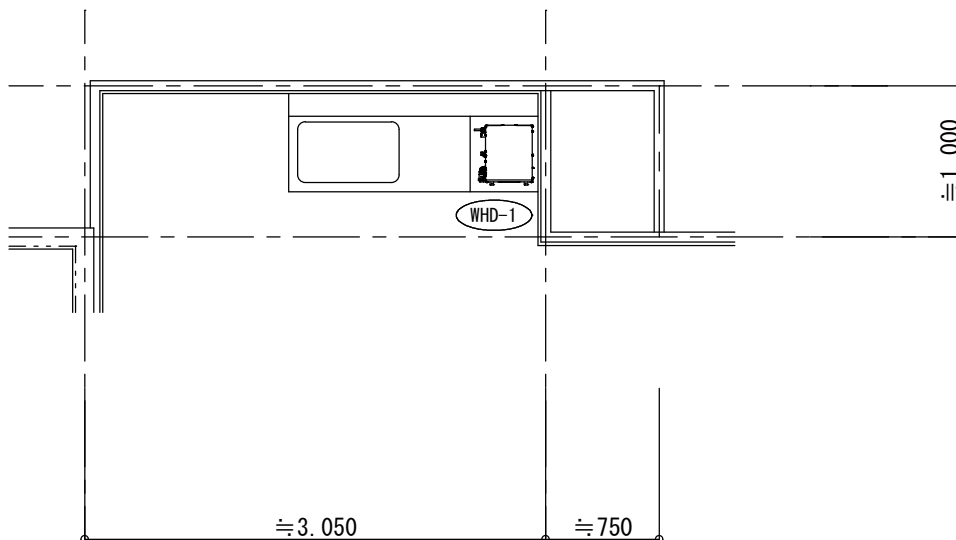
美術・工芸室平面詳細図 S=1/50



3階湯沸室平面詳細図 S=1/50



2階湯沸室平面詳細図 S=1/50



1階湯沸室平面詳細図 S=1/50

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日 2025/03/14

変更年月日

承認 担当 製図

N.S. T.S. T.S.

工事名称

市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事

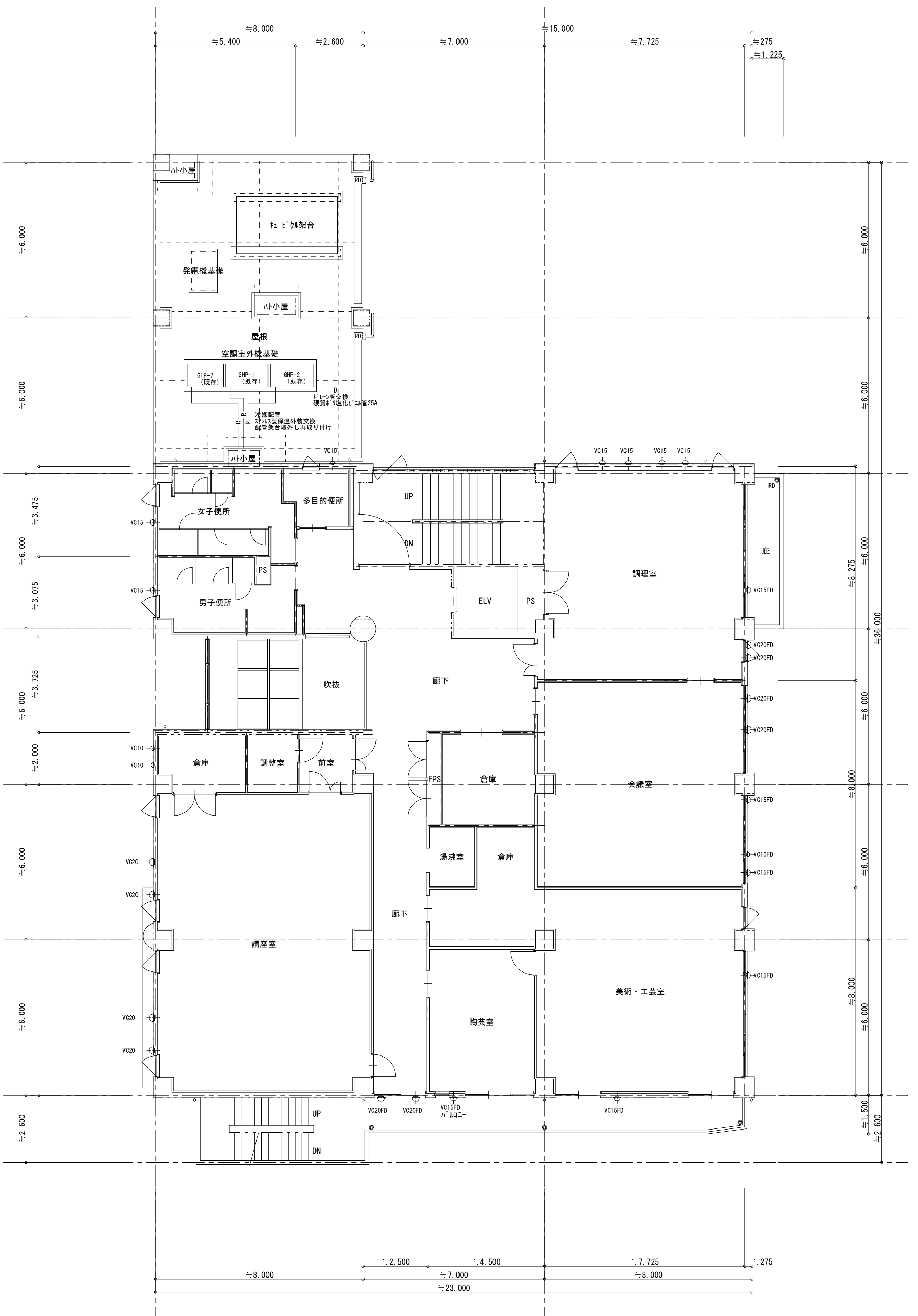
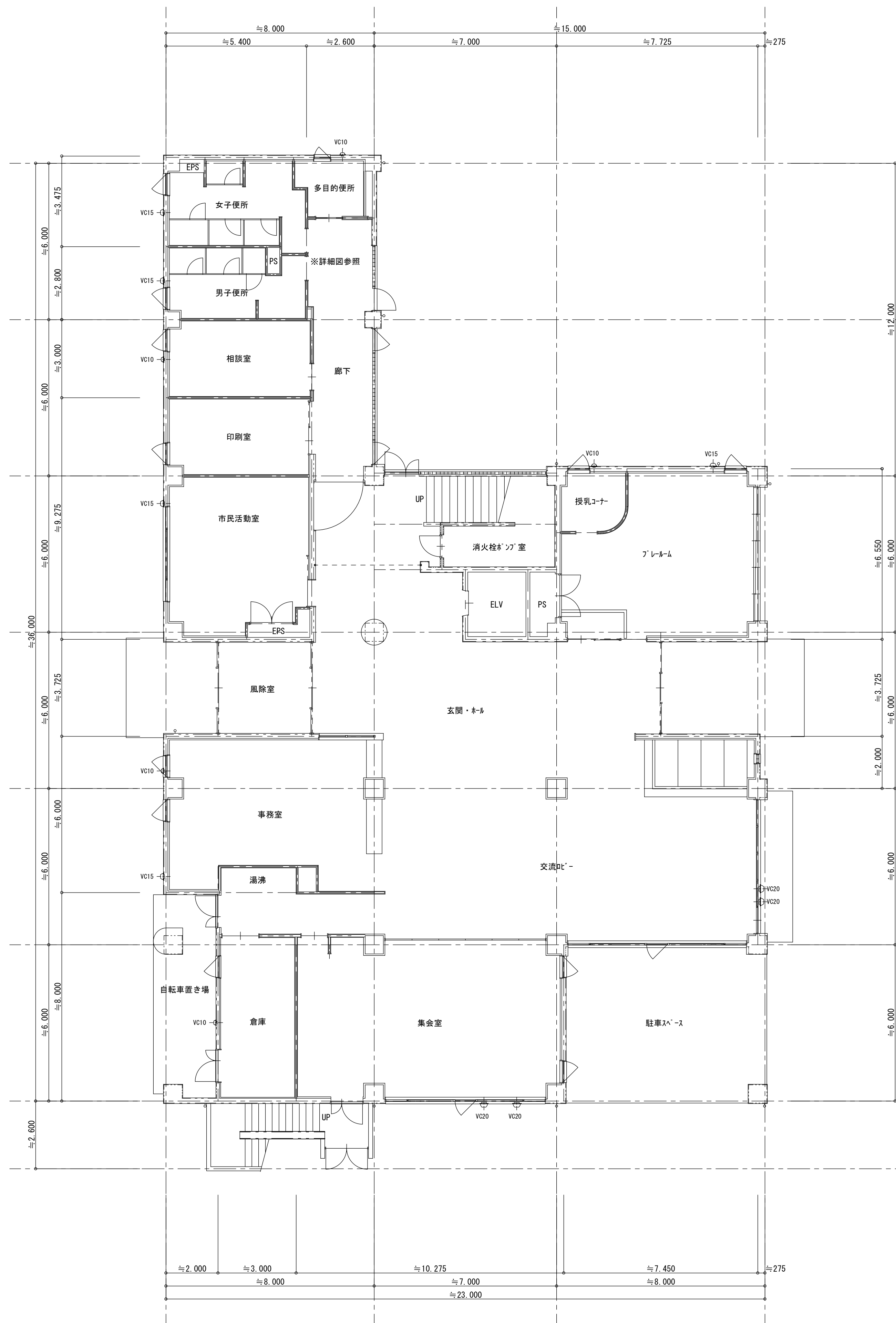
図面名称

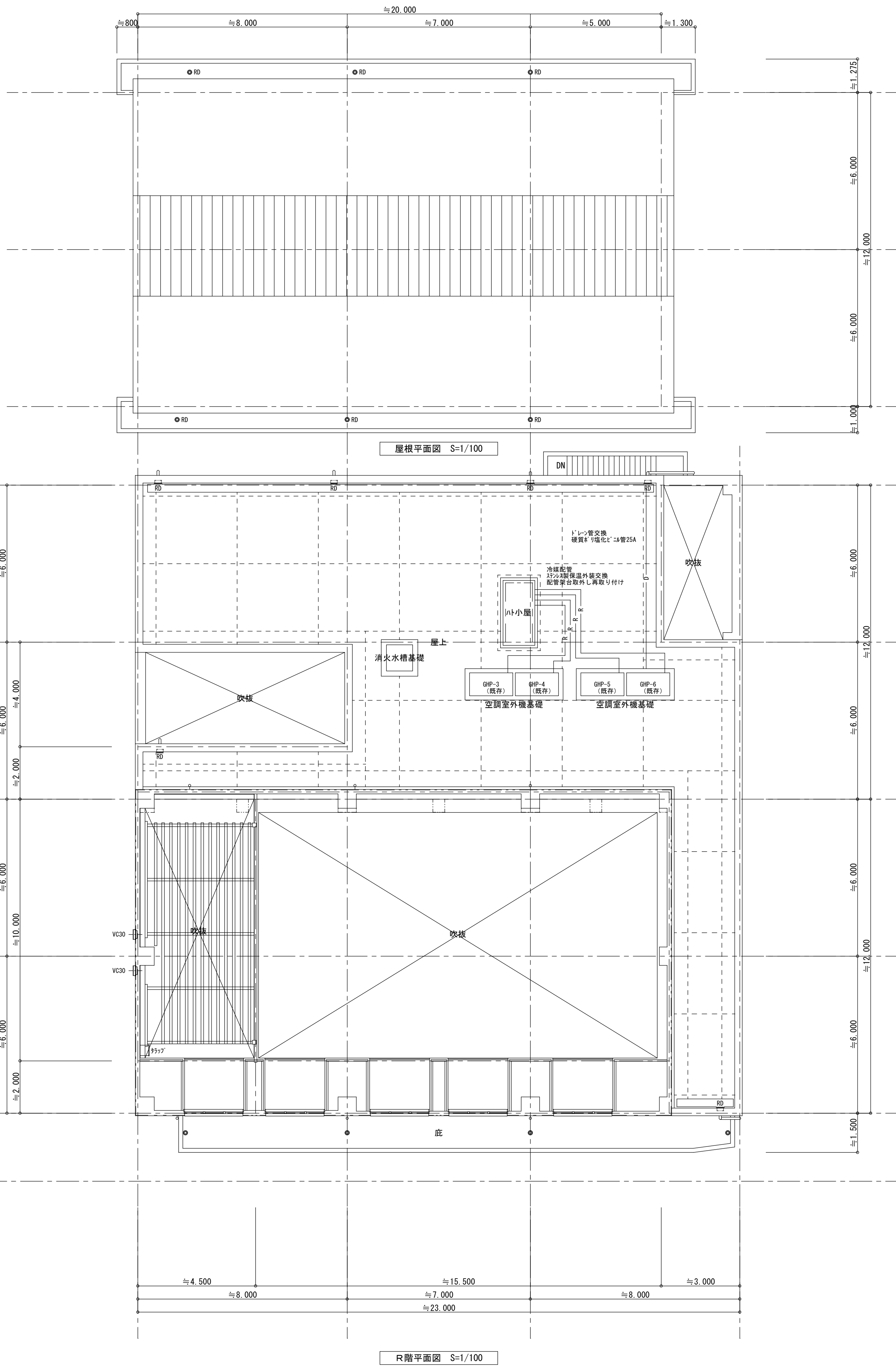
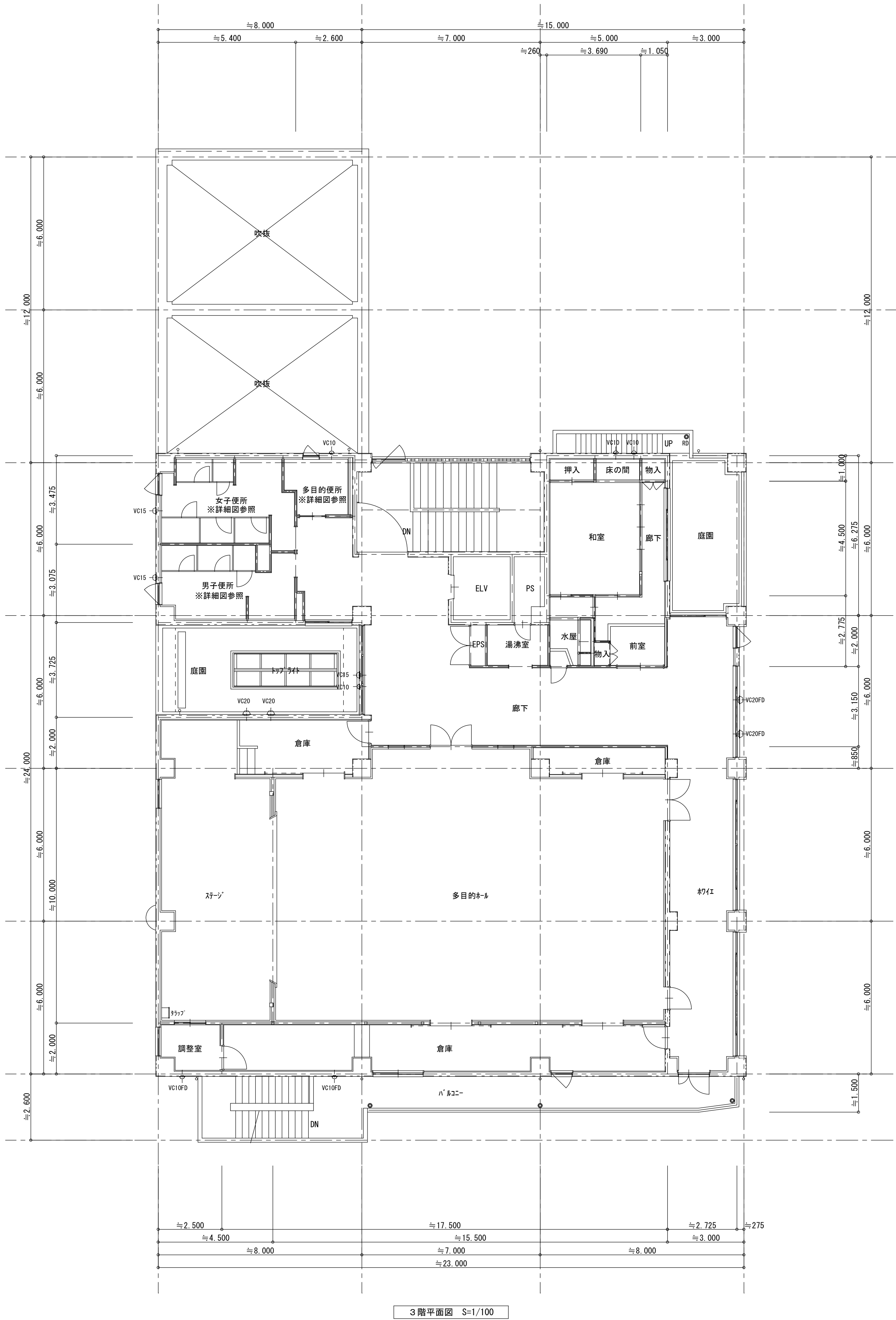
衛生設備詳細図

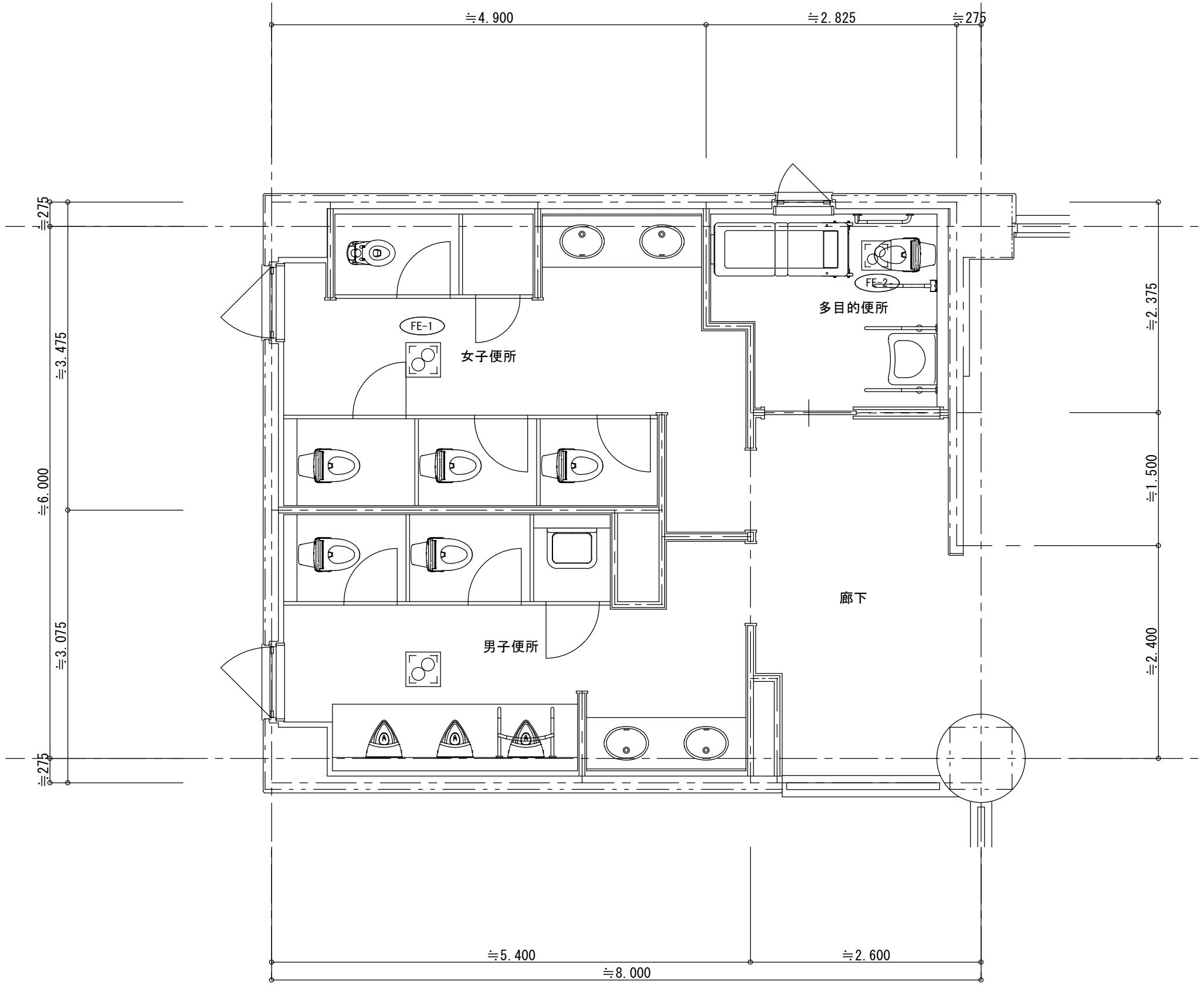
縮尺 S=1/50

図面番号

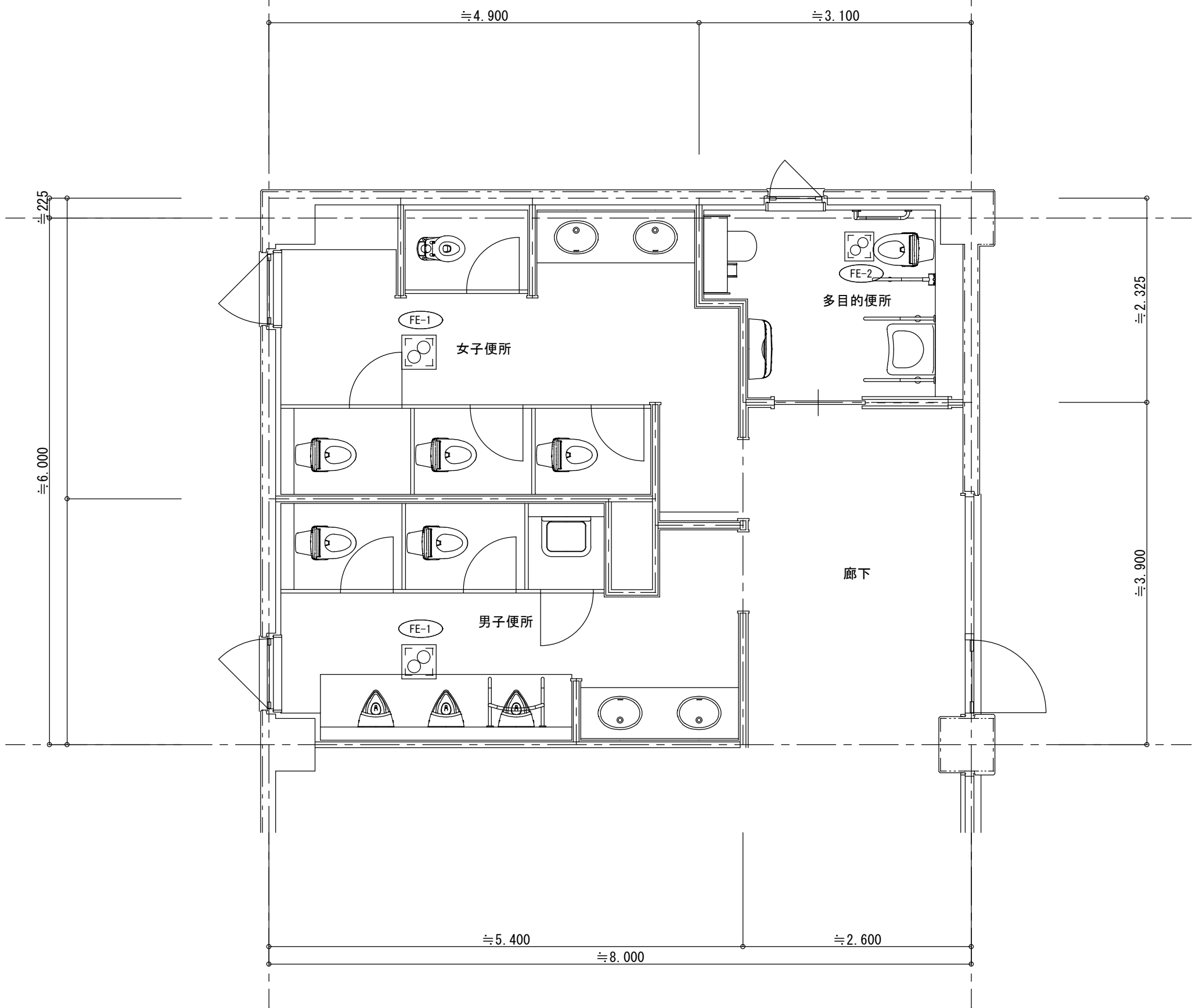
M-7



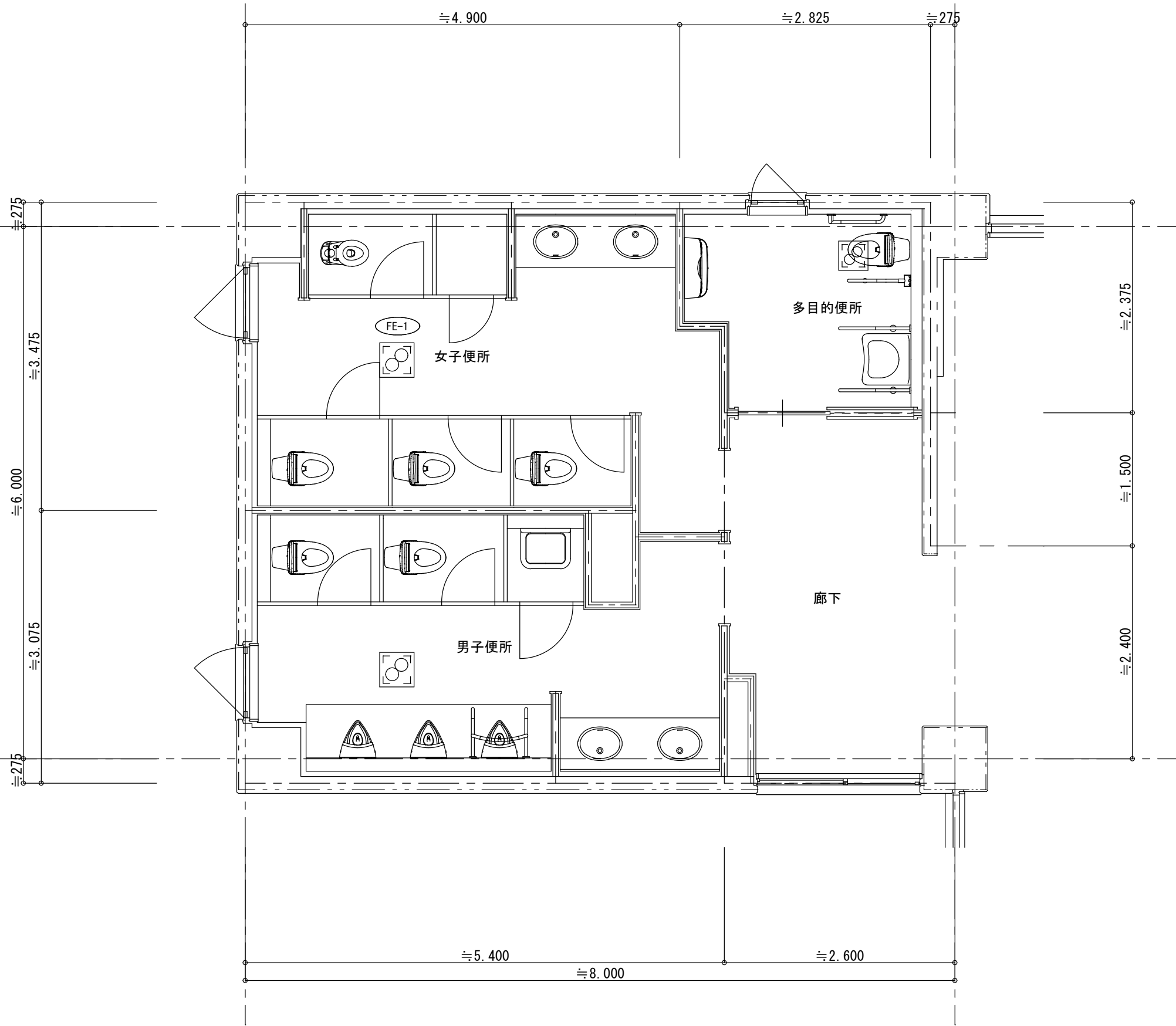




2 階便所平面詳細図 S=1/50



1 階便所平面詳細図 S=1/50



3 階便所平面詳細図 S=1/50

凡 例

- FE-1 天井埋込換気扇取外し再取り付け ｸﾞｯｽﾞ外φ150
- FE-2 天井埋込換気扇取外し再取り付け ｸﾞｯｽﾞ外φ100

摘 要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2025/03/14
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立鶴瀬西交流センター外壁・防水等改修工事	
図面名称	換気設備詳細図	縮尺 S=1/50

図面番号

M-10